

## ◆ 葛飾区 ◆

# 中小企業の景況

令和6年度第1・四半期

(令和6年4～6月)

### 目 次

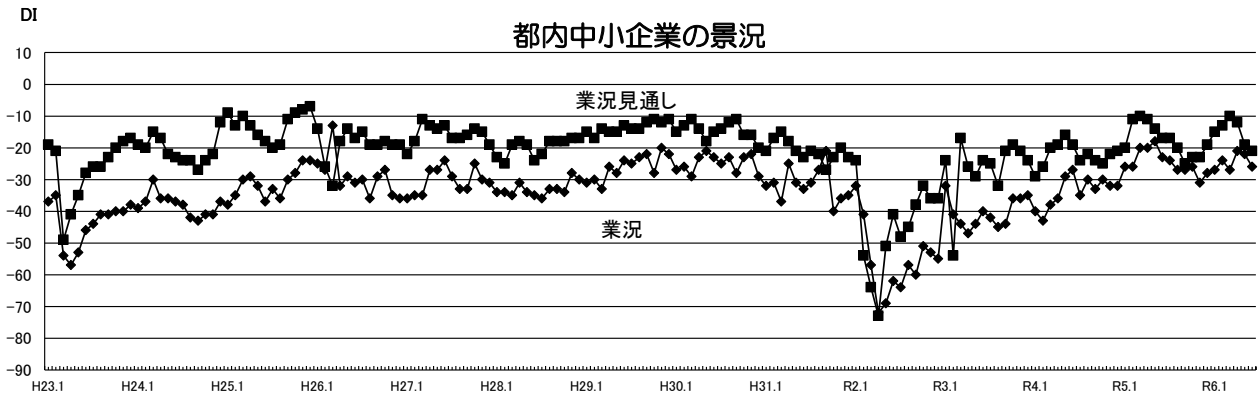
都内中小企業の景況（令和6年4～6月期）	1
葛飾区内中小企業の景況（令和6年4～6月期）	2
葛飾区の業況動向	3
製造業	4
卸売業	8
小売業	12
サービス業	16
建設業	20
不動産業	24
日銀短観	28
東京都・葛飾区の企業倒産動向	29
東京都・葛飾区の新設法人	32
特別調査	
「人手不足対策について」	34
中小企業景況調査 転記表	51

葛飾区 産業観光部 産業経済課

調査実施機関 株式会社東京商工リサーチ

# 都内中小企業の景況（令和6年4～6月期）

**業況**：全体は前期並。サービス業で大幅に改善、製造業でやや改善し、卸売業は前期並、小売業は大幅に悪化。  
**見通し**：全体はやや改善。製造・卸売・小売業で大幅に改善、サービス業でやや悪化する見込み。



業況 DI（季節調整済み「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は全体で▲26（前期▲27）と、前期並となった。  
 今後3ヶ月間の見通しでは、今期比5ポイント増の▲21とやや改善する見通し。

	前期 (R6.3)	今期 (R6.6)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲34	▲30	4	▲21
卸売業	▲27	▲28	▲1	▲20
小売業	▲30	▲38	▲8	▲27
サービス業	▲18	▲11	7	▲15
全体	▲27	▲26	1	▲21

令和6年3月の都内中小企業の業況 DI は、前期から1ポイント増の▲26と前期並となった。今後3ヶ月間の業況見通し DI では、今期比5ポイント増の▲21とやや改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、サービス業（▲11）は7ポイント増と大幅に改善し、製造業（▲30）は4ポイント増とやや改善、卸売業（▲28）は1ポイント減と前期並、小売業（▲38）は8ポイント減と大幅に悪化した。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、卸売業（29）は7ポイント増と大幅に上昇、小売業（29）は5ポイント増、製造業（26）は4ポイント増と、いずれもやや上昇した。（サービス業なし）

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（14）は5ポイント増とやや上昇、卸売業（13）は増減なく前期並、製造業（1）は3ポイント減、サービス業（0）は3ポイント減といずれもやや下降した。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、小売業（▲27）は11ポイント増、製造業（▲21）は9ポイント増、卸売業（▲20）は8ポイント増と大幅に改善、サービス業は（▲15）は4ポイント減とやや悪化する見込みとなっている。

## 【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

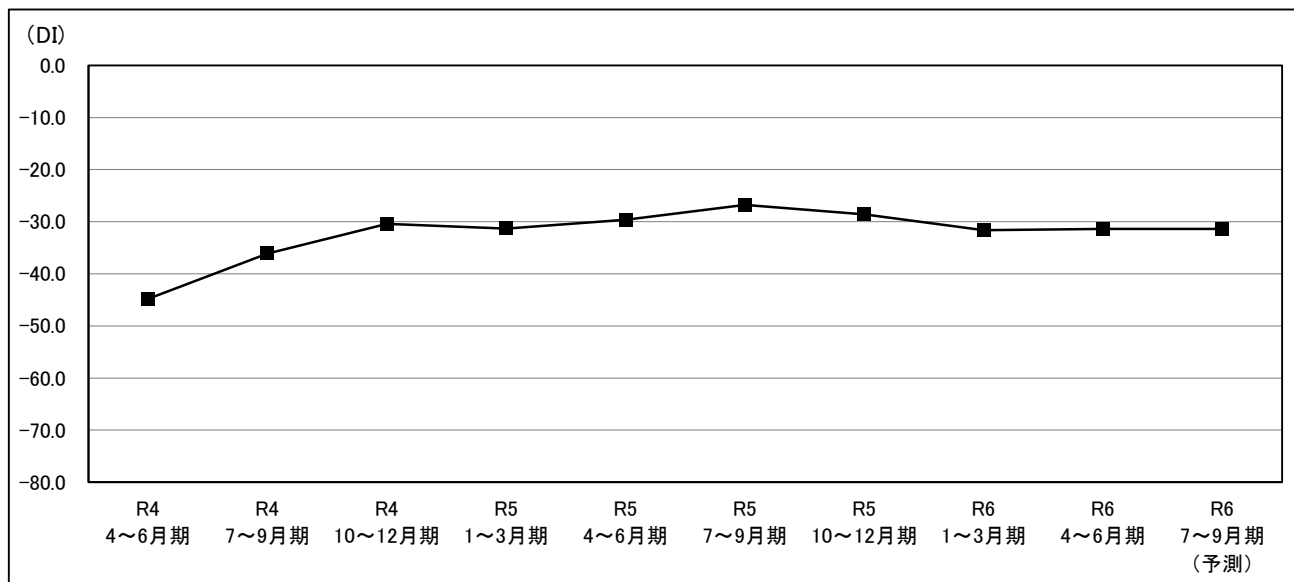
季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

## 葛飾区内中小企業の景況（令和6年4～6月期）

業況：全体では前期並。小売・卸売業は大きく改善、サービス業はやや改善。不動産業は前期並。建設業はやや悪化、製造業は大きく悪化。  
見通し：全体では今期並。サービス業はやや改善。製造・建設・卸売・小売業は今期並。不動産業はやや悪化する見込み。



葛飾区内中小企業の業況DI

	前期 (R6.1~3)	今期 (R6.4~6)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲37	▲43	▲6	▲43
卸売業	▲36	▲30	6	▲31
小売業	▲55	▲48	7	▲49
サービス業	▲28	▲23	5	▲20
建設業	▲23	▲25	▲2	▲25
不動産業	▲18	▲19	▲1	▲24
全体	▲32	▲31	1	▲31

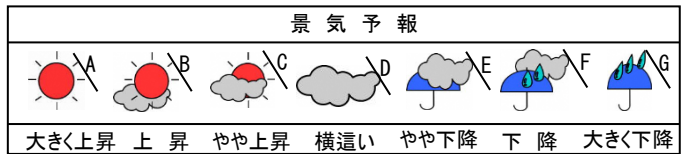
※小数点第1位を四捨五入した数値

### 《最近の景況動向》

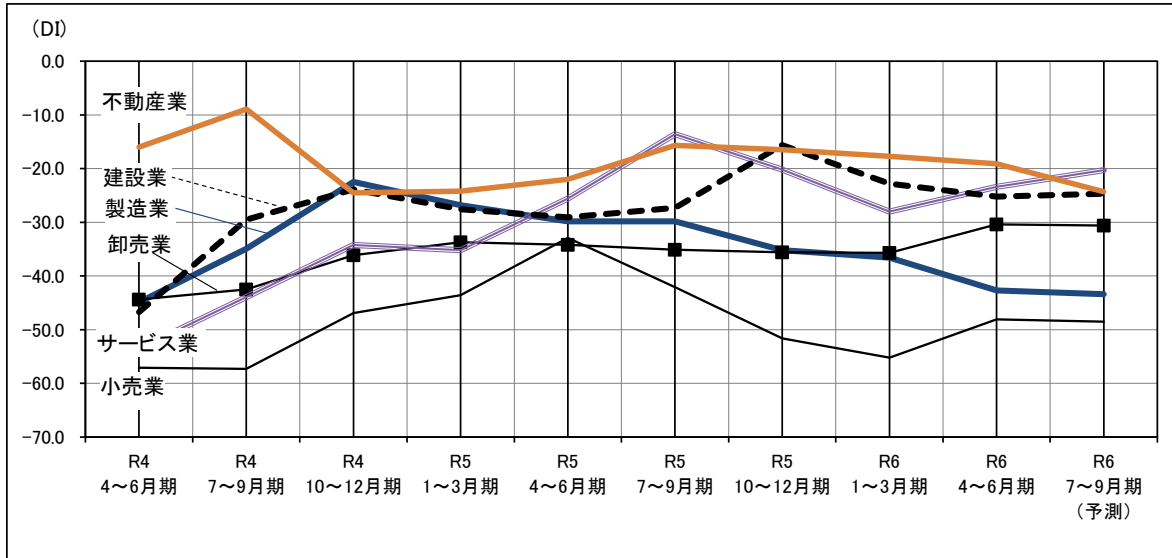
今期の葛飾区内中小企業全体の業況は▲31であった。来期（今後3ヶ月間の見通し）においては、今期並となる見通しとなっている。

業種別にみると、今期は、小売・卸売業は大きく改善、サービス業はやや改善。不動産・建設業は前期並。製造業は大きく悪化した。来期は、サービス業はやや改善。製造・建設・卸売・小売業は今期並。不動産業はやや悪化する見込みとなっている。

# 葛飾区の業況動向



## 各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



### 全体



業況は前期並となった。来期の業況は今期同様に推移する見込み。

### 製造業



業況は大きく低調感が強まった。来期の業況は今期同様に推移する見込み。

### 卸売業



業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況はほぼ今期同様に推移する見込み。

### 小売業



業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況は今期同様に推移する見込み。

### サービス業



業況はやや厳しさが和らいだ。来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。

### 建設業



業況はやや低調感が強まった。来期の業況は今期同様に推移する見込み。

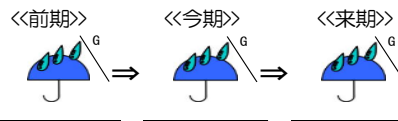
### 不動産業



業況は前期並となった。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。

## 『業種別』業況動向

### 製造業



( ) は、前期→今期

#### 売上・収益の動向と業況判断

業況(△37→△43)は大きく低調感が強まった。売上額(△34→△31)はやや減少幅が縮小し、収益(△32→△37)はやや減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は13ポイント下回っている。

#### 価格・在庫動向

販売価格(3→5)はやや上昇傾向が強まった。  
在庫(6→6)は前期並となった。

#### 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△14→△20)は大きく窮屈感が強まった。借入難易度(6→6)は前期並となった。今期借入をした企業は32%で前期の25%から7ポイント増加した。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

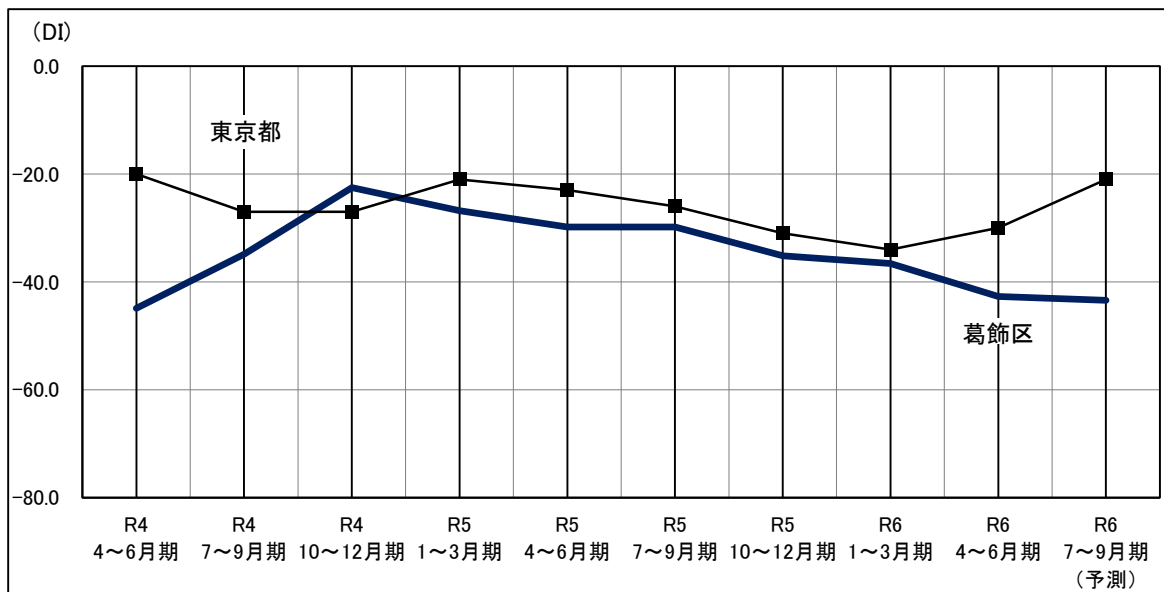
経営上の問題点は、1位は「原材料価格・材料価格の上昇」が59%、2位は「売上の停滞・減少」が56%、3位は「人件費の増加」が21%となり、1位と2位が入れ替わった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が43%、2位は「経費を削減する」が37%、3位は「技術力を強化する」が23%となり、「人材を確保する」が2位から4位となった。

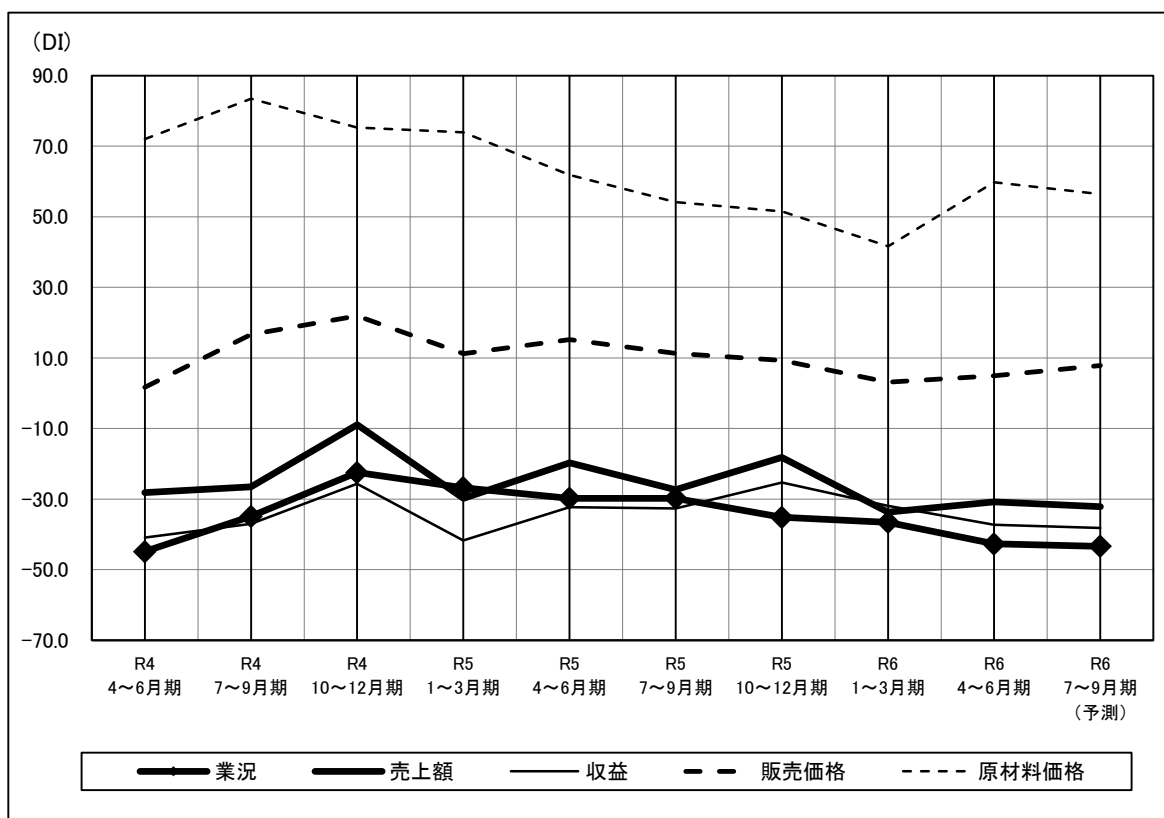
#### 来期の見通し

業況(△43→△43)は今期同様で推移する見込み。売上額(△31→△32)、収益(△37→△38)は今期同様で推移すると予想されている。

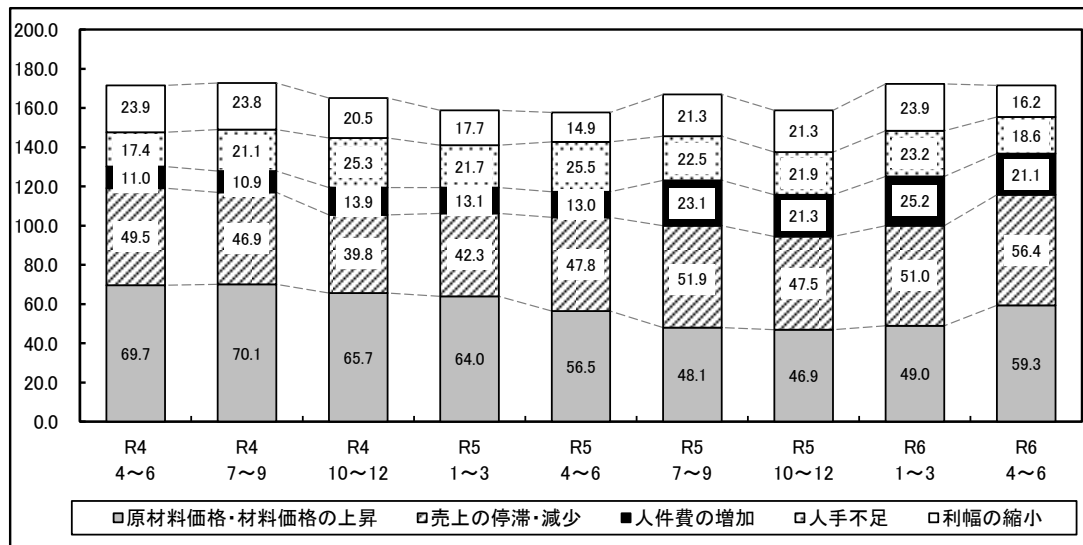
## 〈製造業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



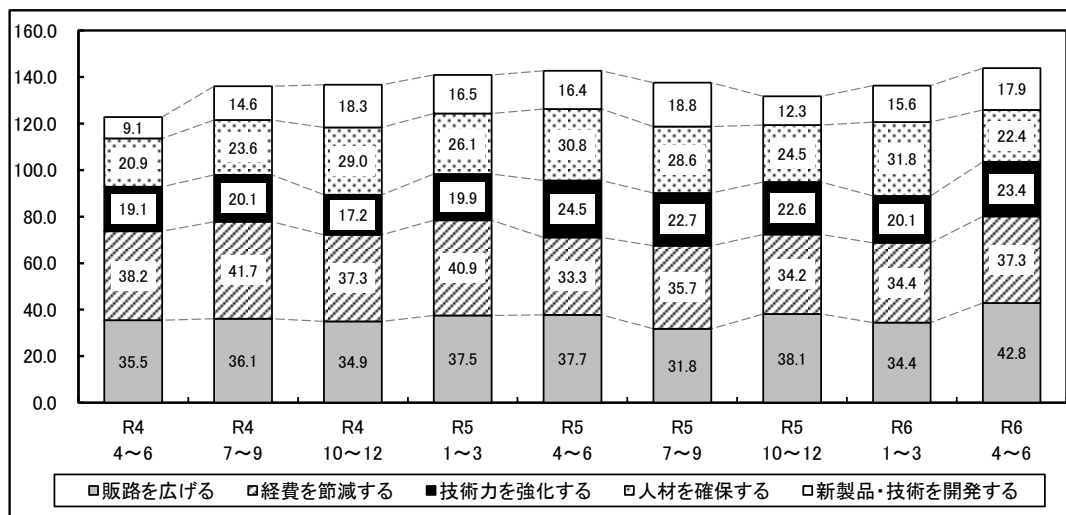
## 〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.7~9月期	R5.10~12月期	R6.1~3月期	R6.~6月期
第1位	売上の停滞・減少 51.9 %	売上の停滞・減少 47.5 %	売上の停滞・減少 51.0 %	原材料価格・材料価格の上昇 59.3 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇 48.1 %	原材料価格・材料価格の上昇 46.9 %	原材料価格・材料価格の上昇 49.0 %	売上の停滞・減少 56.4 %
第3位	人件費の増加 23.1 %	人手不足 21.9 %	人件費の増加 25.2 %	人件費の増加 21.1 %
第4位	人手不足 22.5 %	利幅の縮小 人件費の増加 21.3 %	利幅の縮小 23.9 %	人手不足 18.6 %
第5位	利幅の縮小 21.3 %	取引先の減少 14.4 %	人手不足 23.2 %	利幅の縮小 16.2 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が63.9%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R5.7~9月期	R5.10~12月期	R6.1~3月期	R6.~6月期
第1位	経費を節減する 35.7 %	販路を広げる 38.1 %	販路を広げる 経費を節減する 34.4 %	販路を広げる 42.8 %
第2位	販路を広げる 31.8 %	経費を節減する 34.2 %	人材を確保する 31.8 %	経費を節減する 37.3 %
第3位	人材を確保する 28.6 %	人材を確保する 24.5 %	技術力を強化する 20.1 %	技術力を強化する 23.4 %
第4位	技術力を強化する 22.7 %	技術力を強化する 22.6 %	新製品・技術を開発する 15.6 %	人材を確保する 22.4 %
第5位	新製品・技術を開発する 18.8 %	新製品・技術を開発する 12.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する 14.3 %	新製品・技術を開発する 17.9 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が46.6%で最も多かった。(n数5以下除く)

# 製造業 業種別コメント

## ＜仕入・価格について＞

1. 価格転換がスムーズにできずに売上が減少。新しいお客様がなかなか増えず苦戦。
2. 原材料等の高騰が続くが、価格に反映出来ない。
3. 原材料価格の上昇による利幅の縮小が厳しい。
4. 原価や支払手数料が増加したが、値上げができていないので利益が取れない。
5. 支払い条件と販売価格が改善された。政府の旗振りによる、社会通念（コンセンサス）の変化の影響か。
6. 材料、加工賃単価の値上げが続いている。
7. 円安に伴う仕入コストの増額により、利益の圧迫が続いている。
8. 電力料金、原材料費が高騰していても、取引先に価格交渉ができない。価格交渉した場合、他社に乗り換えられる可能性が捨てきれない。
9. 現在、景気は回復傾向にあるが、原材料費、賃金、燃料費の高騰は依然として続いており、我々は売価を引き上げざるを得ない状況が続いている。

## ＜受注・業況について＞

10. 大手企業の進出（異業種）や輸入品などにより売上減少傾向。
11. 原料、物流費、人件費等の高騰や電気代等の値上げが予想される。コスト上昇及び消費不況も重なり売上利益とも減少が見込まれる。
12. 公共工事の減少により機械需要が減少した。
13. R5年売上が良かったが、R6年はやや悪化している。
14. 大口受注にて増収・増益であったものの、他の受注が変動・減少し、特定得意先への依存度が上がった。
15. 取引先が自社で製品をつくるようになって注文が減っている。新しい取引先を見つけなければと思っているが、なかなかうまくいかない。
16. 顧客工場の生産が減少しているため、減収減益となる。
17. ネット経由での依頼が増加しているが、リピートがなく1回きりなので収益が続かない。
18. 仕事（発注）が激減しており、会社存続自体が危機的状況である。
19. 今の所良好です。
20. 現状で継続出来ればと思います。
21. 業界全体が冷え込んでるので、打つ手無しです。景気回復を待つのみ。
22. 取引先（自動車関連部品）の動きが鈍く、受注量が激減している。

23. コロナが終わり需要は増え、増収している。
24. 原材料の高騰・人件費上昇による利益確保が厳しい中、7月より単価の値上げを行い適正経営を目指すものの、値上げ後の販売不振に陥らないかが不安。
25. 自動車部品メーカーの売り上げ減少のあおりを受けて、金型の受注の減少傾向が続いている。
26. 需要は変わらずある。価格改定は行ったが今後もコスト高による利益の減少が見込まれる。

## ＜人材について＞

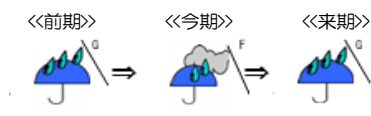
27. 受注微増の中、他社転職により人手不足。中途採用も難しく、定着にも問題があり、全般的に長納期となっている。
28. IT対応の技術員、現場オペレータを新規採用して技術力のupを図りたい。
29. 受注増の中、人手不足でさばききれない。
30. 社員の高齢化と後継者が居ないのに、受注はある。
31. あたりまえの技術力しかないので、販路が広がらない。役員を含めて意識改革が必要。
32. 技術継承が上手くいかず、作業に時間がかかっている。
33. 受注増の中、若手社員の確保が難しい。
34. 技術者の高齢化が進み、人材確保が困難になっている。

## ＜その他＞

35. 大企業から下に仕事がおりてこなくなっている。同業他社も同じ傾向である。
36. 同業者が設備投資出来ず加工のみお願いしたいと昨年度より増えて来ている。また、縮小するので半分お願いしたいなどもある。
37. 手形、電債をなくしてほしい。売上の半分手形だと従業員の給料払えない。
38. 大手企業の仕事がサンプルの段階で止まっておりスタートが遅れてしまっている。
39. 物流業界の2024年問題に関わるコストの上昇、長距離移送の問題点等、全体的にコストは上昇中。
40. 技術のある職人さんが高齢化している為、不安がある。



# 卸 売 業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 36 \rightarrow \Delta 30$ ) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ( $\Delta 37 \rightarrow \Delta 14$ ) は極端に減少幅が縮小し、収益 ( $\Delta 36 \rightarrow \Delta 31$ ) はやや減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は 2 ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

販売価格 (14→23)、仕入価格 (57→64) は大きく上昇傾向が強まった。在庫 (10→6) はやや過剰感が改善した。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 19 \rightarrow \Delta 15$ ) はやや窮屈感が緩和した。借入難易度 (0→ $\Delta 1$ ) は前期並となった。今期借入をした企業は 27%で前期の 32%から 5 ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

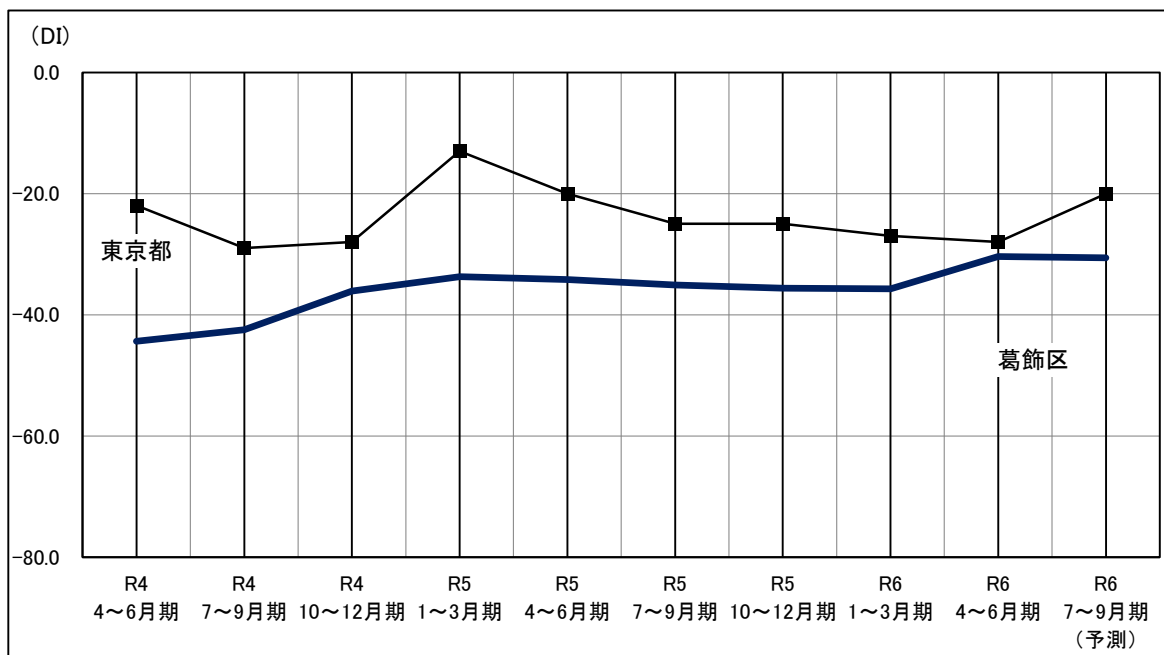
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が 43%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が 39%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が 29%となり、「仕入先からの値上げ要請」が 5 位から 3 位となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が 53%、2位は「経費を節減する」が 39%、3位は「仕入先・提携先を開拓・選別する」が 22%となり、上位 3 位は前期同様となった。

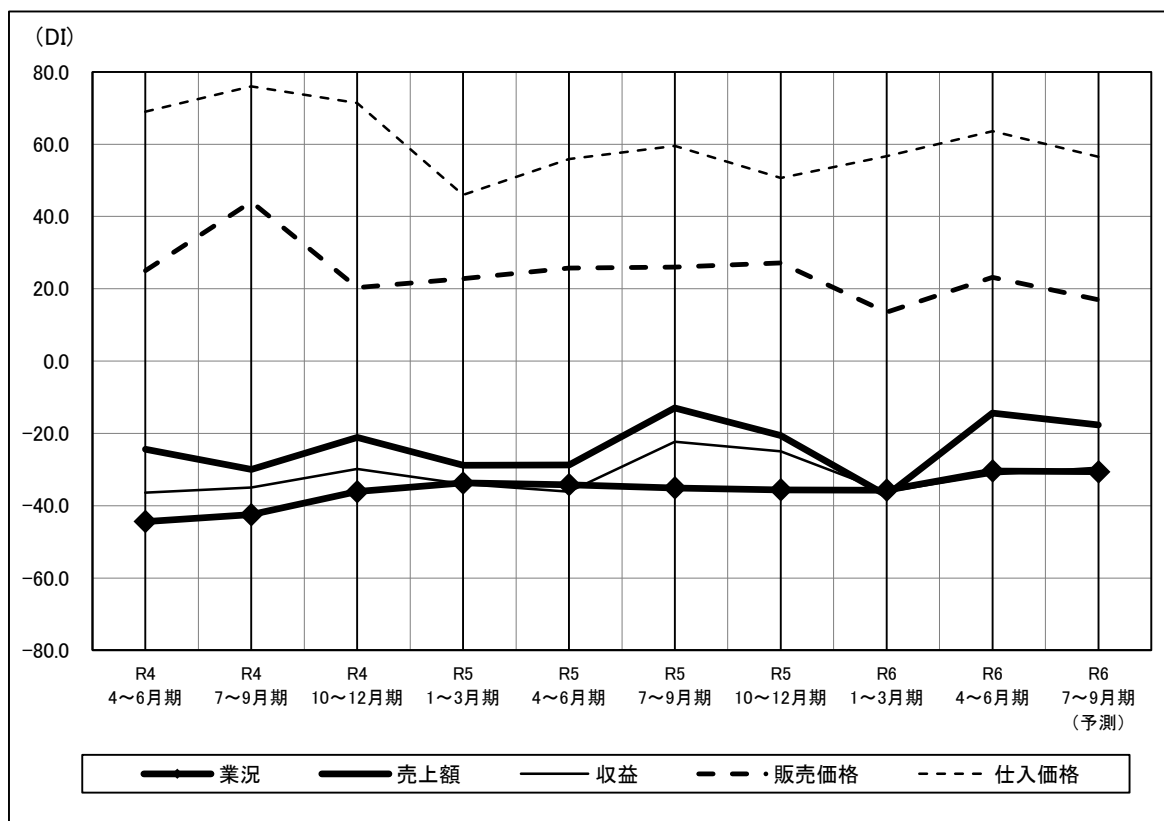
## 来期の見通し

業況 ( $\Delta 30 \rightarrow \Delta 31$ ) はほぼ今期同様で推移する見込み。売上額 ( $\Delta 14 \rightarrow \Delta 18$ ) はやや減少幅が拡大し、収益 ( $\Delta 31 \rightarrow \Delta 30$ ) は今期同様で推移すると予想されている。

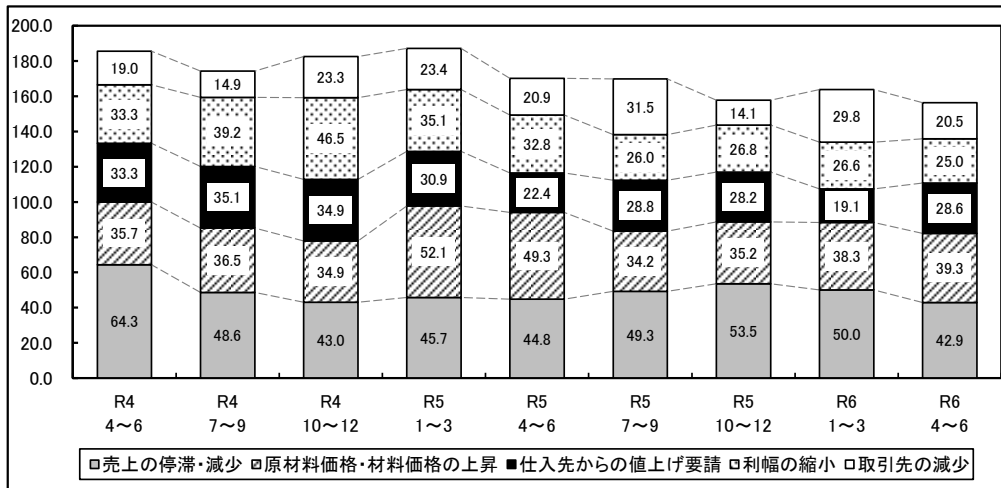
## 〈卸売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



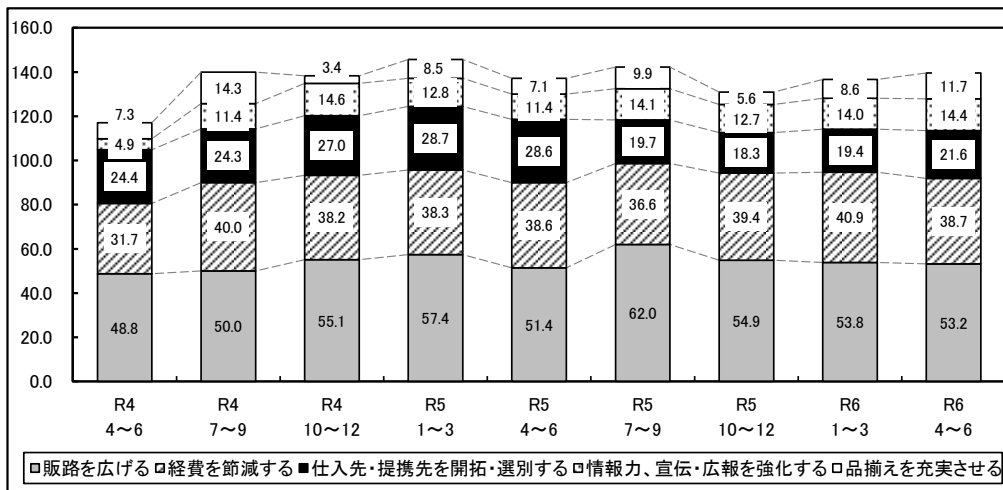
## 〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.~6月期	
第1位	売上上の停滞・減少	49.3 %	売上上の停滞・減少	53.5 %	売上上の停滞・減少	50.0 %	売上上の停滞・減少	42.9 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	34.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	35.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	38.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	39.3 %
第3位	取引先の減少	31.5 %	仕入先からの値上げ要請	28.2 %	取引先の減少	29.8 %	仕入先からの値上げ要請	28.6 %
第4位	仕入先からの値上げ要請	28.8 %	利幅の縮小	26.8 %	利幅の縮小	26.6 %	利幅の縮小	25.0 %
第5位	利幅の縮小	26.0 %	人手不足	16.9 %	仕入先からの値上げ要請	19.1 %	取引先の減少	20.5 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が54.1%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



	R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.~6月期	
第1位	販路を広げる	62.0 %	販路を広げる	54.9 %	販路を広げる	53.8 %	販路を広げる	53.2 %
第2位	経費を節減する	36.6 %	経費を節減する	39.4 %	経費を節減する	40.9 %	経費を節減する	38.7 %
第3位	人材を確保する	21.1 %	仕入先・提携先を開拓・選別する 人材を確保する	18.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	19.4 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	21.6 %
第4位	仕入先・提携先を開拓・選別する	19.7 %	情報力、宣伝・広報を強化する 売れ筋商品を取扱う	12.7 %	人材を確保する	15.1 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14.4 %
第5位	情報力、宣伝・広報を強化する	14.1 %	新しい事業を始める	9.9 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14.0 %	品揃えを充実させる	11.7 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が55.0%で最も多かった。(n数5以下除く)

# 卸売業 業種別コメント

## <仕入・価格について>

1. 仕入価格・材料価格の上昇。それに伴う売上単価が上げられない。
2. 原材料価格が上昇し、仕入資金が不足している。
3. 売価と仕入価格のバランスが悪い。
4. 原材料価格・材料価格・運送費価格の上昇により利益を圧迫している。
5. 円安による仕入価格の上昇が、今期も来期もありそうなのでどのようにして売価を設定するかが、問題です。
6. 需要は増えているが、原材料費が高くなっていて、販売するものも高くなり、他社との競争もあり、頑張っています。
7. 仕入額が上昇傾向にあるので、取引先へも価格交渉をしている。
8. 仕入れ価格の上昇で利益が減少している。
9. 中国より商品を輸入しているため、円安の影響は多大にある。仕入れを調整しながら乗り切りたい。
10. 仕入が減少し、売上減少が予想される。
11. 需要が増えている。仕入れが間に合わない。
12. 原材料の高騰、為替による影響で、海外メーカーからの値上げ要請が続いている。一部の大手企業からは「値上げについて価格転嫁してください」との通知が来るが、値上げする事が難しい取引先もあるので、製品によっては利幅が縮小傾向にある。

## <受注・業況について>

13. 顧客の受注状態によって売上が決まるので、公共工事などの発注が増えてほしいと思っている。
14. 引合は好調。円安による仕入価格の上昇、その他経費が増加しているため利益率は減少。
15. 今年の4月までは受注売上は良かったが、5月から受注が減少した。設備投資が少し落ちている。
16. 円安の為、取引品物全てが値上がり仕入高による売上減・収入減が続いている。
17. 販売先の廃業が多く、売上減少傾向。
18. 公共事業（土木）関連のプラスチック部材を中心に販売しているが、公共予算の減少で売上が減少している。
19. 販路確保ができていて、順調。
20. 一部の主要販売先業界が低迷しているものの、昨年返販売が低迷していた販売先業界が回復して来ている。全体としては、前年同期と比べ売上微減となっている。

21. 1～3月は順調であったが、4月以降は市況の低迷、円安の進行による輸入材の高騰により低調となった。
22. 取引先の不況により、受注額激減している。
23. 円安の影響が大きく業績の悪化につながっている。
24. 若干の売上減少はあるものの、特に問題はない。
25. 新規で購入されるお客様よりも、今現在の商品を修理して使われるお客様が増えた。今は修理に力を入れています。パートも雇い、生産率を上げていく。
26. 物価の高騰が続いているのに売上が上がらない。
27. 得意先からの受注が減少しているため売上が減っている。固定の取引先からの注文があるのみで、特に販路を広げる動きはしていない。景気の回復を待つしかない。

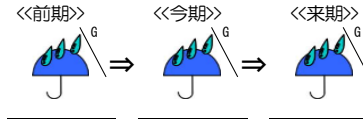
## <人材について>

28. 人材の定着が課題。
29. 永年いた社員が勇退していく中、新しい社員が中々入社せず困っている。
30. 人手不足と言うよりは高齢化により、若い人材を確保したい。
31. 人材を確保するための人件費が上げられない。
32. 仕入以外の経費の値上げに、利益増加のための販売戦略が追い付かない。
33. 原材料の金額が上がっているため、商品の販売が難しくなっている。従業員の退職があるため、人材の確保が課題。
34. 採用の負担が大きく、退職者もあることから人手不足になっている。

## <その他>

35. 昨年度の実績データが今年度の参考にならず、今期の予想を立てにくい。
36. 季節要因多く、売上平準化を図りたい。
37. 円高になる事を期待したい。
38. 日系企業の海外進出に伴い、我々の製品の採用で商売を伸ばして来たが、最近の、円安で、日系企業の海外進出は極端になくなり、よって我々の製品の売り先が少なくなってきた。
39. 輸入中心の為円安が大変厳しい。
40. 円安による、輸入品の高騰が今後の経営の足かせになる不安がある。

## 小 売 業



( ) は、前期→今期

### 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 55 \rightarrow \Delta 48$ ) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ( $\Delta 49 \rightarrow \Delta 30$ )、収益 ( $\Delta 55 \rightarrow \Delta 43$ ) は大きく減少幅が縮小した。東京都と比較した当区の業況は 10 ポイント下回っている。

### 価格・在庫動向

販売価格 (13→22)、仕入価格 (53→62) は大きく上昇傾向が強まった。在庫 ( $\Delta 3 \rightarrow \Delta 10$ ) は大きく不足感が強まった。

### 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 44 \rightarrow \Delta 36$ ) は大きく窮屈感が緩和した。借入難易度 ( $\Delta 6 \rightarrow \Delta 7$ ) は前期並となった。今期借入をした企業は 29%で前期の 21%から 8 ポイント増加した。

### 経営上の問題点・重点経営施策

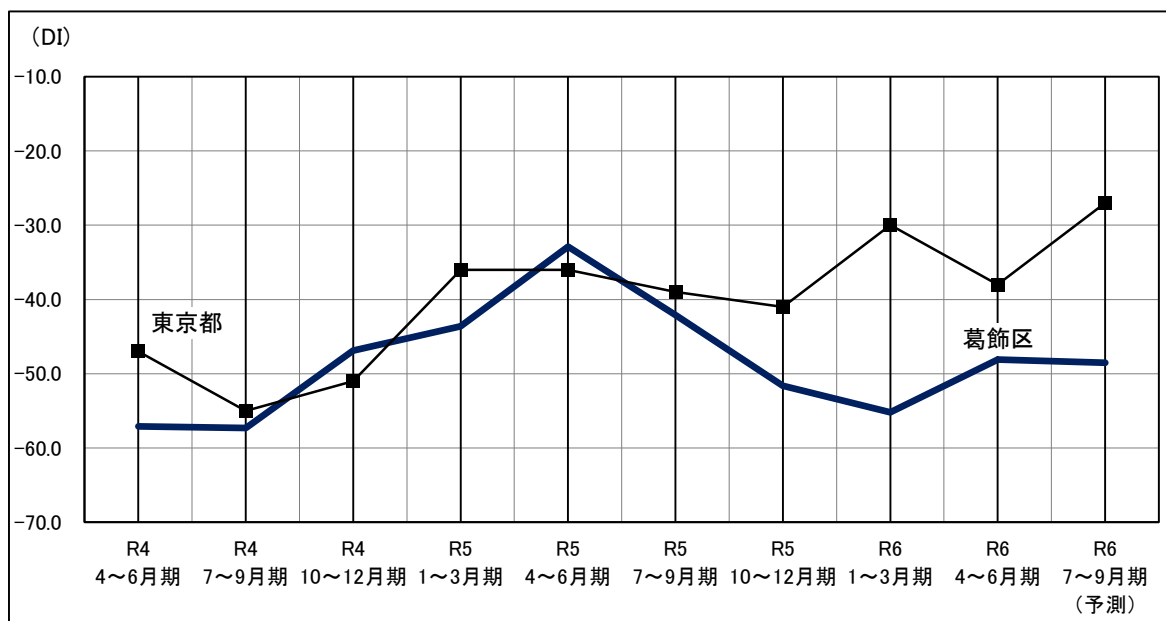
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 57%、2 位は「原材料価格・材料価格の上昇」が 33%、3 位は「利幅の縮小」が 25%となり、「原材料価格・材料価格の上昇」が 4 位から 2 位となった。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 40%、2 位は「経費を削減する」が 39%、3 位は「売れ筋商品を取扱う」が 23%となり、1 位と 2 位が入れ替わった。

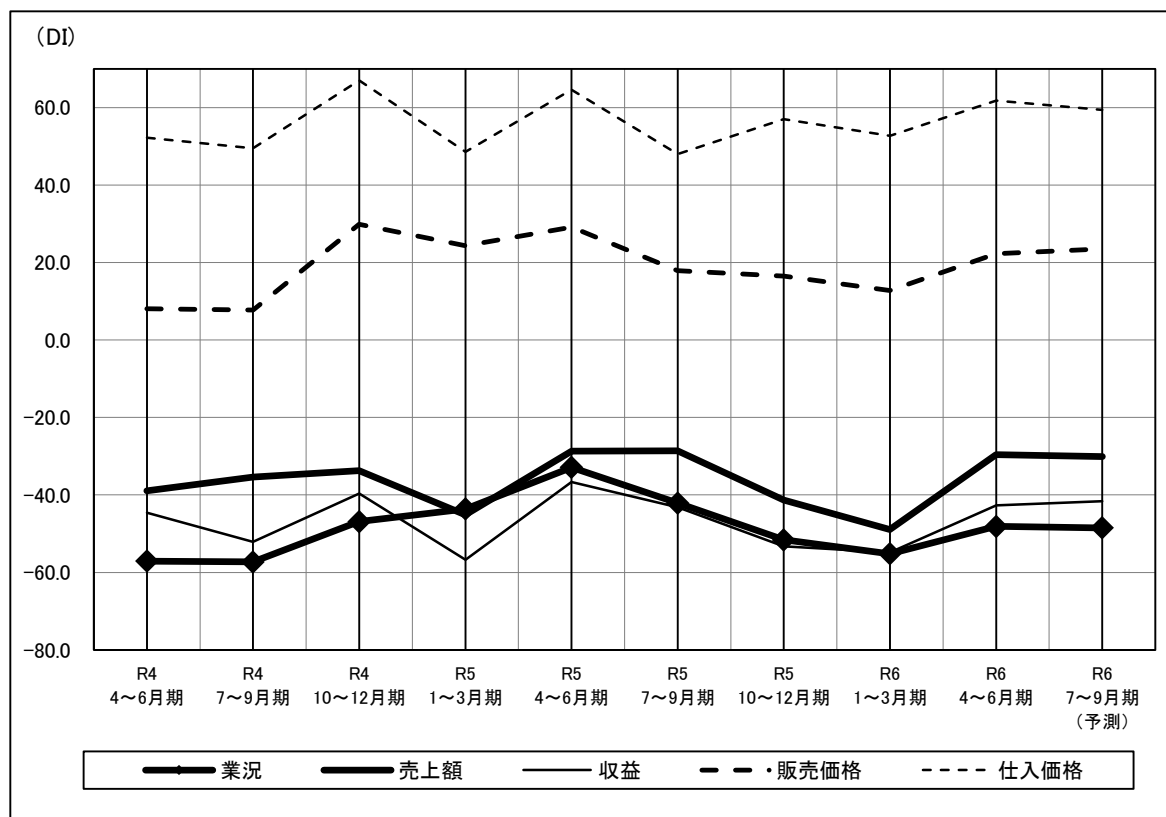
### 来期の見通し

業況 ( $\Delta 48 \rightarrow \Delta 49$ ) は今期同様で推移する見込み。売上額 ( $\Delta 30 \rightarrow \Delta 30$ )、収益 ( $\Delta 43 \rightarrow \Delta 42$ ) は今期同様で推移すると予想されている。

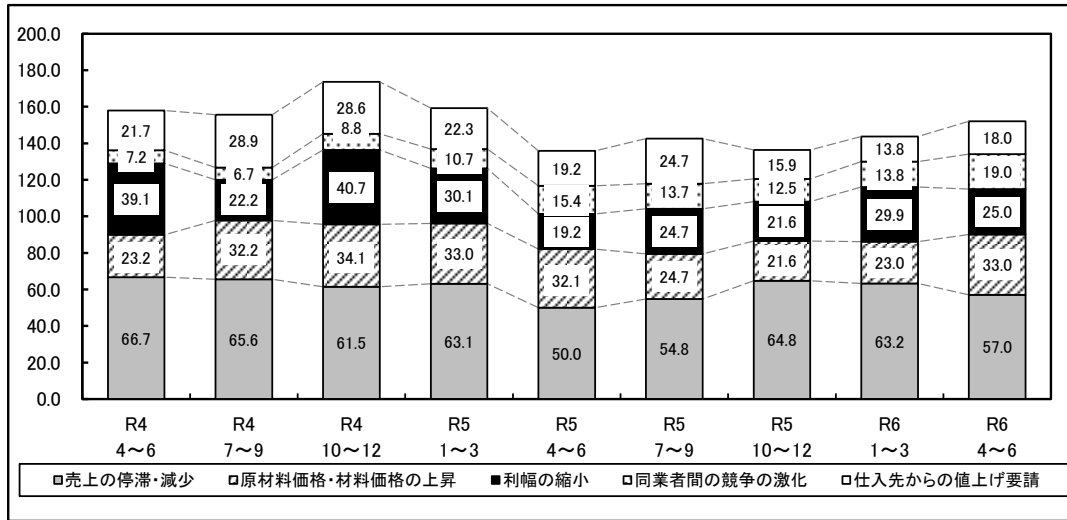
## 〈小売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



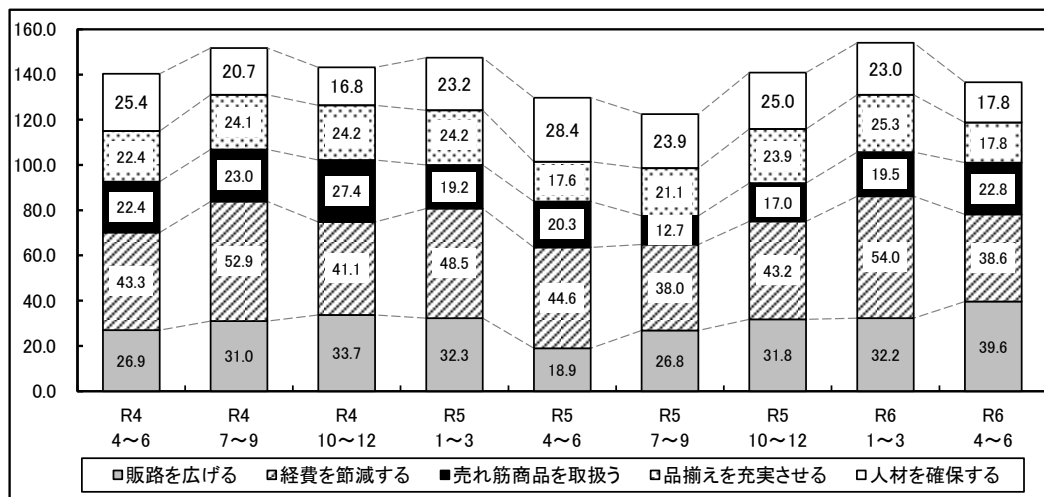
## 〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.~6月期	
第1位	売上の停滞・減少	54.8 %	売上の停滞・減少	64.8 %	売上の停滞・減少	63.2 %	売上の停滞・減少	57.0 %
第2位	利幅の縮小	24.7 %	人手不足	25.0 %	利幅の縮小	29.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	33.0 %
	原材料価格・材料価格の上昇						仕入先からの値上げ要請	
第3位	人手不足	20.5 %	利幅の縮小	21.6 %	人手不足	26.4 %	利幅の縮小	25.0 %
			原材料価格・材料価格の上昇					
第4位	同業者間の競争の激化	13.7 %	人件費の増加	19.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	23.0 %	同業者間の競争の激化	19.0 %
第5位	取引先の減少	12.3 %	仕入先からの値上げ要請	15.9 %	大手企業・大型店との競争の激化	17.2 %	仕入先からの値上げ要請	18.0 %
							人件費の増加	

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が63.2%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.~6月期	
第1位	経費を節減する	38.0 %	経費を節減する	43.2 %	経費を節減する	54.0 %	販路を広げる	39.6 %
第2位	販路を広げる	26.8 %	販路を広げる	31.8 %	販路を広げる	32.2 %	経費を節減する	38.6 %
第3位	人材を確保する	23.9 %	人材を確保する	25.0 %	品揃えを充実させる	25.3 %	売れ筋商品を取扱う	22.8 %
第4位	品揃えを充実させる	21.1 %	品揃えを充実させる	23.9 %	人材を確保する	23.0 %	品揃えを充実させる	17.8 %
							人材を確保する	
第5位	売れ筋商品を取扱う	12.7 %	情報力・宣伝・広報を強化する	17.0 %	売れ筋商品を取扱う	19.5 %	情報力・宣伝・広報を強化する	16.8 %
			売れ筋商品を取扱う					

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が44.3%で最も多かった。(n数5以下除く)

# 小売業 業種別コメント

## ＜仕入・価格について＞

1. 輸入商品の値上りの為お客様の購入が減っている。天候不順により国内商品も入荷にムラがある。高額商品が多くなり販売に苦慮している。
2. 仕入先の生産が非常に少ない。
3. 仕入価格の上昇、品薄傾向。
4. 価格が上がることで、客数が減り収益が下がっている。
5. 価格競争(量販店)に勝てないので、さらにお客様に対して誠心誠意を尽して商売をしている。
6. 原材料価格・配送料価格等が高騰し、仕入額が上昇することに合わせて販売価格を上げざるを得ず、それにより販売数が減少し、結果として減収が続いている。
7. インバウンドの影響で深刻な品不足、価格上昇で苦しい状況。
8. 円安が進み仕入れ値が上がり続けている。業績が上向きになってきたのにも関わらず円安で低迷している。円安は海外取引をする企業として苦しい。
9. 大手スーパーが増えて、お客様が減っている。電気料金が追い打ちになり、安ければいいという人が増えてきている。
10. 価格高騰により売上は減少傾向である。
11. 仕入・経費が上がり、コスト全体が増加している。その分が売上単価改定に追いつかない。

## ＜受注・業況について＞

12. 大手スーパーなど進出により売上は減少傾向である。
13. 景気のUP、DOWNに左右されない。地味ではあるが、為替に左右されない業界なので、無難ではある。
14. 来店客数の減少。
15. 商店が閉店するなど、周辺の客足が減少し大型店に流れている。日々の物価上昇で、今後どんどん販売が難しくなる。
16. 物価高、政治への不信、並びに将来への不安感からくる消費意欲の減退。
17. 販路拡大及び他商品化による売上増加を目標としている。
18. 飲食店の客数の減少、売上の減少傾向。
19. 引続き、増収が続いているが、人件費の上昇(賃上げ、最低賃金上昇)などで、人的投資が必要である。

25. 原材料が値上がりし、利益が減少している。人員が不足していて、新しい事業を始めるのは難しい。
26. 薬価改定、診療報酬改定があったため売上、収益ともこれから変化するが、予想が困難。
27. 海外需要の増加と円安の影響による自動車の相場上昇により、在庫の確保が非常に厳しく販売数の低下に繋がってしまっている。
28. 需要が増えているものの、原材料費の高騰も続いているので、思ったほどの収益を確保できていない。コロナ前の景況感には戻らず苦しい状況が続いている。
29. ガソリン価格が高止まりしていて経費がかかるが、取引先からは価格を値上げしてもらえず利益が上がらない。

## ＜人材について＞

30. 受注増の中、採用に重点をおいている。年末からの繁忙期に向けて、人手不足解消と人材育成に力を入れていきたい。
31. 営業時間が長く定休日もない為、人手不足が深刻。
32. 人手不足、人件費の高騰により収益が悪化。

## ＜その他＞

33. アパレル業は厳しい。
34. 客の高齢化。
35. ネット販売が多く30才～50才位のお客様は来店しない。
36. すべての面で合理化を図る。
37. 出版業界の利益配分が不適切。
38. カタログ販売等にお客様の需要が大分取られている。
39. 医療業界なので売上は毎年減少しているが1人あたりの単価の引上げ、スタッフの生産性向上効率化を目指している。
40. 社会保険料が高い。
41. 商品サイクルの長期化、流通量の減少。円高対策の必要性を早急にして欲しい。



# サービス業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 28 \rightarrow \Delta 23$ ) はやや厳しさが和らいだ。売上額 ( $\Delta 20 \rightarrow \Delta 21$ ) は前期並となり、収益 ( $\Delta 33 \rightarrow \Delta 31$ ) はやや減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は 12 ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

料金価格 (11→9)、材料価格 (52→50) はやや上昇傾向が弱まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 28 \rightarrow \Delta 24$ ) はやや窮屈感が緩和し、借入難易度 ( $\Delta 11 \rightarrow \Delta 10$ ) は前期並となった。今期借入をした企業は 29% で前期の 24% から 5 ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

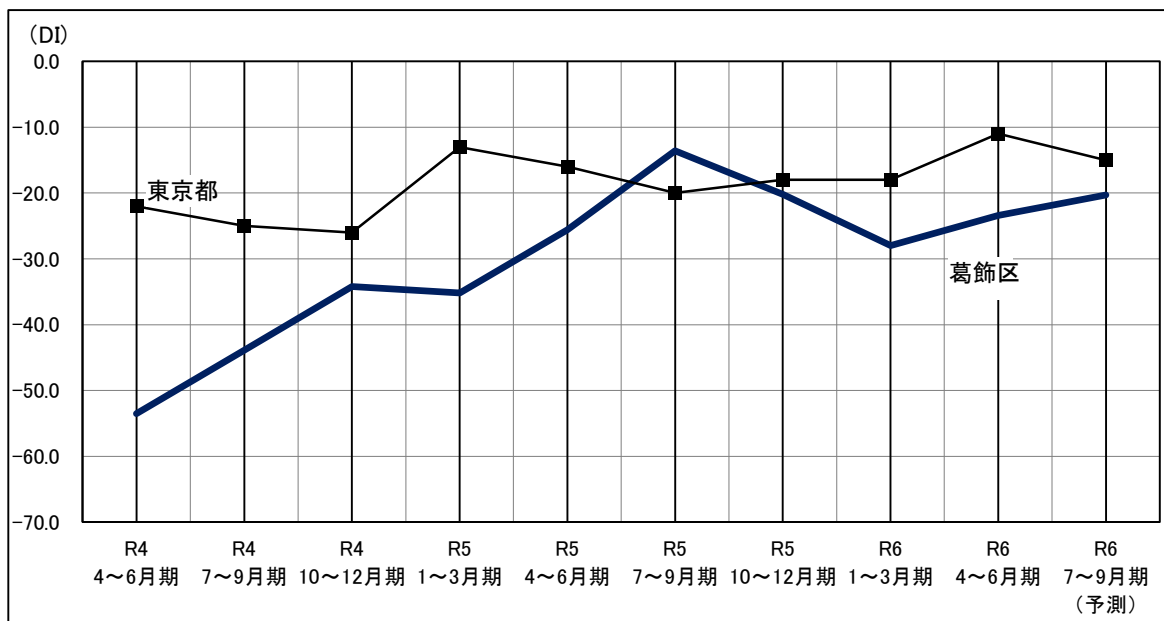
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」、「人手不足」が 43%、2 位は「原材料価格・材料価格の上昇」が 32%、3 位は「人件費の増加」が 26% となり、「売上の停滞・減少」が 2 位から 1 位となった。

重点経営施策は、1 位は「経費を削減する」が 41%、2 位は「人材を確保する」が 39%、3 位は「販路を広げる」が 26% となり、1 位と 2 位が入れ替わった。

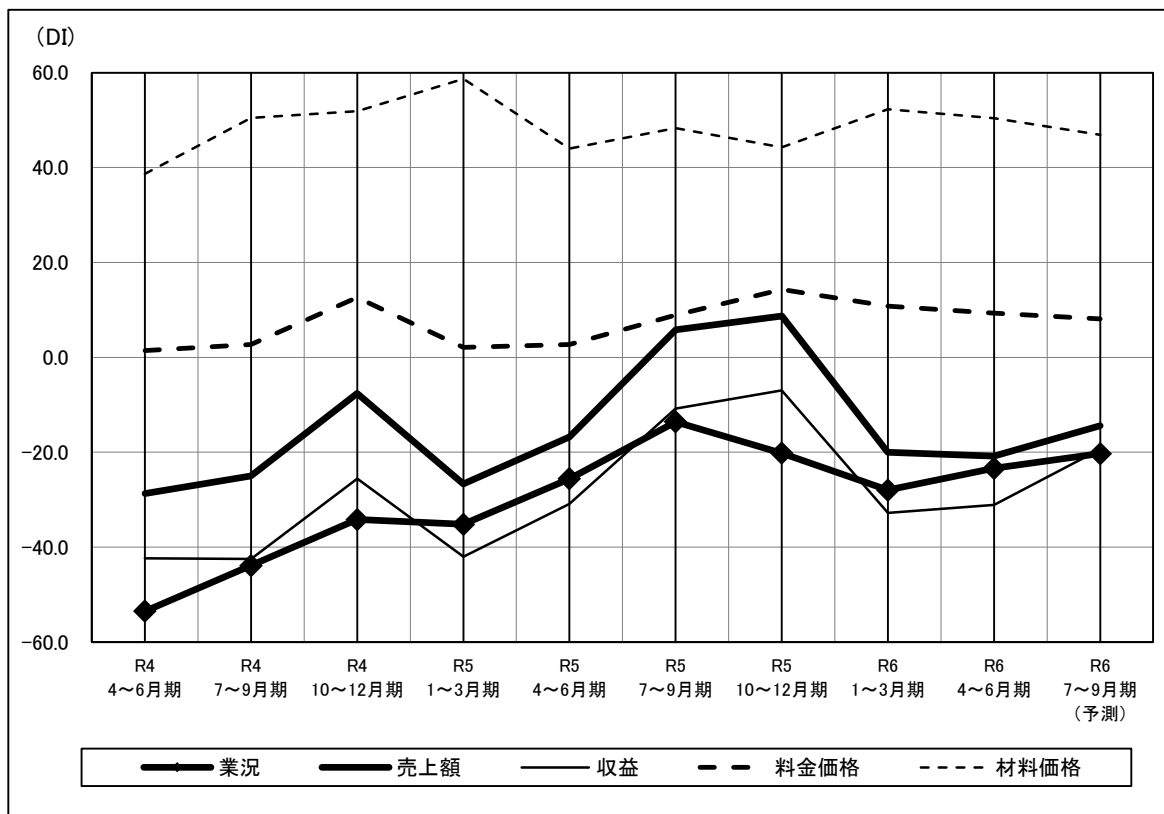
## 来期の見通し

業況 ( $\Delta 23 \rightarrow \Delta 20$ ) はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額 ( $\Delta 21 \rightarrow \Delta 14$ )、収益 ( $\Delta 31 \rightarrow \Delta 19$ ) は大きく減少幅が縮小すると予想されている。

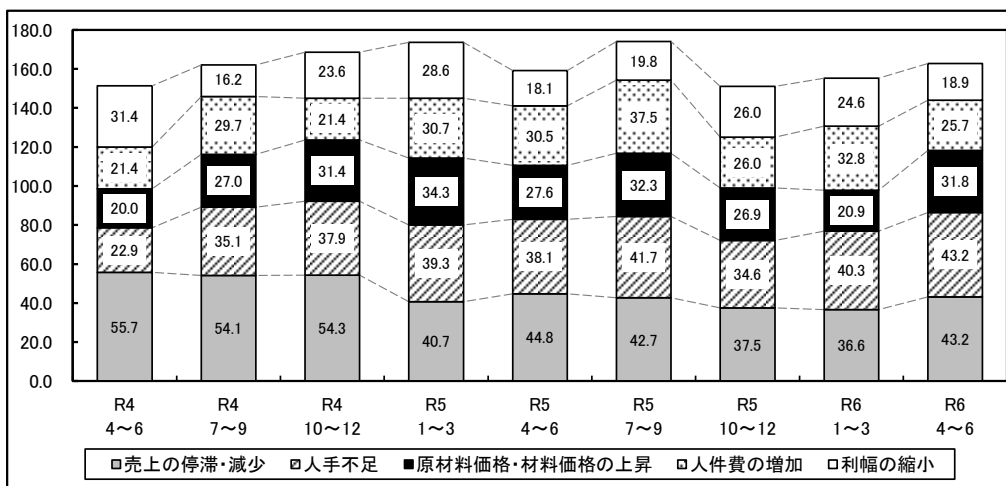
## 〈サービス業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



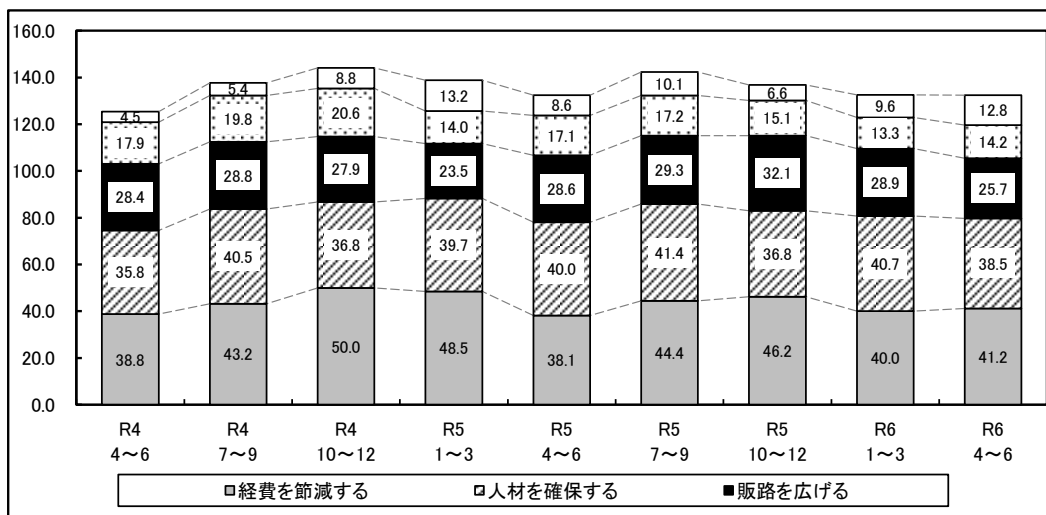
## 〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R5.7～9月期	R5.10～12月期	R6.1～3月期	R6.～6月期
第1位	売上上の停滞・減少 42.7 %	売上上の停滞・減少 37.5 %	人手不足 40.3 %	売上上の停滞・減少 43.2 % 人手不足
第2位	人手不足 41.7 %	人手不足 34.6 %	売上上の停滞・減少 36.6 %	原材料価格・材料価格の上昇 31.8 %
第3位	人件費の増加 37.5 %	原材料価格・材料価格の上昇 26.9 %	人件費の増加 32.8 %	人件費の増加 25.7 %
第4位	原材料価格・材料価格の上昇 32.3 %	利幅の縮小 人件費の増加 26.0 %	利幅の縮小 24.6 %	利幅の縮小 18.9 %
第5位	利幅の縮小 人件費以外の経費増加 19.8 %	人件費以外の経費増加 22.1 %	人件費以外の経費増加 21.6 %	人件費以外の経費増加 16.9 %

※今期1位の項目を従業員別にみると【売上上の停滞・減少】は「5人以上10人未満」が55.0%、【人手不足】は100人以上が85.7%で最も多かった。（n数5以下除く）

## 〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R5.7～9月期	R5.10～12月期	R6.1～3月期	R6.～6月期
第1位	経費を節減する 44.4 %	経費を節減する 46.2 %	人材を確保する 40.7 %	経費を節減する 41.2 %
第2位	人材を確保する 41.4 %	人材を確保する 36.8 %	経費を節減する 40.0 %	人材を確保する 38.5 %
第3位	販路を広げる 29.3 %	販路を広げる 32.1 %	販路を広げる 28.9 %	販路を広げる 25.7 %
第4位	情報力・宣伝・広報を強化する 17.2 %	技術力を強化する 16.0 %	技術力を強化する 16.3 %	情報力・宣伝・広報を強化する 14.2 %
第5位	仕入先・提携先を開拓・選別する 教育訓練を強化する 労働条件を改善する 10.1 %	情報力・宣伝・広報を強化する 15.1 %	情報力・宣伝・広報を強化する 13.3 %	労働条件を改善する 12.8 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が57.9%で最も多かった。（n数5以下除く）

# サービス業 業種別コメント

## <仕入・価格について>

1. 物価が高く、原価も上がるが、値上げしない店が目の前にある為、自店がどうしても高いと思われてしまう。
2. 仕入価格が上昇傾向にある。価格転嫁は困難であり、利益率が低下している。
3. 需要も増えたが、人件費、光熱費の上昇により、利益が縮小している。需要が引き続き維持しても、人件費上昇が転嫁できていない状況の為、取引先との工賃交渉で理解いただけるように粘り強く訴える必要があるが、基本後手後手の為大きく値上げられるかがカギ。大企業への下請けへの値上げ喚起を国がしてほしい。
4. 諸経費の高騰。利用客数の減少。
5. 値上げの為、顧客が減少傾向である。
6. 仕入価格の上昇、コロナ後の行動様式の変化、大資本競合等で前途見通せない。廃業も検討せざるをえない。
7. 過剰仕入れを省き、無駄をなくす。
8. 原材料価格の上昇を価格転嫁出来るかどうか思案中。
9. 仕入価格の上昇に商品価格が追いつかない。年齢が上がり仕事をこなすスピードが落ちた。
10. 原油価格等、高止まりの状況下で売り上げも減少とダブルパンチ。夏以降に期待。
11. 人手不足による更なる賃金上昇、物価高騰による原材料費上昇で利益無し。

## <受注・業況について>

12. 大手サービス会社により受注が減少しつつある。
13. 介護事業のため、変動が少ない。
14. 今までとほぼ変わりなく、物価高にも経営効率の工夫で補っており、何ら問題はありません。
15. 需要が落ちついてしまった印象。
16. 人手不足による売上減少となっている。同業者間の競争による料金改定難しい。
17. デイサービスを利用する人の減少により、売上が伸びず苦勞が多い。倒産しそう。
18. 円安により親会社が不況で、それに伴い売上減少。
19. 新たな機械を導入するのは難しく外注（高い）に頼らざるを得ない。
20. 需要は変わらず、売上、利益も何とか確保できている（賃上げも実施）。但し、今後も人件費の上昇に備える必要がある。

21. お客様の購買欲が落ちている様子。食料品、光熱費等の値上がりが大きいと思われる。
22. 前年に比べて少しいの増収が見込まれる。
23. 需要が増えても、人材が確保できず、売上は減少。
24. 増収・増益が続いている。
25. 需要不足が不足し、今後の見通しが立たない。
26. 慢性的な人手不足を補う人材確保を断念し、協力会社を探し売上を確保することにシフトせざるを得ないか。
27. 仕事はなくならないが単価が上がらない。
28. 前期より多角化を行っているが、まだノウハウが少なく、安定した売上確保が難しい。
29. 受注状況良好の中、協力（下請け）業者の高齢化が進み廃業する会社が増えている。
30. 需要は増えているように感じるが、うまくさばけない。

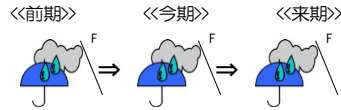
## <人材について>

31. 従業員の高齢化。
32. 土・日・夜の仕事はあるが人がいない。
33. 採用活動において会社が求める人材が見つからず、派遣社員（短期）でカバーしている。
34. 受注があっても人手の確保ができない。人手を増やすための資金がない。
35. 受注や問い合わせは増えているが人手不足により対応が難しくなっている。
36. 人手不足、若手の働き方の変化からくる人件費増大。売上は増加傾向。
37. 属人性が強い事業のため、人材確保に苦勞。

## <その他>

38. 特に変化なし。

# 建設業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況(Δ23→Δ25)はやや低調感が強まった。売上額(Δ20→Δ24)、施工高(Δ21→Δ25)はやや減少幅が拡大した。収益(Δ30→Δ30)は前期並となった。

## 価格・在庫動向

請負価格(2→1)は前期並となり、材料価格(61→58)はやや上昇傾向が弱まった。在庫(Δ5→1)は過剰に転じた。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(Δ24→Δ21)はやや窮屈感が緩和し、借入難易度(Δ10→Δ5)はやや厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は38%で前期の42%から4ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

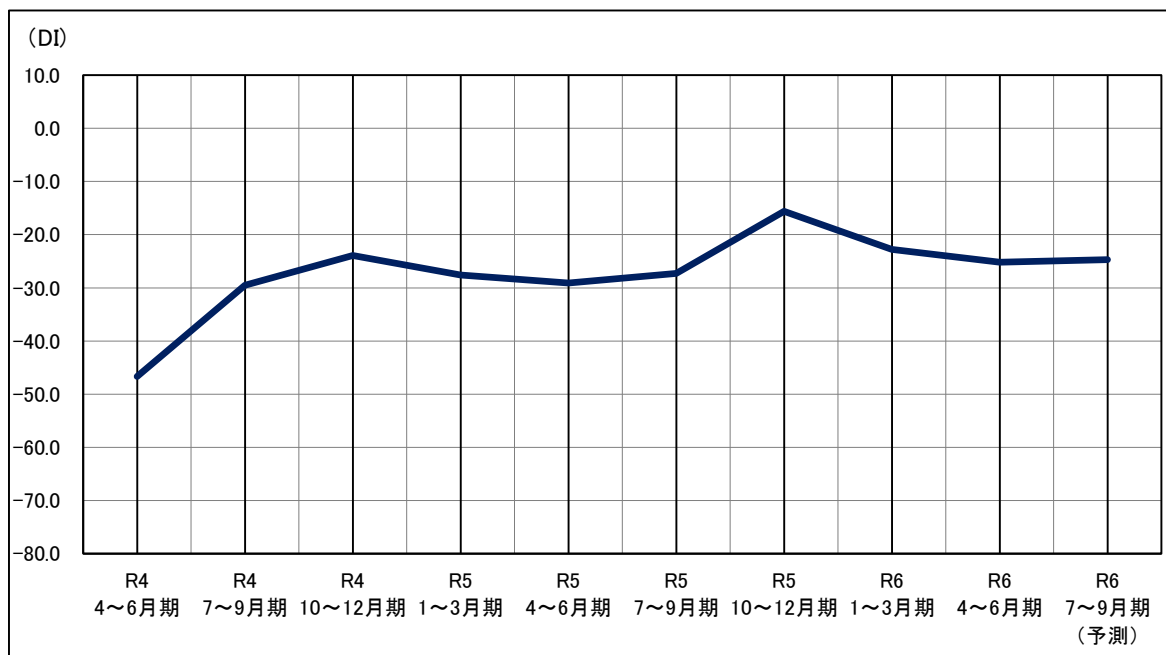
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が48%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が45%、3位は「売上の停滞・減少」が43%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が51%、2位は「経費を節減する」が39%、3位は「技術力を強化する」が30%となり、「技術力を強化する」が4位から3位となった。

## 来期の見通し

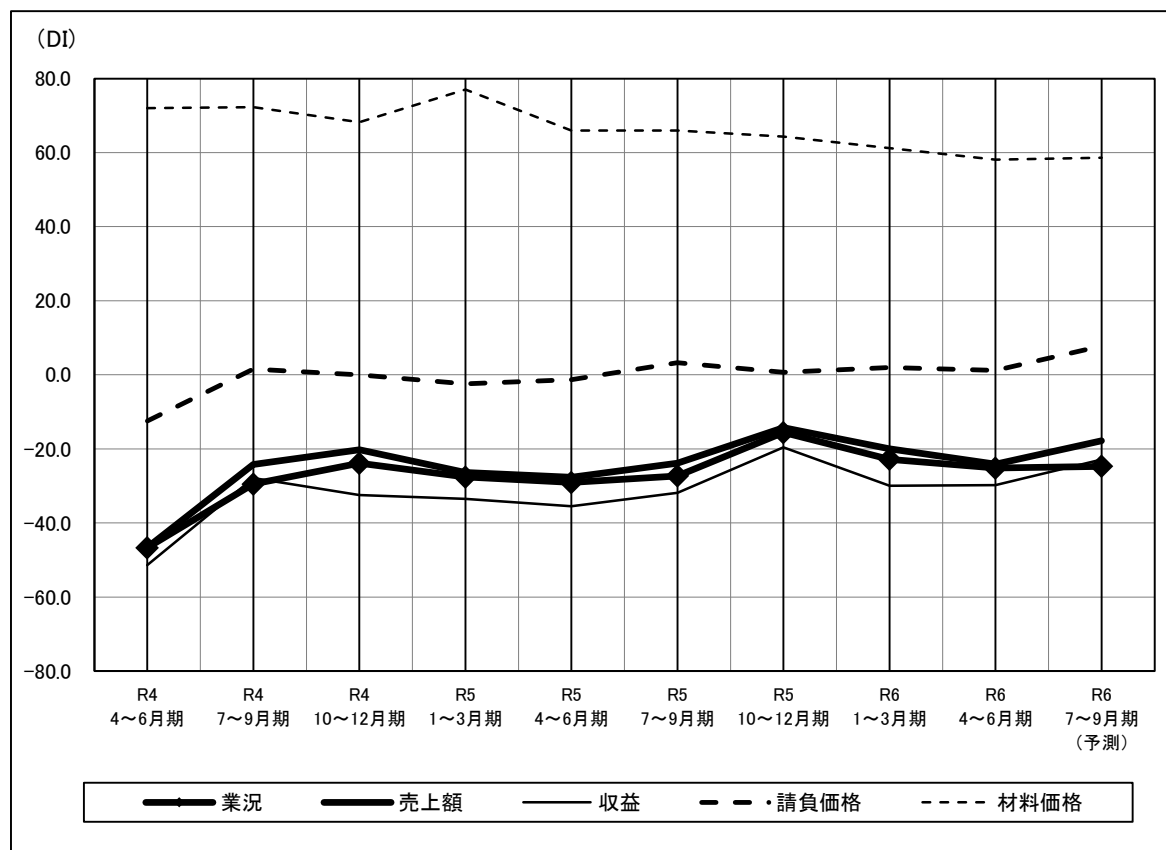
業況(Δ25→Δ25)は今期同様で推移する見込み。売上額(Δ24→Δ18)、収益(Δ30→Δ23)は大きく減少幅が縮小すると予想されている。

## 〈建設業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

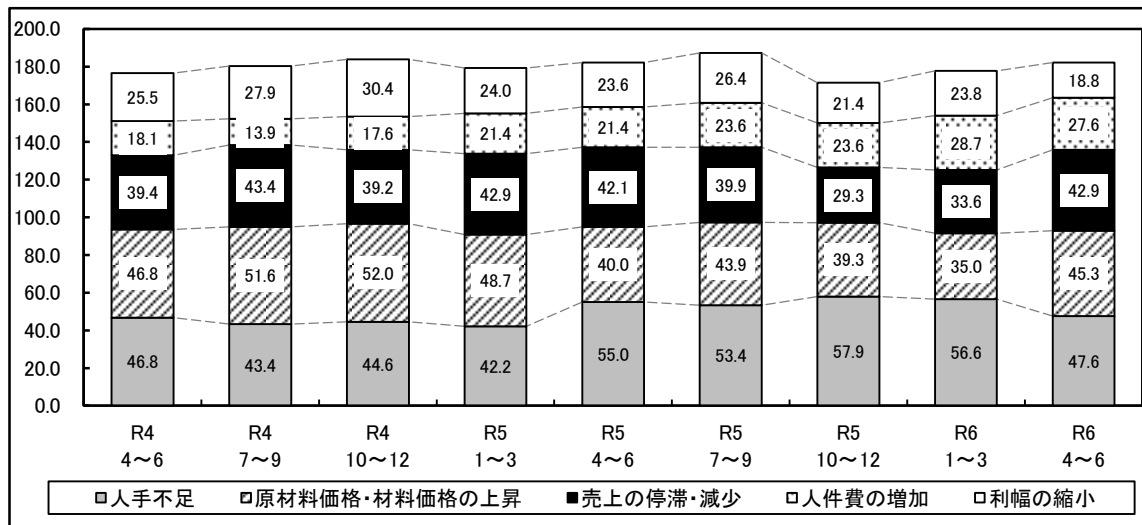


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、東京都の建設業の業況は表示していない。

## 〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



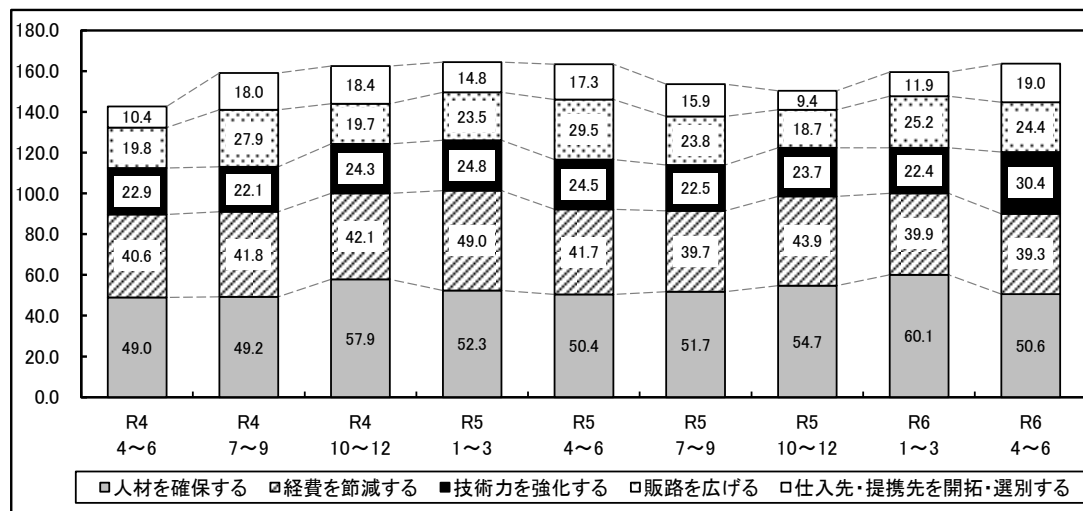
## 〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.~6月期	
第1位	人手不足	53.4 %	人手不足	57.9 %	人手不足	56.6 %	人手不足	47.6 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	43.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	39.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	35.0 %	原材料価格・材料価格の上昇	45.3 %
第3位	売上の停滞・減少	39.9 %	売上の停滞・減少	29.3 %	売上の停滞・減少	33.6 %	売上の停滞・減少	42.9 %
第4位	利幅の縮小	26.4 %	人件費の増加	23.6 %	人件費の増加	28.7 %	人件費の増加	27.6 %
第5位	人件費の増加	23.6 %	利幅の縮小	21.4 %	利幅の縮小	23.8 %	利幅の縮小	18.8 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が68.6%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.~6月期	
第1位	人材を確保する	51.7 %	人材を確保する	54.7 %	人材を確保する	60.1 %	人材を確保する	50.6 %
第2位	経費を節減する	39.7 %	経費を節減する	43.9 %	経費を節減する	39.9 %	経費を節減する	39.3 %
第3位	販路を広げる	23.8 %	技術力を強化する	23.7 %	販路を広げる	25.2 %	技術力を強化する	30.4 %
第4位	技術力を強化する	22.5 %	販路を広げる 労働条件を改善する	18.7 %	技術力を強化する	22.4 %	販路を広げる	24.4 %
第5位	仕入先・提携先を開拓・選別する	15.9 %	教育訓練を強化する	12.2 %	労働条件を改善する	14.0 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	19.0 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が71.4%で最も多かった。(n数5以下除く)

# 建設業 業種別コメント

## <仕入・価格について>

1. 物価上昇は不安としてあるものの、技術力を強化すれば需要は増える見込み。
2. 工事見積り依頼はあっても、以前と違い金額面で成約にはなかなか繋がらない。
3. 同業他社が乱立し、価格のバランスを崩されている事が要因として思い当たる。
4. 塗り替え工事など、一般のお客様の依頼は有るものの、相見積もりでの価格競争が激化。適正価格で見積りを提出したところで太刀打ちできず、値下げをせざるを得ない。こうした状況から、自らの首を絞めているという現状。
5. 材料の高騰に追いつけない。
6. 働き方改革（改悪）による一人当りの労働時間数の減少は仕事量の減少に繋がり人手不足となっている。仕入れ価格の高騰で利益率を低下させている。

## <受注・業況について>

7. 公共工事の発注が少ない。
8. 手持ち工事量が多く、受注を控える状況が続いている。
9. 不動産の市況悪化にともない、新築物件数が減少しているので、下請業者も売上減少になっている。
10. 労務費、原材料費の増加がきびしく、設備投資に充当する利益も少ない。
11. 原材料費、車両燃料代も上昇しており、既存の仕事だけでは、利幅確保が厳しくなるので、新しい分野（工法）での事業を開始し始め、安定受注・利益確保を努力中である。
12. 受注が出来ていなくて、返済が変わらないので借入を減らしたいと思っている。民間からの借入は金利の問題が有り、簡単に借入出来ない。
13. 受注はあっても厳しいコストカットを強いられ材料費、燃料費の上昇、職人の給料確保となかなか売上につながらない現状がある。
14. 数年続いたコロナ状態から公共関係の動きが良好な兆しが少なからあるが、海外の情勢が不安定なため原材料価格に影響を感じられる。
15. 金融機関との資金対応に苦勞することが予想される。入札（JV）成功後の資金対応。
16. お客様の廃業、縮小による売上減少。
17. 人材をある程度確保でき、受注できる仕事を増やせた。
18. 現在の当社の施工能力に見合った仕事の販路拡大が望まれる。

19. 2024 年は受注量の減少が有る、ただし2025 年は増加の予定である。

## <人材について>

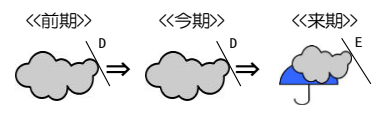
20. 依頼数が増えているが人手不足により全て受注するのは困難である。
21. 人手不足で外注に頼っている。
22. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている。
23. 原材料の高騰、働き方改革による人員不足で、施工能力が低下している。
24. 人手不足なので受注量を調整している。
25. 若手の人材不足である。
26. 従業員の高齢化。
27. 受注増の中、中堅の人材不足で人手不足になっている。
28. 若手、経験者、共に不足している。
29. 年間を通して受注に波があり採用ができず、人手不足になっている。
30. 受注見込みはあるものの、技術者不足、単価安。
31. 外国人研修生を雇用することで人手不足は解消できた。
32. 人手不足のため受注が思うようにできない。

## <その他>

33. 会社整理（廃業）の近い将来の可能性有り。
34. 廃業の予定。
35. 良くも悪くもなく、続けられればと思っている。
36. 工事現場の減少。
37. 修繕工事にあってもアスベスト対策事前調査等の負担が多い。
38. 現場数が減っている。
39. 人が増えても対処できるか不安はある。
40. 元請からの法令遵守の指導が厳しい。下請けイジメのように感じる。
41. 注文住宅で新しい工法とアレンジした住宅を手掛けていきます。
42. 年金・保険の負担が多すぎる。



# 不動産業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 18 \rightarrow \Delta 19$ ) は前期並となった。売上額 ( $\Delta 18 \rightarrow \Delta 15$ ) はやや減少幅が縮小し、収益 ( $\Delta 27 \rightarrow \Delta 18$ ) は大きく減少幅が縮小した。

## 価格・在庫動向

販売価格 ( $\Delta 9 \rightarrow 2$ ) は上昇に転じ、仕入価格 ( $24 \rightarrow 36$ ) は大きく上昇傾向が強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 15 \rightarrow \Delta 13$ ) はやや窮屈感が緩和した。借入難易度 ( $\Delta 15 \rightarrow \Delta 11$ ) はやや厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は 17% で前期の 23% から 6 ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

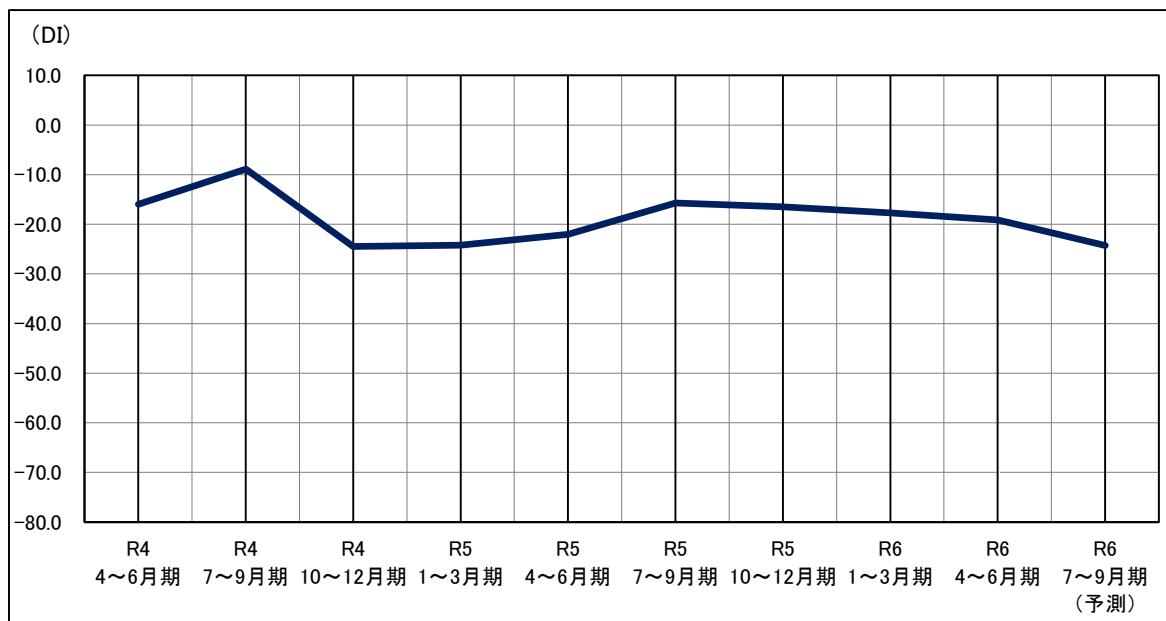
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 25%、2 位は「利幅の縮小」、「原材料価格・材料価格の上昇」が 24%、3 位は「人件費以外の経費増加」が 21% となり、「利幅の縮小」が 3 位から 2 位となった。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 32%、2 位は「不動産の有効活用を図る」が 27%、3 位は「販路を広げる」が 16% となり、「販路を広げる」が 4 位から 3 位となった。

## 来期の見通し

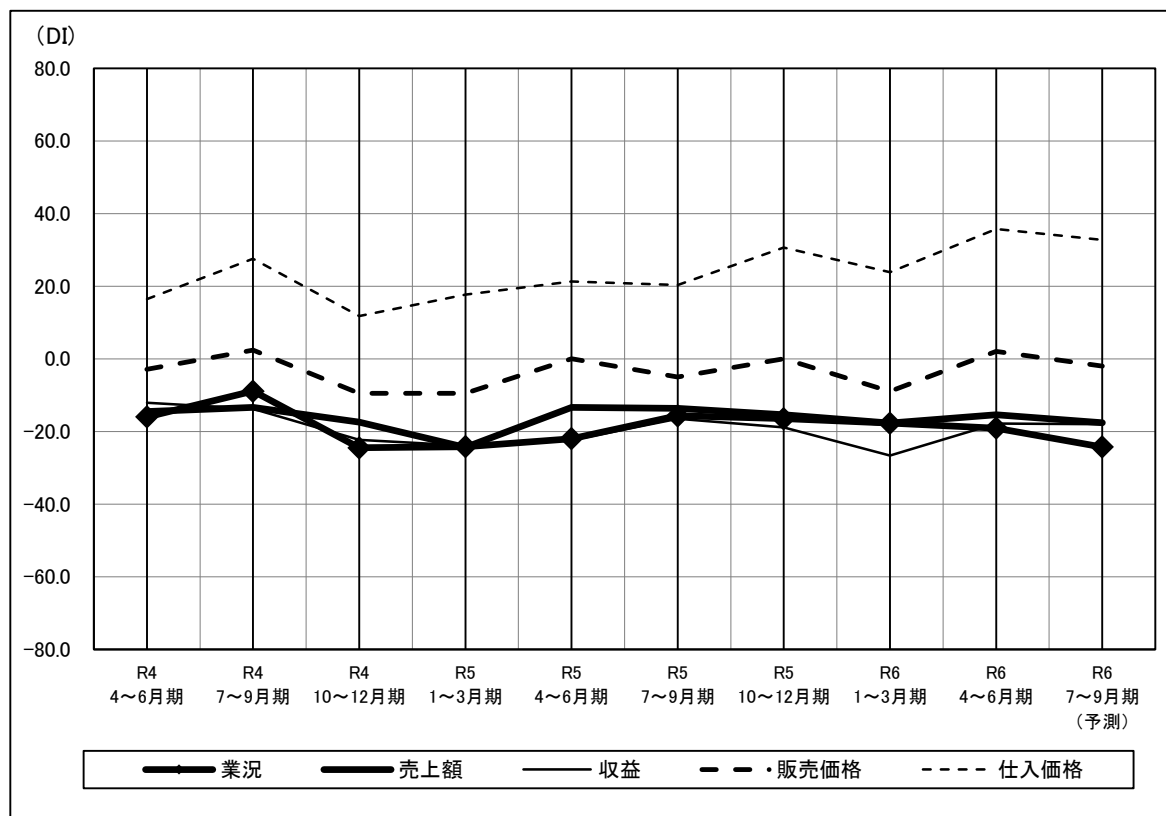
業況 ( $\Delta 19 \rightarrow \Delta 24$ ) はやや低調感が強まる見込み。売上額 ( $\Delta 15 \rightarrow \Delta 18$ ) はやや減少幅が拡大し、収益 ( $\Delta 18 \rightarrow \Delta 18$ ) は今期同様で推移すると予想されている。

## 〈不動産業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

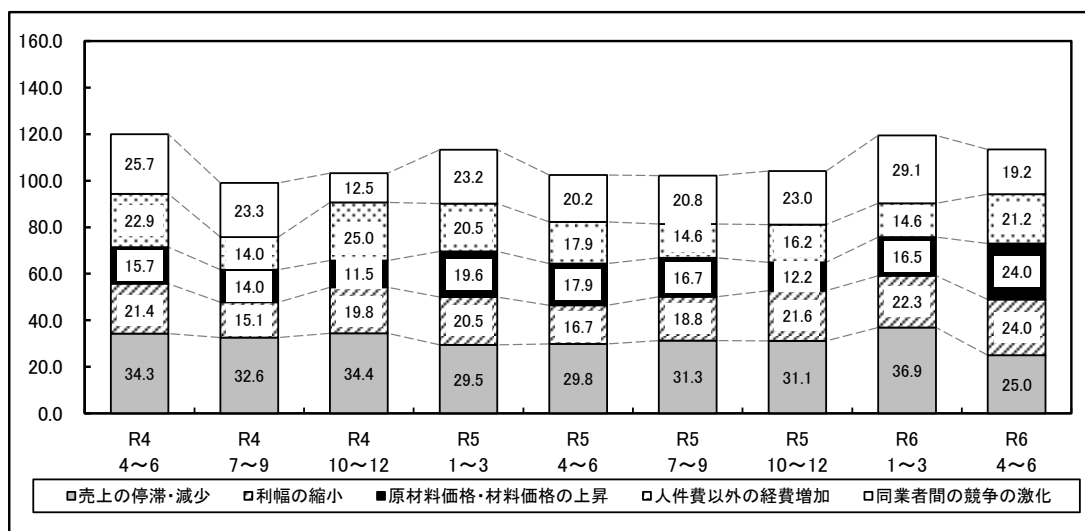


※ 東京都の景況調査では不動産業の調査は実施されていないため、東京都の不動産業の業況は表示していない。

## 〈不動産業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



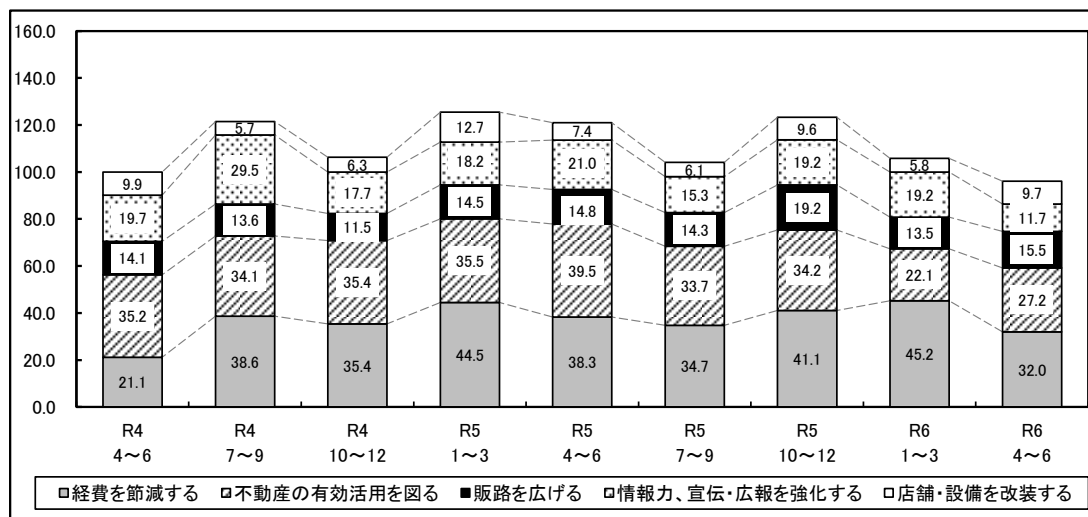
## 〈不動産業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.~6月期	
第1位	売上の停滞・減少	31.3%	売上の停滞・減少	31.1%	売上の停滞・減少	36.9%	売上の停滞・減少	25.0%
第2位	同業者間の競争の激化	20.8%	同業者間の競争の激化	23.0%	同業者間の競争の激化	29.1%	利幅の縮小 原材料価格・材料価格の上昇	24.0%
第3位	利幅の縮小	18.8%	利幅の縮小	21.6%	利幅の縮小	22.3%	人件費以外の経費増加	21.2%
第4位	原材料価格・材料価格の上昇	16.7%	人件費以外の経費増加	16.2%	原材料価格・材料価格の上昇	16.5%	同業者間の競争の激化	19.2%
第5位	人件費以外の経費増加	14.6%	原材料価格・材料価格の上昇	12.2%	人件費以外の経費増加	14.6%	販売商品の不足	6.7%

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が25.5%で最も多かった。(n数5以下は除く)

## 〈不動産業〉 重点経営施策 (%)



	R5.7~9月期		R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.~6月期	
第1位	経費を節減する	34.7%	経費を節減する	41.1%	経費を節減する	45.2%	経費を節減する	32.0%
第2位	不動産の有効活用を図る	33.7%	不動産の有効活用を図る	34.2%	不動産の有効活用を図る	22.1%	不動産の有効活用を図る	27.2%
第3位	情報力、宣伝・広報を強化する	15.3%	販路を広げる 情報力、宣伝・広報を強化する	19.2%	情報力、宣伝・広報を強化する	19.2%	販路を広げる	15.5%
第4位	販路を広げる	14.3%	仕入先・提携先を開拓・選別する	15.1%	販路を広げる	13.5%	情報力、宣伝・広報を強化する	11.7%
第5位	新しい事業を始める	10.2%	店舗・設備を改装する	9.6%	新しい事業を始める	8.7%	店舗・設備を改装する	9.7%

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が50.0%で最も多かった。(n数5以下は除く)

# 不動産業 業種別コメント

## ＜仕入・価格について＞

1. 正規の手数料を受け取ることができない。大幅な割引を要求される。同業の増加により、売上を確保することが年々難しくなっている。
2. 現在は安定しているが仕入に対する不安・諸費用の上昇等がある。
3. 不動産価格の上昇により収益性の向上が望めない。
4. 土地、新築戸建を希望のお客様の減少があり、価格の高騰（物価の急高騰）もあり、購入しづらい状況になっていると思われる。材料（資材等建築代金）の値上がりにより原価が高くなってしまふ。
5. 仕入価格は上がっているが、それを販売価格に転嫁できない。成約価格には限度がある。
6. 収入に対して、経費、修繕費の上昇が気になっている。
7. 大手不動産業者に、仕入れ競争で負けてしまう。
8. 工事費が高騰している。売値を上げて対応するほかない。
9. 不動産価格の上昇により、仕入れのコスト及びリスクが大きく、積極的に営業できない。
10. 需要はやや増加傾向にあるが、市場価格の上昇が競争にて抑えられている。
11. 売れ行きは順調なので仕入れを強化していきたい。
20. 金利や市況が不透明なため、管理を伴う固定売上の比率を上げるようにして、収益を確保するようにしています。
21. 大手企業、フランチャイズ店の増加により、案件が減っている。
22. アパートの老朽化に伴い、持続する為の資金の確保をどうするか。
23. 不動産仲介がふるわず、減収・減益が続いている。
24. DX化をIT補助金政策を活用させて頂きながら進めている。入出金を電子管理化し、精度向上と手間削減により人件費等の事務費削減を目指している。
25. 消費税（年金や）等公的支出が増加傾向にあり、物価・人件費が上がる中、中小企業の景況を悪くしている。

## ＜人材について＞

26. 売上減少により人材不足。
27. 道路拡張に伴う諸工事が増加し、人員増により売上増。

## ＜その他＞

12. 他社との競合も少なく、状況はあまり変わりません。
13. 大手資本による賃貸物件が近隣地域に増え、入室率の低下が懸念される。
14. 建物・設備等老朽化にともない修繕・更新が必要だがしないわけにはいかないので、物価高騰の影響が大きい。
15. 不動産価格の上昇により、収益性の向上が望めない。
16. 賃貸建物の改装費の急増による利幅の縮小。
17. ゼロ金利解除、長期プライムレートの利率上昇による返済額の上昇による利益の減少。募集家賃の値上げにも限度がある。
18. 常に苦しい。
19. 金利や市況が不透明なため、管理を伴う固定売上の比率を上げるようにして、収益を確保するようにしています。
28. 取引先が民事再生のため危機的状況にある。
29. 人の動きが減少していて、契約数が鈍くなっている。
30. 融資の範囲内で事業を拡張を望んでいる。
31. マンション経営につき、空室が一番困る。
32. 設備の老朽化により修理箇所が増えている。
33. 契約者が減少し、空室が目立って来ている。
34. 事務仕事が増加し本来業務に支障がある。
35. 固定資産税が高くなって困る。

# 日 金 矢 豆 観

[調査対象企業数]

調査対象企業数

(2024年6月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,778社	5,298社	9,076社	99.2%
うち大企業	917社	814社	1,731社	99.3%
中堅企業	1,057社	1,527社	2,584社	99.1%
中小企業	1,804社	2,957社	4,761社	99.2%

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

	2023年度	2024年度		2024年度			
		上期	下期	上期	下期		
円/ドル	2024年3月調査	140.36	139.04	141.68	141.42	141.60	141.25
	2024年6月調査	141.58	139.40	143.76	144.77	144.96	144.59
円/ユーロ	2024年3月調査	150.24	148.90	151.57	151.86	151.99	151.73
	2024年6月調査	152.06	149.48	154.65	155.40	155.61	155.20

[業況判断]

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	2024年3月調査		2024年6月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>大企業</b>						
製造業	11	10	13	2	14	1
非製造業	34	27	33	-1	27	-6
全産業	22	19	22	0	20	-2
<b>中堅企業</b>						
製造業	6	5	8	2	7	-1
非製造業	20	15	22	2	16	-6
全産業	14	11	16	2	12	-4
<b>中小企業</b>						
製造業	-1	0	-1	0	0	1
非製造業	13	8	12	-1	8	-4
全産業	7	5	7	0	5	-2
<b>全規模合計</b>						
製造業	4	4	5	1	6	1
非製造業	18	13	19	1	13	-6
全産業	12	9	12	0	10	-2

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2023年度		2024年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	3.4	0.0	2.5	1.6
	国内	3.7	-0.3	2.4	1.4
	輸出	2.9	0.6	2.6	2.2
	非製造業	1.0	-0.4	2.5	1.0
中堅企業	全産業	2.0	-0.3	2.5	1.3
	製造業	2.2	0.2	2.7	0.9
	非製造業	4.4	0.6	2.2	1.1
中小企業	全産業	3.7	0.5	2.4	1.0
	製造業	2.6	0.5	1.5	0.4
	非製造業	4.4	1.3	-0.1	1.1
全規模合計	全産業	4.0	1.1	0.2	0.9
	製造業	3.0	0.1	2.4	1.3
	非製造業	3.0	0.4	1.6	1.0
	全産業	3.0	0.3	1.9	1.1

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2024年3月調査		2024年6月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>中小企業</b>							
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-20	-18	-20	0	-19	1
	うち素材業種	-24	-23	-24	0	-24	0
	加工業種	-17	-15	-18	-1	-17	1
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-9	-9	-9	0	-10	-1
	うち素材業種	-17	-14	-16	1	-14	2
	加工業種	-23	-20	-21	2	-21	0
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	18		16	-2		
	うち素材業種	19		17	-2		
	加工業種	18		16	-2		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	16		17	1		
	うち素材業種	21		21	0		
	加工業種	14		14	0		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	26	33	30	4	37	7
	うち素材業種	27	34	35	8	38	3
	加工業種	25	33	28	3	36	8
	非製造業	26	32	28	2	33	5
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	56	59	61	5	62	1
	うち素材業種	51	55	60	9	59	-1
	加工業種	59	61	63	4	64	1
	非製造業	53	56	55	2	58	3

# 東京都・葛飾区の企業倒産動向

出典：(株) 東京商工リサーチ

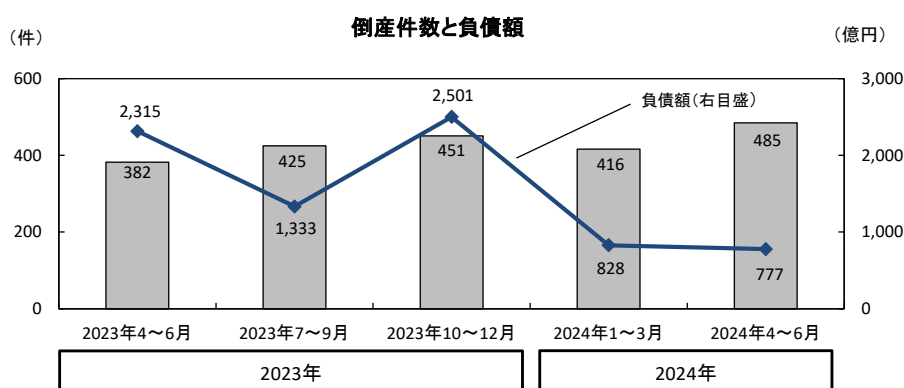
## 「東京都」の企業倒産動向について（2024年4～6月）

### 1. 概況

東京都内の企業倒産は、件数が485件、負債額は777億6,700万円となった。件数は前期比16.6%増、前年同期比27.0%増となった。負債額は前期比6.1%減、前年同期比66.4%減となった。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月		
件数(単位:件)	382	416	485	16.6%	27.0%
負債額(単位:百万円)	231,532	82,831	77,767	-6.1%	-66.4%



### 2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月		
製造業	32	20	22	10.0%	-31.3%
卸売業	59	63	94	49.2%	59.3%
小売業	34	45	43	-4.4%	26.5%
サービス業	88	99	118	19.2%	34.1%
建設業	51	49	54	10.2%	5.9%
不動産業	16	30	19	-36.7%	18.8%
情報通信業・運輸業	52	47	71	51.1%	36.5%
宿泊業・飲食サービス業	36	32	37	15.6%	2.8%
その他	14	31	27	-12.9%	92.9%
合計	382	416	485	16.6%	27.0%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月		
製造業	6,360	5,766	7,387	28.1%	16.1%
卸売業	42,545	16,323	9,951	-39.0%	-76.6%
小売業	12,350	5,237	11,545	120.5%	-6.5%
サービス業	136,629	10,859	12,611	16.1%	-90.8%
建設業	6,913	4,499	6,052	34.5%	-12.5%
不動産業	12,586	19,183	2,861	-85.1%	-77.3%
情報通信業・運輸業	5,983	14,054	10,113	-28.0%	69.0%
宿泊業・飲食サービス業	2,105	2,695	4,347	61.3%	106.5%
その他	6,061	4,215	12,900	206.0%	112.8%
合計	231,532	82,831	77,767	-6.1%	-66.4%

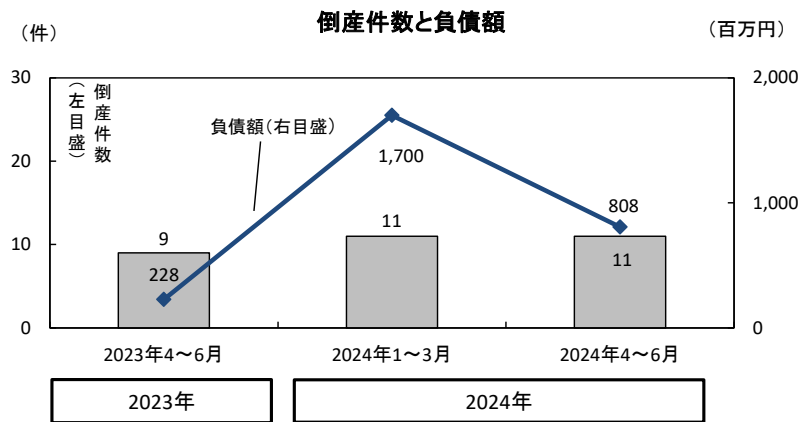
# 「葛飾区」の企業倒産動向について（2024年4～6月）

## 1. 概況

葛飾区内の企業倒産は、件数が11件、負債額は8億円となった。件数は前期比変わらず、前年同期比22.2%増となった。負債額は前期比52.5%減、前年同期比254.4%増となった。業種別件数では、建設業、不動産業、宿泊業・飲食サービス業で前年同期比増加した。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期		
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	9	11	11	0.0%	22.2%
負債額(単位:百万円)	228	1,700	808	-52.5%	254.4%



## 2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	2	0	1	-	-50.0%
卸売業	2	1	2	100.0%	0.0%
小売業	2	1	1	0.0%	-50.0%
サービス業	2	4	1	-75.0%	-50.0%
建設業	0	4	3	-25.0%	-
不動産業	0	0	1	-	-
情報通信業・運輸業	1	0	0	-	-100.0%
宿泊業・飲食サービス業	0	0	2	-	-
その他	0	1	0	-100.0%	-
合計	9	11	11	0.0%	22.2%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	21	0	20	-	-4.8%
卸売業	92	891	190	-78.7%	106.5%
小売業	30	20	20	0.0%	-33.3%
サービス業	55	452	55	-87.8%	0.0%
建設業	0	144	453	214.6%	-
不動産業	0	0	10	-	-
情報通信業・運輸業	30	0	0	-	-100.0%
宿泊業・飲食サービス業	0	0	60	-	-
その他	0	193	0	-100.0%	-
合計	228	1,700	808	-52.5%	254.4%

### 3. 地域別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	0	1	0	-100.0%	-
奥戸	0	0	1	-	-
お花茶屋	0	0	1	-	-
金町	0	0	1	-	-
鎌倉	0	1	0	-100.0%	-
亀有	1	0	1	-	0.0%
小菅	0	0	0	-	-
柴又	1	0	0	-	-100.0%
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	1	0	1	-	0.0%
高砂	1	0	2	-	100.0%
宝町	0	0	0	-	-
立石	1	1	0	-100.0%	-100.0%
新宿	0	1	0	-100.0%	-
西亀有	0	1	0	-100.0%	-
西新小岩	0	1	0	-100.0%	-
西水元	0	0	0	-	-
東金町	0	1	1	0.0%	-
東新小岩	2	0	2	-	0.0%
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	1	0	0	-	-100.0%
細田	0	1	0	-100.0%	-
堀切	1	2	0	-100.0%	-100.0%
水元	0	0	0	-	-
南水元	0	1	0	-100.0%	-
四つ木	0	0	1	-	-
合計	9	11	11	0.0%	22.2%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	0	193	0	-100.0%	-
奥戸	0	0	346	-	-
お花茶屋	0	0	55	-	-
金町	0	0	20	-	-
鎌倉	0	10	0	-100.0%	-
亀有	20	0	40	-	100.0%
小菅	0	0	0	-	-
柴又	10	0	0	-	-100.0%
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	10	0	10	-	0.0%
高砂	11	0	107	-	872.7%
宝町	0	0	0	-	-
立石	30	891	0	-100.0%	-100.0%
新宿	0	402	0	-100.0%	-
西亀有	0	80	0	-100.0%	-
西新小岩	0	10	0	-100.0%	-
西水元	0	0	0	-	-
東金町	0	44	90	104.5%	-
東新小岩	102	0	120	-	17.6%
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	35	0	0	-	-100.0%
細田	0	10	0	-100.0%	-
堀切	10	30	0	-100.0%	-100.0%
水元	0	0	0	-	-
南水元	0	30	0	-100.0%	-
四つ木	0	0	20	-	-
合計	228	1,700	808	-52.5%	254.4%



# 東京都・葛飾区の新設法人

出典：(株)東京商工リサーチ

※新設法人数はデータ収集の関係により1四半期前の情報を掲載

## 「東京都」の新設法人について（2024年1～3月）

### 1. 概況

2024年1～3月の東京都内の新設法人数は11,631件で、前期比2.6%減、前年同期比6.2%増となった。業種別では、卸売業が前期比4.3%増、前年同期比18.9%増となった。

### 2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件数)	前年同期 2023年1～3月	前期 2023年10～12月	当期 2024年1～3月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	643	698	625	-10.5%	-2.8%
卸売業	486	554	578	4.3%	18.9%
小売業	715	858	798	-7.0%	11.6%
サービス業	3,742	3,910	3,832	-2.0%	2.4%
建設業	451	584	425	-27.2%	-5.8%
不動産業	1,014	1,284	1,106	-13.9%	9.1%
情報通信業・運輸業	1,879	2,040	2,041	0.0%	8.6%
宿泊業・飲食サービス業	640	811	763	-5.9%	19.2%
その他	1,365	1,182	1,445	22.3%	5.9%
合計	10,935	11,921	11,613	-2.6%	6.2%

## 「葛飾区」の新設法人について（2024年1～3月）

### 1. 概況

2024年1～3月の葛飾区内の新設法人数は151件で前期比18.8%減、前年同期比2.7%増となった。業種別では、不動産業、情報通信業・運輸業、宿泊業・飲食サービス業が前年同期比増となった。地域別では、柴又、白鳥、新宿、東金町、東新小岩で前期比・前年同期比ともに増となった。

### 2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2023年1～3月	前期 2023年10～12月	当期 2024年1～3月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	11	18	9	-50.0%	-18.2%
卸売業	14	16	14	-12.5%	0.0%
小売業	21	19	16	-15.8%	-23.8%
サービス業	36	48	33	-31.3%	-8.3%
建設業	18	25	16	-36.0%	-11.1%
不動産業	9	15	13	-13.3%	44.4%
情報通信業・運輸業	17	22	24	9.1%	41.2%
宿泊業・飲食サービス業	9	14	13	-7.1%	44.4%
その他	12	9	13	44.4%	8.3%
合計	147	186	151	-18.8%	2.7%

### 3. 地域別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2023年1~3月	前期 2023年10~12月	当期 2024年1~3月	比率	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	10	7	4	-42.9%	-60.0%
奥戸	8	4	3	-25.0%	-62.5%
お花茶屋	6	2	1	-50.0%	-83.3%
金町	7	9	6	-33.3%	-14.3%
鎌倉	4	4	2	-50.0%	-50.0%
亀有	14	14	11	-21.4%	-21.4%
小菅	7	8	5	-37.5%	-28.6%
柴又	2	3	5	66.7%	150.0%
白鳥	2	1	3	200.0%	50.0%
新小岩	12	19	12	-36.8%	0.0%
高砂	2	10	7	-30.0%	250.0%
宝町	0	1	2	100.0%	-
立石	10	6	6	0.0%	-40.0%
新宿	2	4	6	50.0%	200.0%
西亀有	1	6	6	0.0%	500.0%
西新小岩	2	10	9	-10.0%	350.0%
西水元	5	7	2	-71.4%	-60.0%
東金町	8	12	18	50.0%	125.0%
東新小岩	8	11	16	45.5%	100.0%
東立石	3	6	6	0.0%	100.0%
東堀切	2	4	4	0.0%	100.0%
東水元	4	5	0	-100.0%	-100.0%
東四つ木	2	5	2	-60.0%	0.0%
細田	8	3	1	-66.7%	-87.5%
堀切	8	10	6	-40.0%	-25.0%
水元	2	4	4	0.0%	100.0%
南水元	4	4	2	-50.0%	-50.0%
四つ木	4	7	2	-71.4%	-50.0%
合計	147	186	151	-18.8%	2.7%

### 4. 代表者性別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2023年1~3月	前期 2023年10~12月	当期 2024年1~3月	比率	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
男性	126	158	127	-19.6%	0.8%
女性	21	28	24	-14.3%	14.3%
法人	0	0	-	-	-
不明	0	0	0	-	-
合計	147	186	151	-18.8%	2.7%

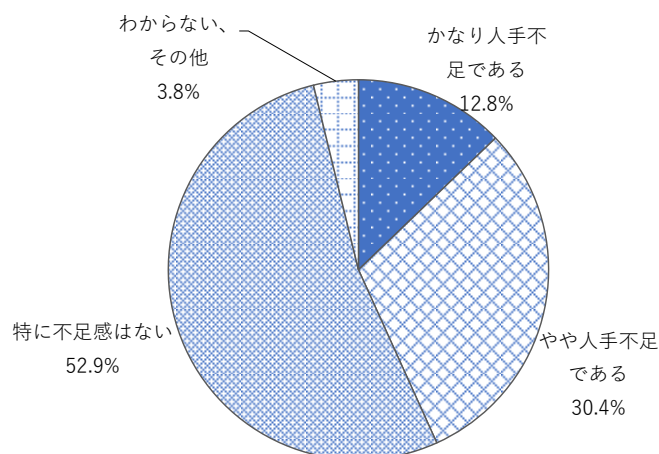
## 特別調査「人手不足対策について」

- ① 現在の人員状況については、「特に不足感はない」が52.9%で最多。
- ② 人手不足の対応については、「正社員の採用」が50.6%で最多。
- ③ 人手不足に対応する上での問題や課題については、「賃金を高くしなければ採用できない」が55.1%で最多。
- ④ 人手不足を感じない理由については、「仕事が減ったため」が33.9%で最多。
- ⑤ 外国籍の方の採用についての問題や課題については、「言葉などコミュニケーションの不安」が14.6%で最多。（外国人を採用する予定はない：67.7%除く）
- ⑥ 人手不足に関して、行政に望む支援については、「補助金・助成金の紹介」が33.2%で最多。

### 問1. 現在の人員状況に関して、どう思うか（〇は1つのみ）

現在の人員状況については、全体では「特に不足感はない」が52.9%で最も高く、次いで「やや人手不足である」が30.4%、「かなり人手不足である」が12.8%となった。また、「わからない、その他」が3.8%となった。

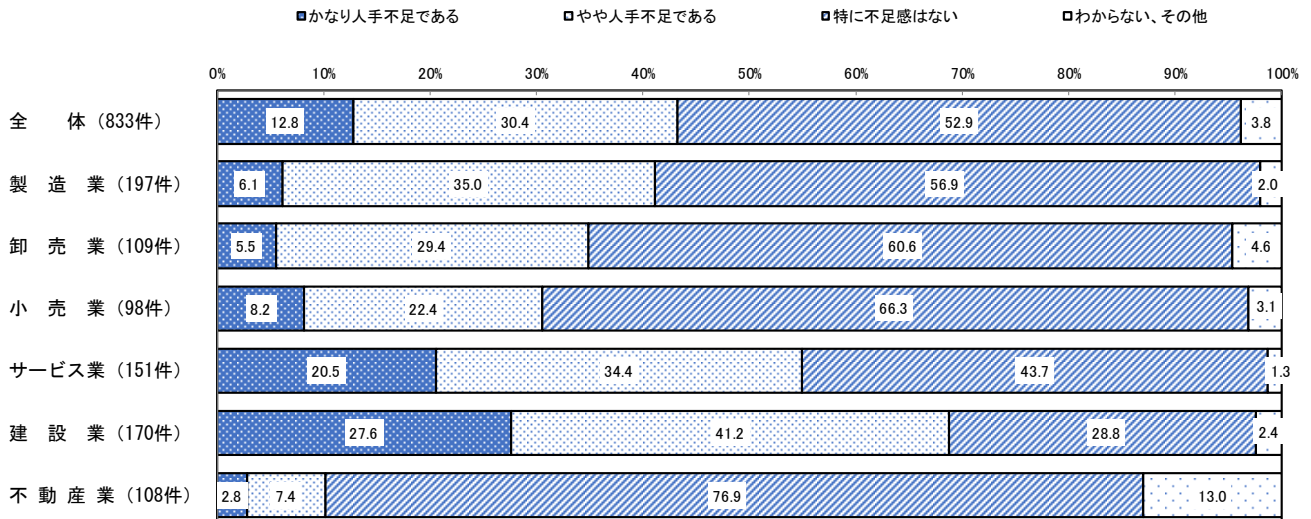
業種別にみると、建設業を除く全ての業種で「特に不足感はない」が最も高くなっている。建設業では「やや人手不足である」が41.2%で最も高く、次いで「特に不足感がない」が28.8%、「かなり人手不足である」が27.6%となった。



#### 【その他の意見】

- 適材がない。（サービス業）
- 今のところ1人で大丈夫。（不動産業）
- 適正人員。（不動産業）
- 従業員なし。（不動産業）
- 外注利用。（建設業）

【業種別】

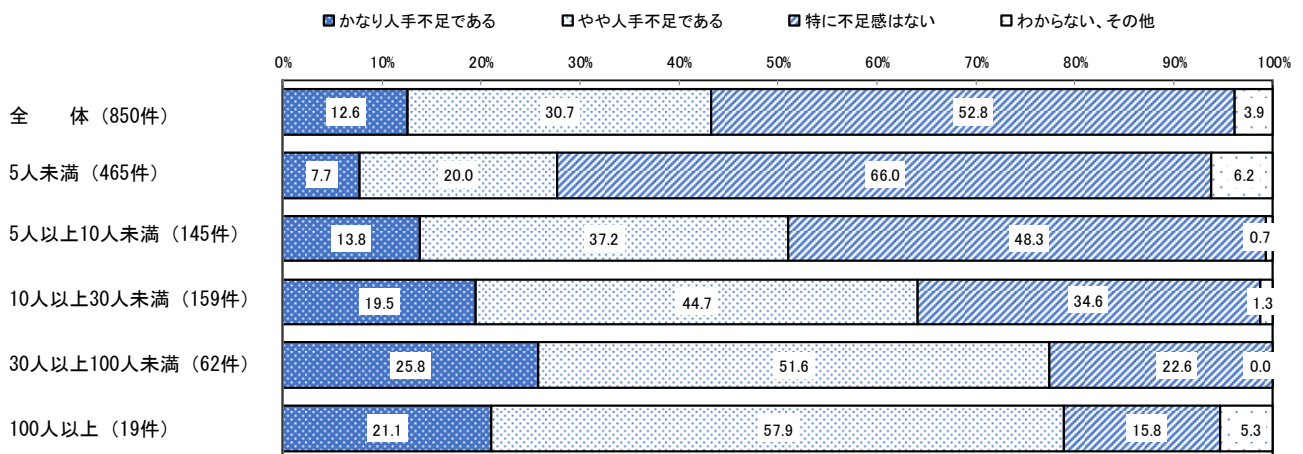


【従業員規模別】

現在の人員状況

(上段:件、下段:%)

		調査数	かなり人手不足である	やや人手不足である	特に不足感はない	わからない、その他
合計		850	107	261	449	33
		100.0	12.6	30.7	52.8	3.9
従業員数	5人未満	465	36	93	307	29
		100.0	7.7	20.0	66.0	6.2
	5人以上10人未満	145	20	54	70	1
		100.0	13.8	37.2	48.3	0.7
	10人以上30人未満	159	31	71	55	2
		100.0	19.5	44.7	34.6	1.3
30人以上100人未満	62	16	32	14	0	
	100.0	25.8	51.6	22.6	0.0	
100人以上	19	4	11	3	1	
	100.0	21.1	57.9	15.8	5.3	

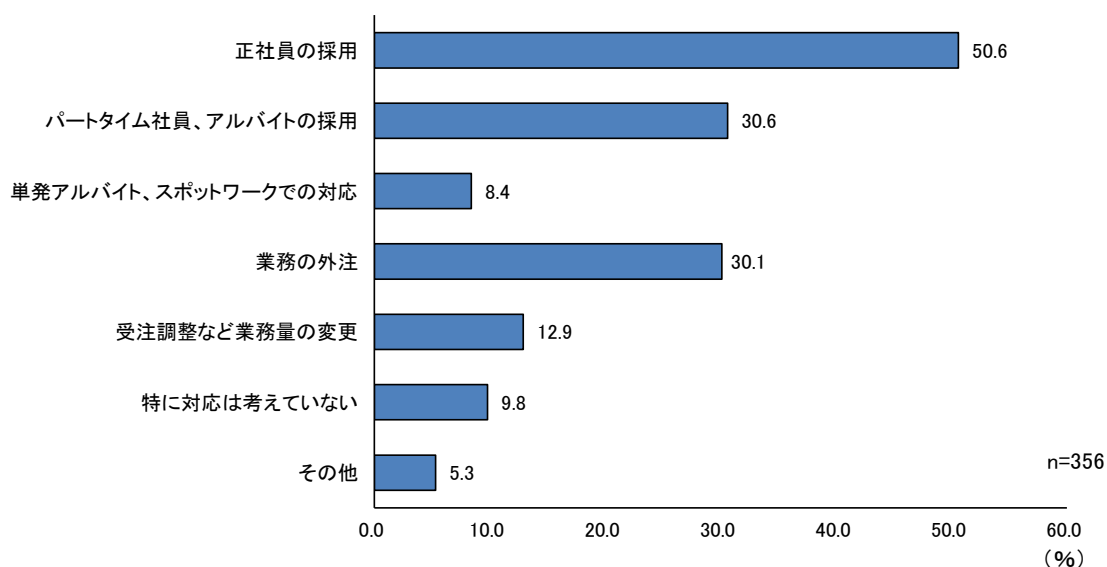


## 問2. 人手不足への対応はどのようにしているか（どのようにするつもりか）（〇はいくつでも）

問1で「かなり人手不足である」、「やや人手不足である」を選んだ方

人手不足への対応について、全体では「正社員の採用」が50.6%で最も高く、次いで「パートタイム社員、アルバイトの採用」が30.6%、「業務の外注」が30.1%となった。

業種別にみると、不動産を除く全ての業種で「正社員の採用」が最も高くなっている。（同率含む）  
不動産では「パートタイム社員、アルバイトの採用」が45.5%で最も高くなっている。

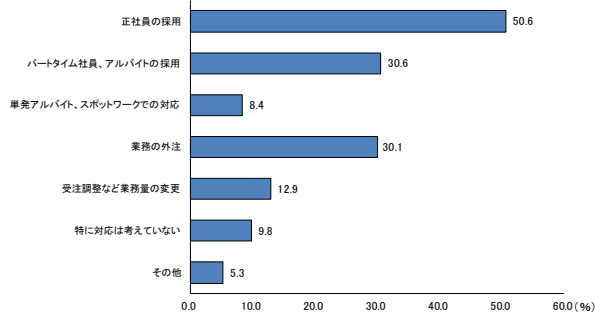


### 【その他の意見】

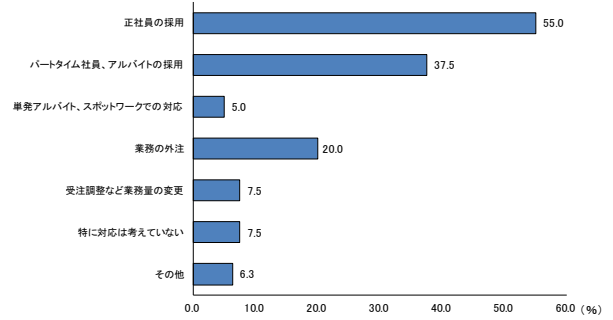
- 家族の経営参加を検討。（不動産業）
- 人を入れると利益が出ない。（小売業）
- 時給のアップ。（小売業）
- 派遣社員採用（短・長期）。（サービス業）
- 高齢のため2～3年で廃業のつもり。（製造業）
- 外国人雇用。（建設業）
- 同業他社からの応援⇒高い。（建設業）
- 外国人実習生。（建設業）
- ハローワーク依頼中。（製造業）
- 人材派遣を利用。（卸売業）
- 募集しても来ない。（建設業）
- 本社より応援。（小売業）
- 管理職社員で対応。（サービス業）
- 現在仕事量が落ち込んでいるためどうにか増員せずに対応出来ている。（製造業）
- 正社員は資格を有する者。（建設業）
- 業務量に応じて派遣にて調整。（サービス業）
- 業務の効率化。（建設業）

【業種別】

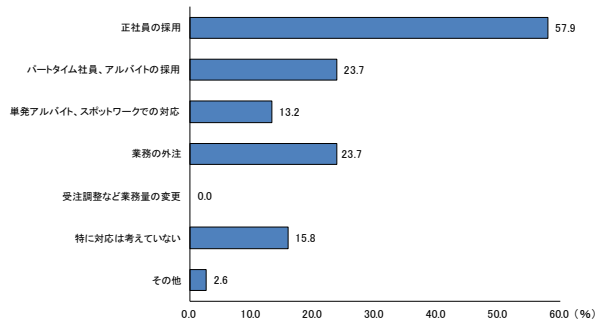
全 体 (356件)



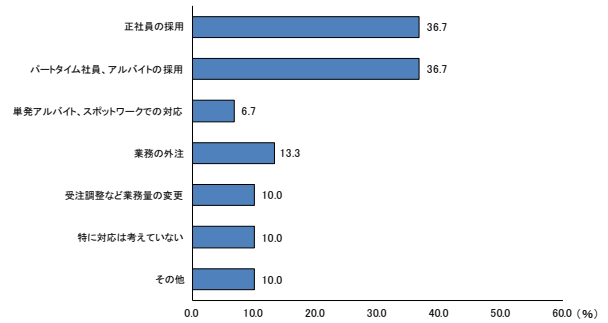
製 造 業 (80件)



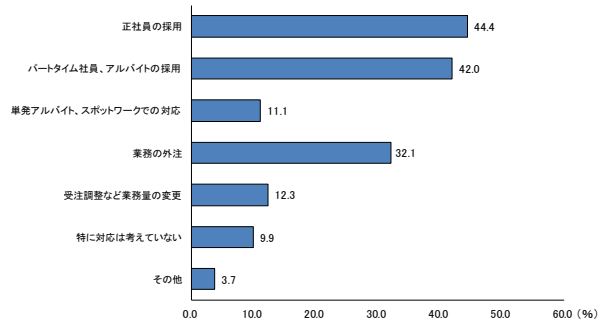
卸 売 業 (38件)



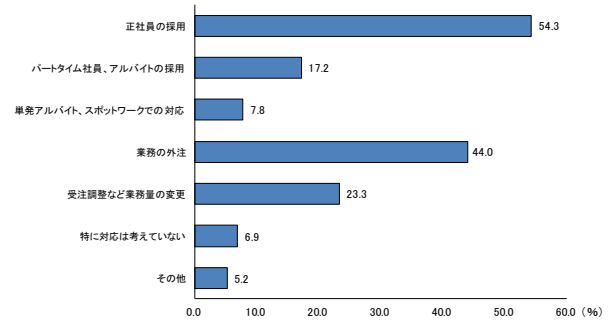
小 売 業 (30件)



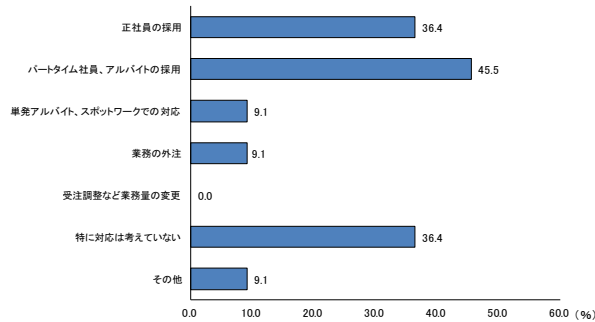
サービスマ業 (81件)



建 設 業 (116件)



不 動 産 業 (11件)

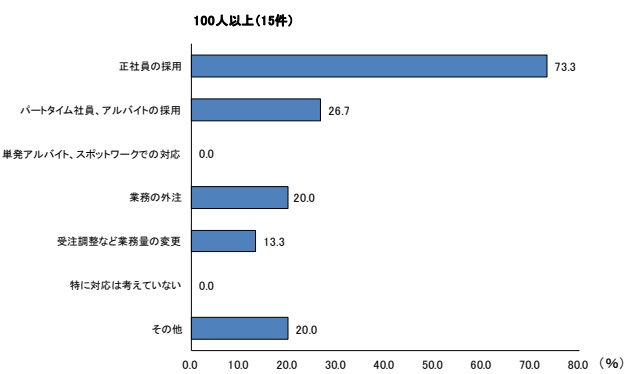
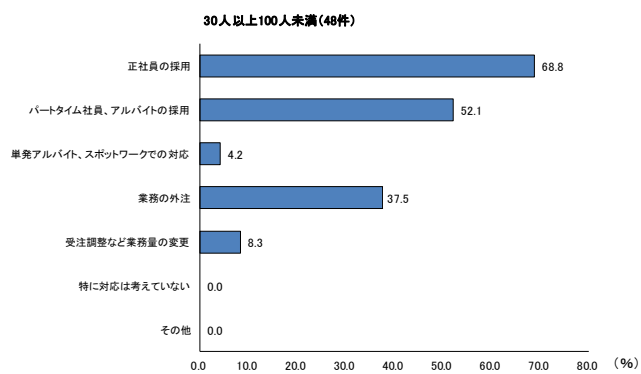
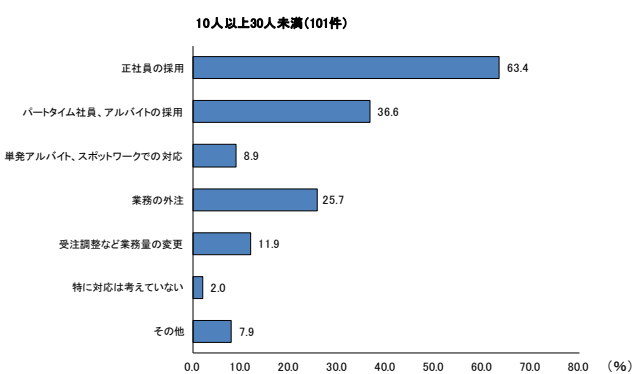
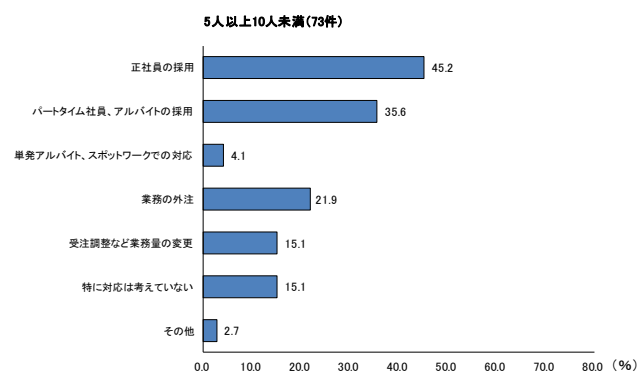
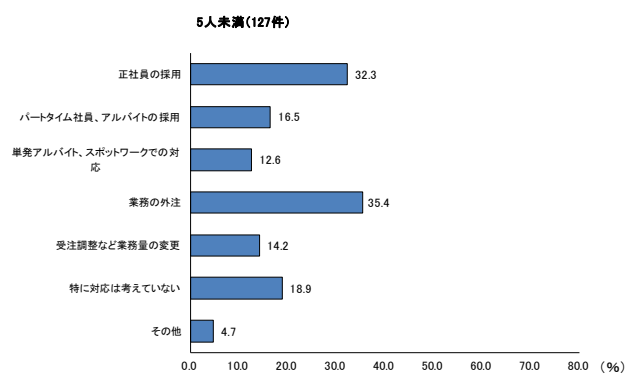
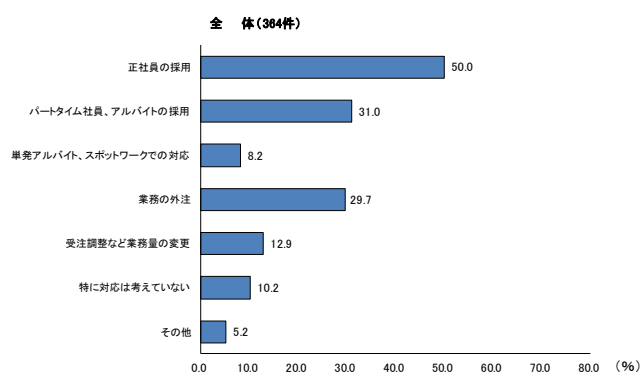


【従業員規模別】

人手不足への対応はどのようにしているか(どのようにするつもりか)

(上段:件、下段:%)

		調査数	正社員の採用	パートタイム社員、アルバイトの採用	単発アルバイト、スポットワークでの対応	業務の外注	受注調整など業務量の変更	特に対応は考えていない	その他
合計		364	182	113	30	108	47	37	19
		-	50.0	31.0	8.2	29.7	12.9	10.2	5.2
従業員数	5人未満	127	41	21	16	45	18	24	6
		-	32.3	16.5	12.6	35.4	14.2	18.9	4.7
	5人以上10人未満	73	33	26	3	16	11	11	2
		-	45.2	35.6	4.1	21.9	15.1	15.1	2.7
	10人以上30人未満	101	64	37	9	26	12	2	8
		-	63.4	36.6	8.9	25.7	11.9	2.0	7.9
30人以上100人未満	48	33	25	2	18	4	0	0	
	-	68.8	52.1	4.2	37.5	8.3	0.0	0.0	
100人以上	15	11	4	0	3	2	0	3	
	-	73.3	26.7	0.0	20.0	13.3	0.0	20.0	

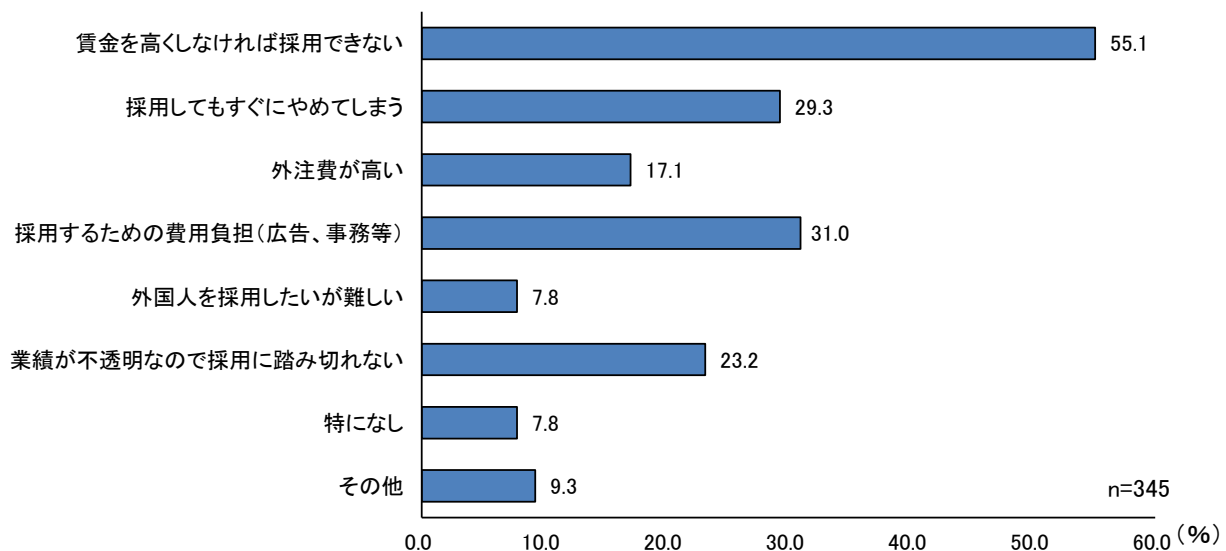


### 問3. 人手不足に対応する上での問題や課題（〇はいくつでも）

問1で「かなり人手不足である」、「やや人手不足である」を選んだ方。

人手不足に対応する上での問題や課題については、全体では「賃金を高くしなければ採用できない」が55.1%と最も高く、次いで「採用するための費用負担（広告、事務等）」が31.0%、「採用してもすぐやめてしまう」が29.3%となった。

業種別にみると、全ての業種で「賃金を高くしなければ採用できない」が最も高くなっている。（同率含む）



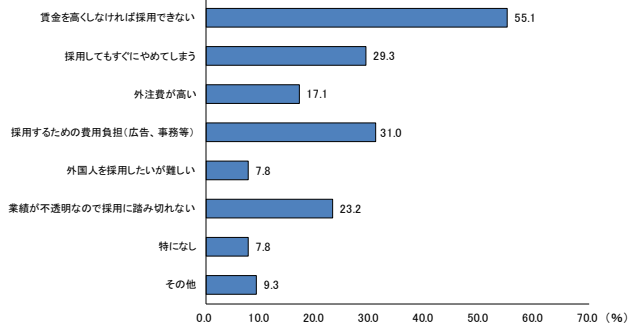
#### 【その他の意見】

- 良い人材がなかなか見付からない。（卸売業）
- 知名度や仕事内容の認知度が低い。（製造業）
- お金をかけても採用できない。（不動産業）
- 社会保険料が高くて雇えない。（小売業）
- 作業が暗い、危険、汚い。（製造業）
- 応募者がいない。（建設業）
- 特殊な仕事なのでスポットで頼むにしても能力の有無の関係あり。（卸売業）
- スキルがある人が少ない。（サービス業）
- ハローワークに人が集まらない。（製造業）
- 受注と人手の教育。（建設業）
- 弊社が希望する特殊技能を持つ人材がいない。（製造業）
- やや人手不足を感じる面もあるが、現在の人材で対応できている。（卸売業）
- できれば経験者か若い人材が欲しいが、応募がない。（製造業）
- 金銭面で採用する余裕がない。（不動産業）
- 募集しても反応がない。（サービス業）
- ファミリー企業の為、高齢化が問題。そういった社員（役員）の退職後の準備に難あり。（不動産業）
- 応募が少ない。働き手不足。（小売業）
- 正社員は資格を有する者。（建設業）
- 最近の傾向として、転職を繰り返す若手が多く、採用に慎重になる。よって同業他社への派遣に頼っている。（サービス業）

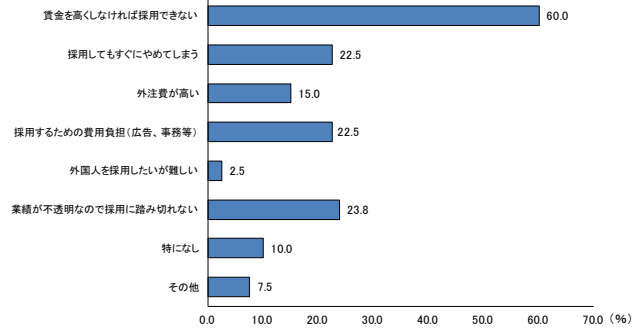


## 【業種別】

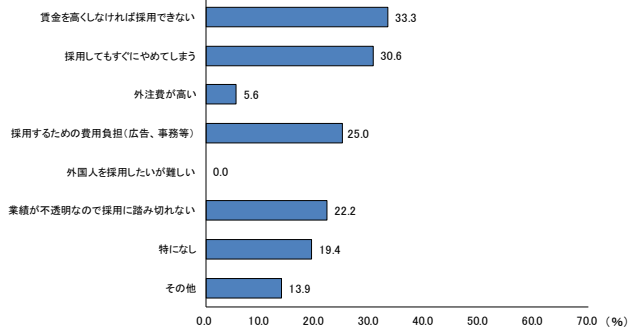
全体(345件)



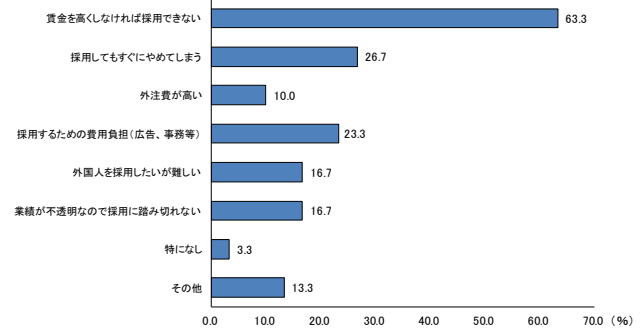
製造業(80件)



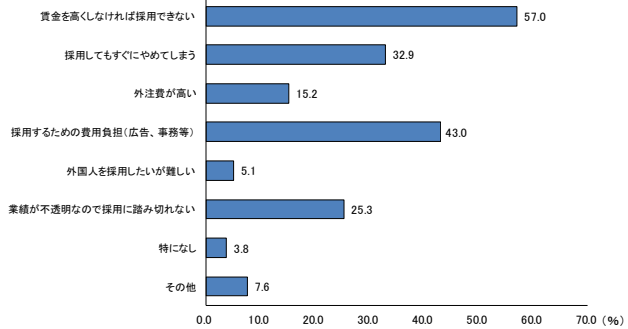
卸売業(38件)



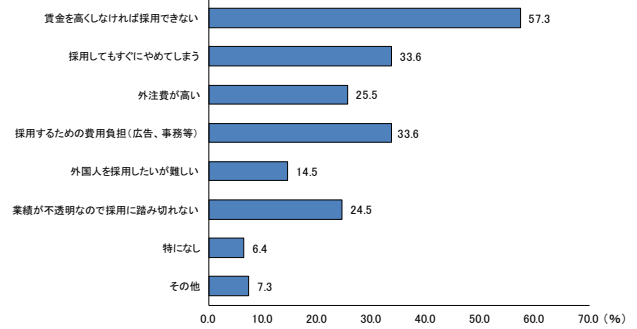
小売業(30件)



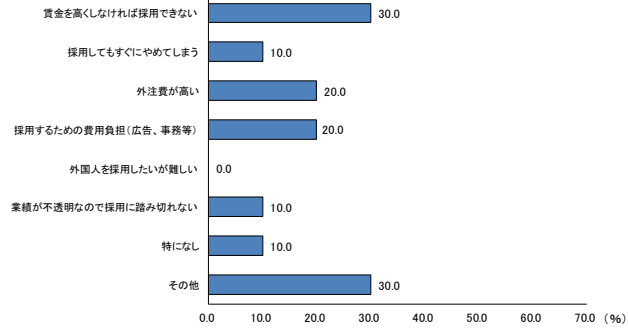
サービス業(79件)



建設業(110件)



不動産業(10件)



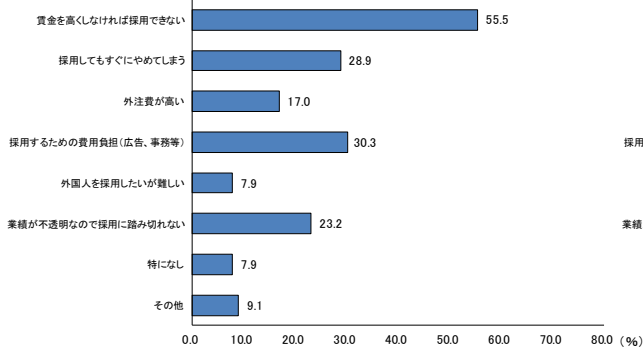
【従業員規模別】

人手不足に対応における上での問題・課題

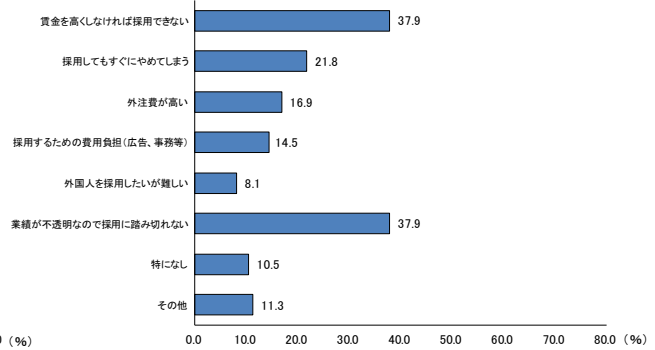
(上段:件、下段:%)

		調査数	賃金を高くしなければ採用できない	採用してもすぐにやめてしまう	外注費が高い	採用するための費用負担(広告、事務等)	外国人を採用したいが難しい	業績が不透明なので採用に踏み切れない	特になし	その他
合計		353	196	102	60	107	28	82	28	32
		-	55.5	28.9	17.0	30.3	7.9	23.2	7.9	9.1
従業員数	5人未満	124	47	27	21	18	10	47	13	14
		-	37.9	21.8	16.9	14.5	8.1	37.9	10.5	11.3
	5人以上10人未満	72	42	21	12	25	5	15	7	7
		-	58.3	29.2	16.7	34.7	6.9	20.8	9.7	9.7
	10人以上30人未満	98	66	34	17	37	7	16	5	9
	-	67.3	34.7	17.3	37.8	7.1	16.3	5.1	9.2	
	30人以上100人未満	44	32	13	8	21	5	4	2	1
	-	72.7	29.5	18.2	47.7	11.4	9.1	4.5	2.3	
	100人以上	15	9	7	2	6	1	0	1	1
	-	60.0	46.7	13.3	40.0	6.7	0.0	6.7	6.7	

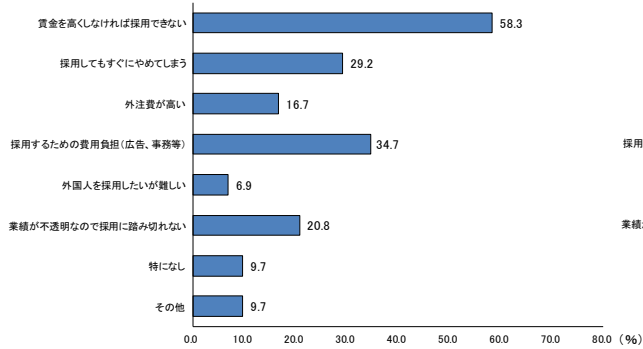
全体(353件)



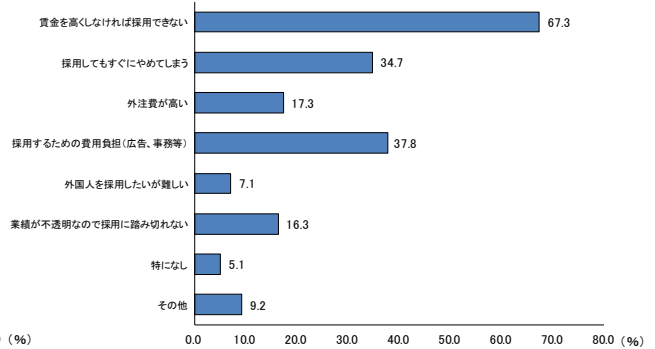
5人未満(124件)



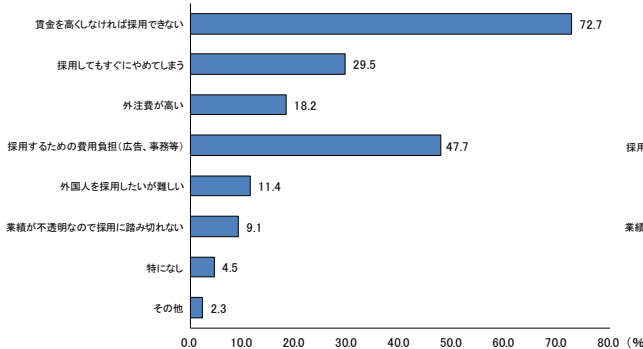
5人以上10人未満(72件)



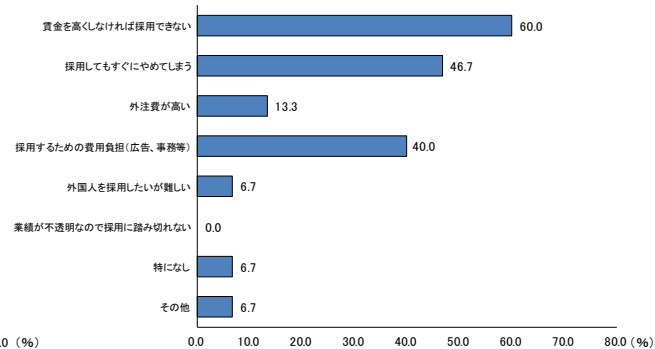
10人以上30人未満(98件)



30人以上100人未満(44件)



100人以上(15件)

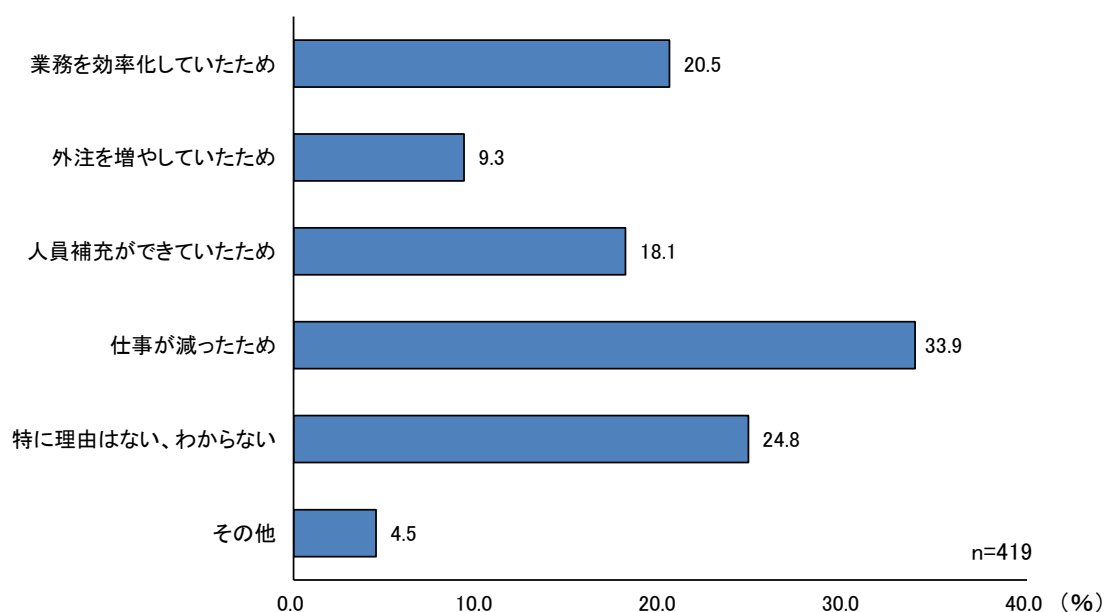


#### 問 4. 人手不足を感じない理由（〇はいくつでも）

問 1 で「特に不足感はない」を選択した方

人手不足を感じない理由については、全体では「仕事が減ったため」が 33.9%と最も高く、次いで「業務を効率化していたため」が 20.5%、「人員補充ができていたため」が 18.1%となった。また「特に理由はない、わからない」が 24.8%となった。

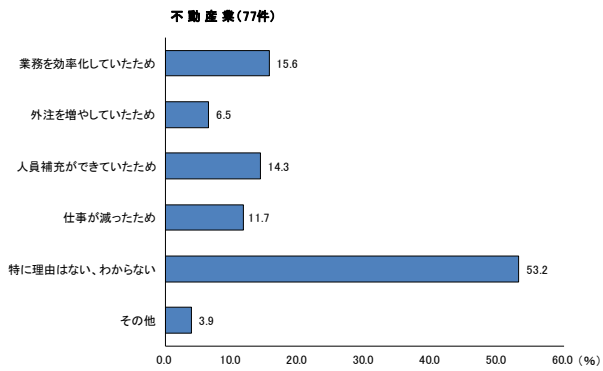
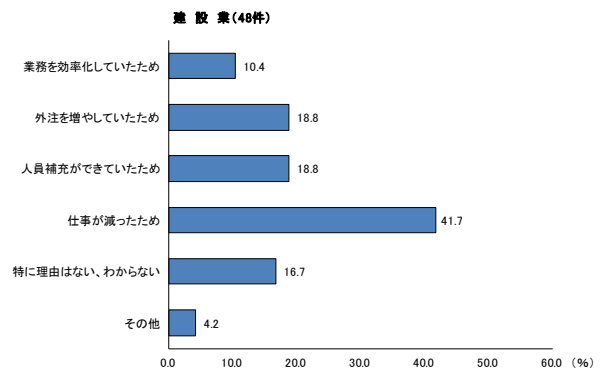
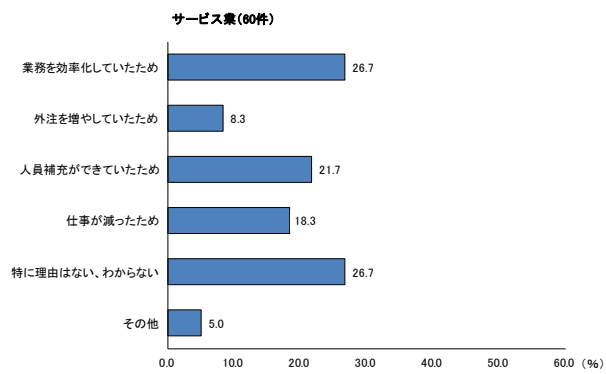
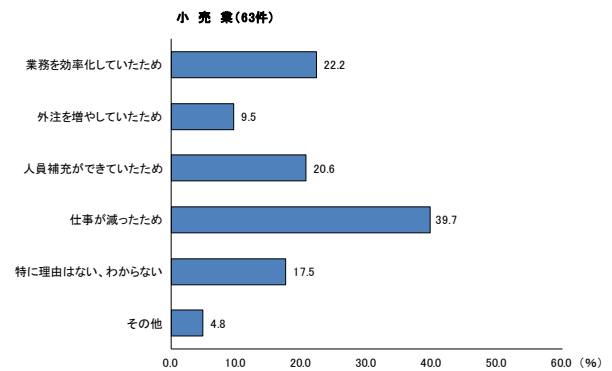
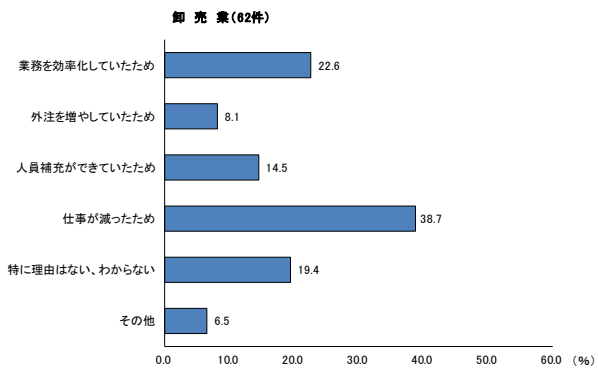
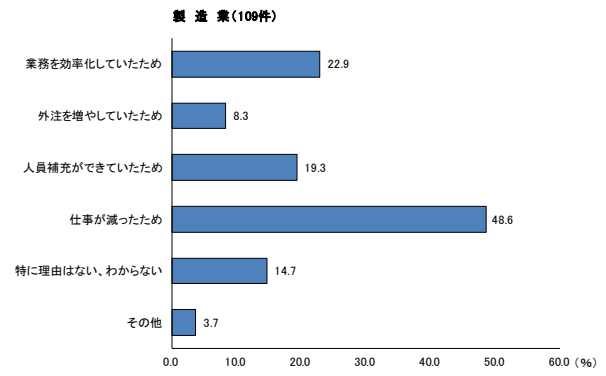
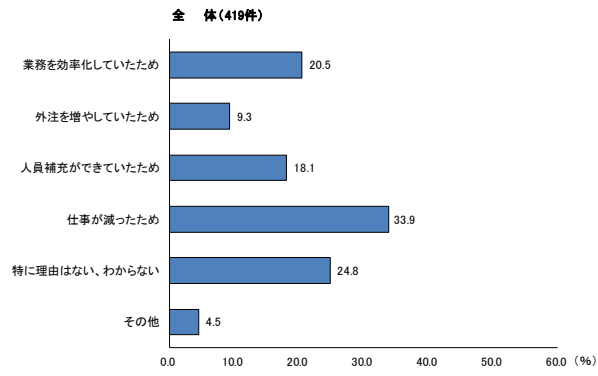
業種別にみると、サービス業で「業務を効率化していたため」が 26.7%と最も高くなっている。（同率含む）



#### 【その他の意見】

- 客数の減少。（小売業）
- それぞれの社員の能力向上。（卸売業）
- 人員内で受注している。（サービス業）
- 現況で、満足している。（卸売業）
- 人手不足になるほど受注がない。（建設業）
- 作る製品の種類を減らした為。（製造業）
- 人員過剰。（製造業）
- 現在の人員でまかなえるため。（小売業）
- 売上は落ちているが、徐々に回復するので、現在は適正人数かと思う。（卸売業）
- 適正人員で稼働しているから。（製造業）

【業種別】

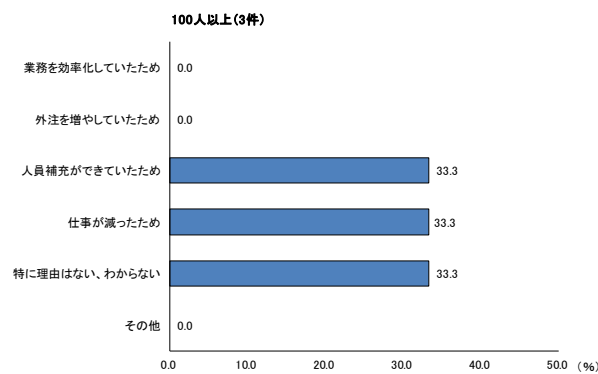
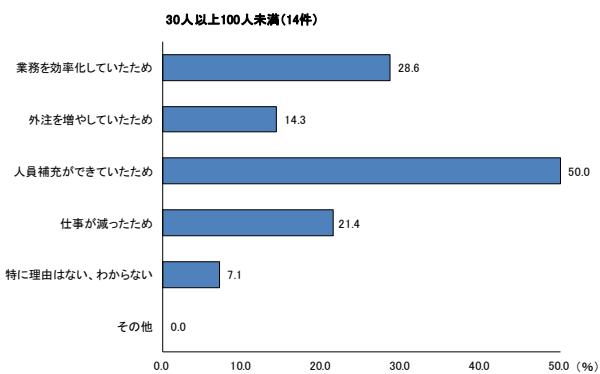
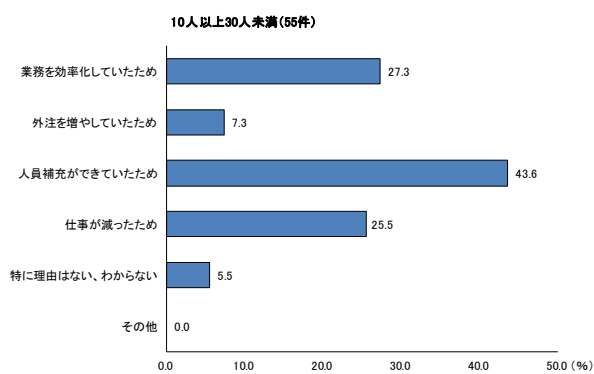
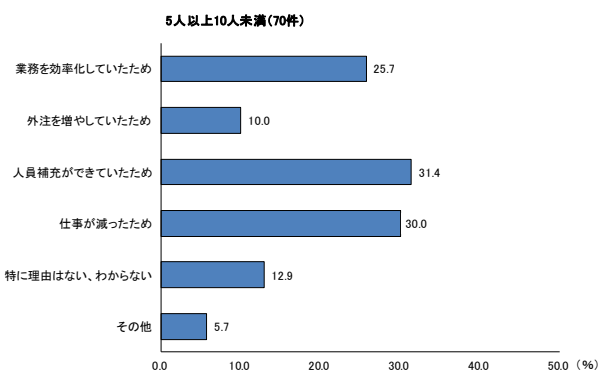
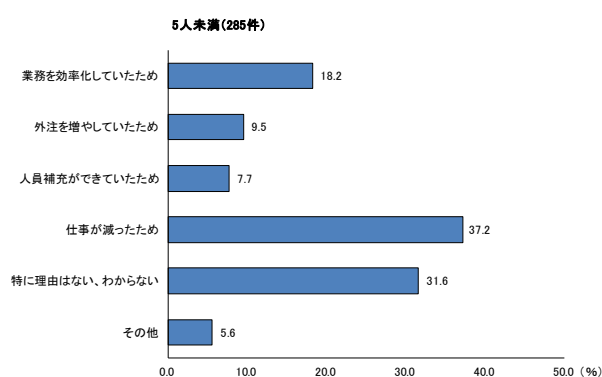
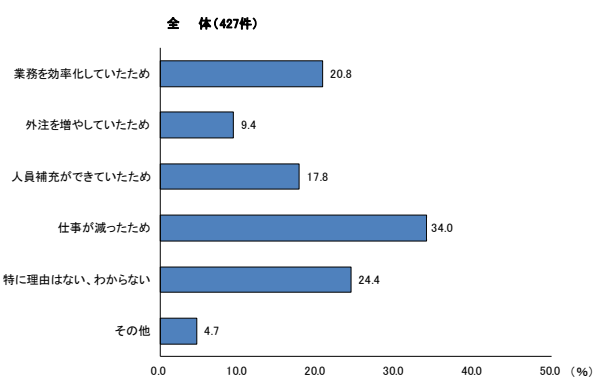


【従業員規模別】

人手不足を感じない理由

(上段:件、下段:%)

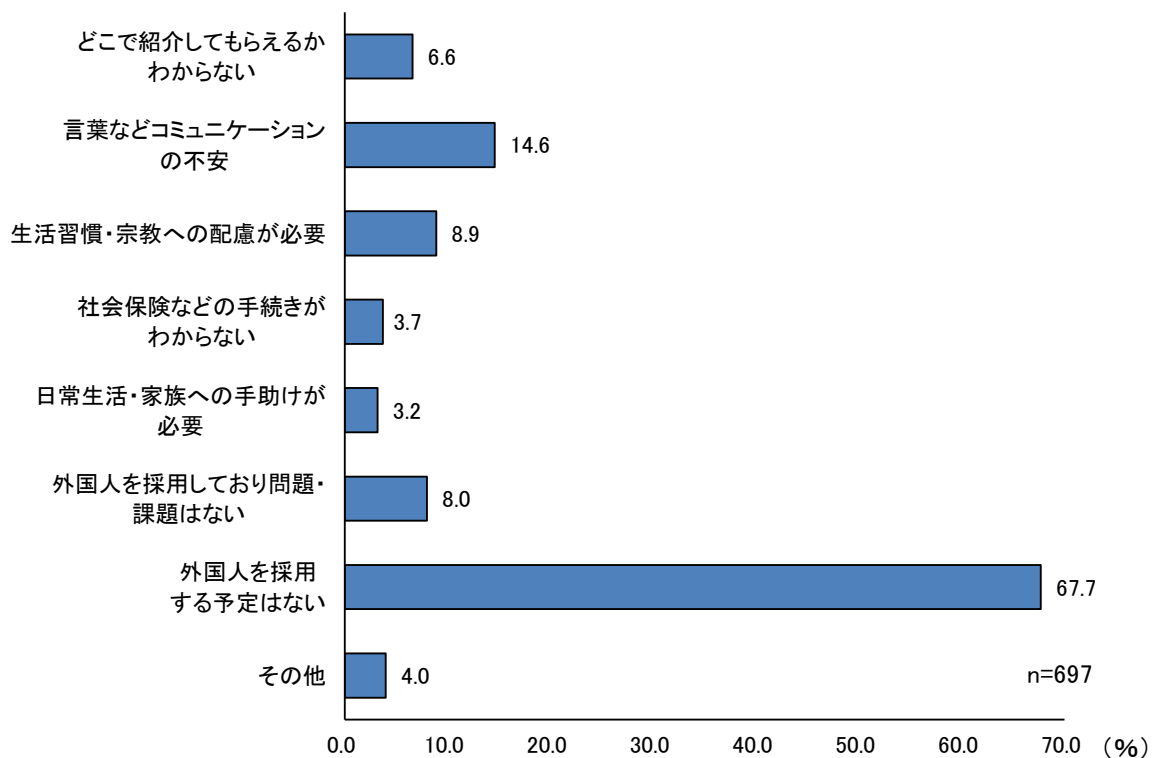
		調査数	業務を効率化していたため	外注を増やしていたため	人員補充ができていたため	仕事が減ったため	特に理由はない、わからない	その他
合計		427	89	40	76	145	104	20
		-	20.8	9.4	17.8	34.0	24.4	4.7
従業員数	5人未満	285	52	27	22	106	90	16
		-	18.2	9.5	7.7	37.2	31.6	5.6
	5人以上10人未満	70	18	7	22	21	9	4
		-	25.7	10.0	31.4	30.0	12.9	5.7
	10人以上30人未満	55	15	4	24	14	3	0
	-	27.3	7.3	43.6	25.5	5.5	0.0	
	30人以上100人未満	14	4	2	7	3	1	0
	-	28.6	14.3	50.0	21.4	7.1	0.0	
	100人以上	3	0	0	1	1	1	0
	-	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	



## 問5. 外国籍の方の採用についての問題や課題（〇はいくつでも）

外国籍の方の採用についての問題や課題については、全体では「言葉などコミュニケーションの不安」が14.6%で最も高く、次いで「生活習慣・宗教への配慮が必要」が8.9%、「どこで紹介してもらえるかわからない」が6.6%となった。また「外国人を採用する予定はない」が67.7%、「外国人を採用しており問題・課題はない」が8.0%となった。

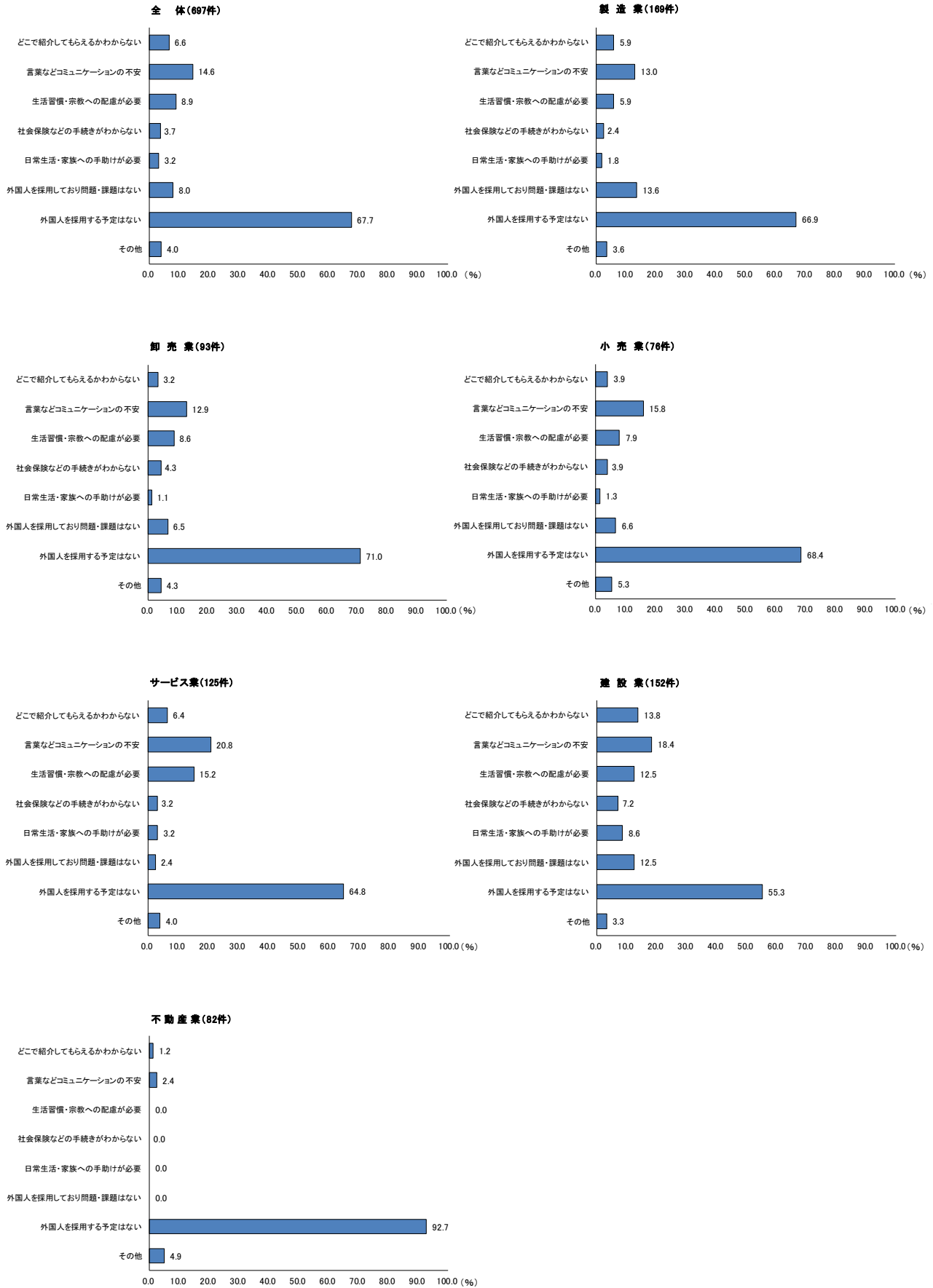
業種別にみると、全ての業種で「言葉などコミュニケーションの不安」が最も高くなっている。



### 【その他の意見】

- 採用していない。(製造業)
- 運転免許証が必要だから。(サービス業)
- 経費がかかりすぎる。(建設業)
- 紹介料などが高い。(建設業)
- 必要に応じ日本人でも外国人でも合う人材の採用を考えたい。(卸売業)
- 日本人を含めて採用の予定がない。(小売業)
- 施工管理者としての前例がなく、認められない。(建設業)
- 既に外国人を採用しているが、日本の慣習に合わない人の場合は、教育の負担が大きいと感じる。(卸売業)
- 元請が承諾しない。(建設業)
- 別に外国人の採用には問題ないが、現在人員は足りている。(製造業)

## 【業種別】

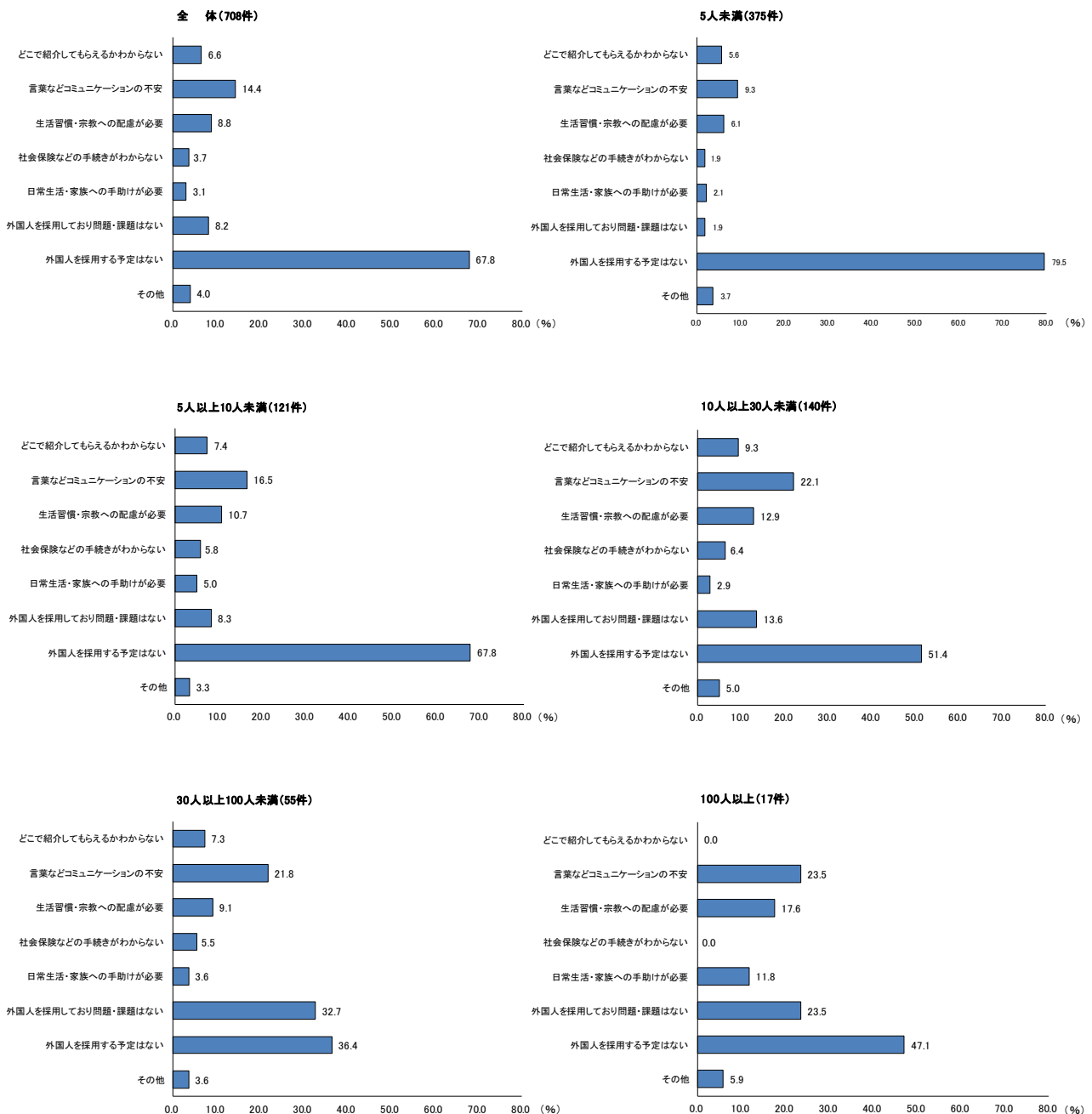


【従業員規模別】

外国籍の方の採用についての問題・課題

(上段:件、下段:%)

		調査数	どこで紹介してもらえないかわからない	言葉などコミュニケーションの不安	生活習慣・宗教への配慮が必要	社会保険などの手続きがわからない	日常生活・家族への手助けが必要	外国人を採用しており問題・課題はない	外国人を採用する予定はない	その他
合計		708	47	102	62	26	22	58	480	28
		-	6.6	14.4	8.8	3.7	3.1	8.2	67.8	4.0
従業員数	5人未満	375	21	35	23	7	8	7	298	14
		-	5.6	9.3	6.1	1.9	2.1	1.9	79.5	3.7
	5人以上10人未満	121	9	20	13	7	6	10	82	4
		-	7.4	16.5	10.7	5.8	5.0	8.3	67.8	3.3
	10人以上30人未満	140	13	31	18	9	4	19	72	7
	-	9.3	22.1	12.9	6.4	2.9	13.6	51.4	5.0	
	30人以上100人未満	55	4	12	5	3	2	18	20	2
	-	7.3	21.8	9.1	5.5	3.6	32.7	36.4	3.6	
	100人以上	17	0	4	3	0	2	4	8	1
	-	0.0	23.5	17.6	0.0	11.8	23.5	47.1	5.9	

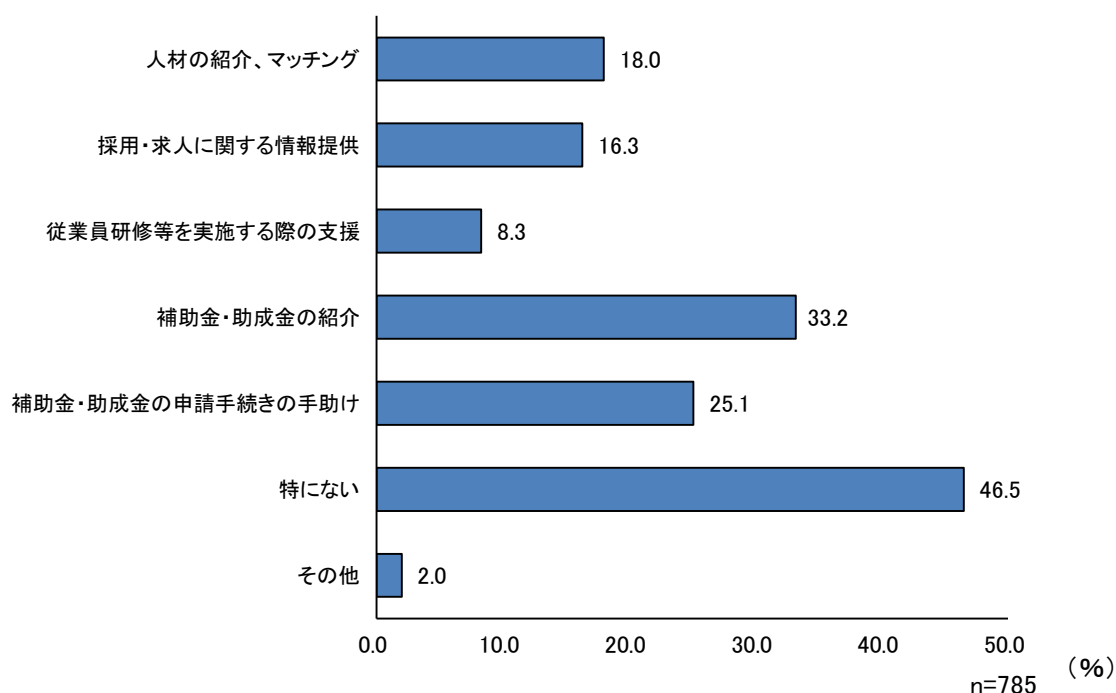




## 問 6. 人手不足に関して、行政に望む支援（〇はいくつでも）

人手不足に関して、行政に望む支援については、全体では「補助金・助成金の紹介」が33.2%で最も高く、次いで「補助金・助成金の申請手続きの手助け」が25.1%、「人材の紹介、マッチング」が18.0%となった。また「特にない」が46.5%となった。

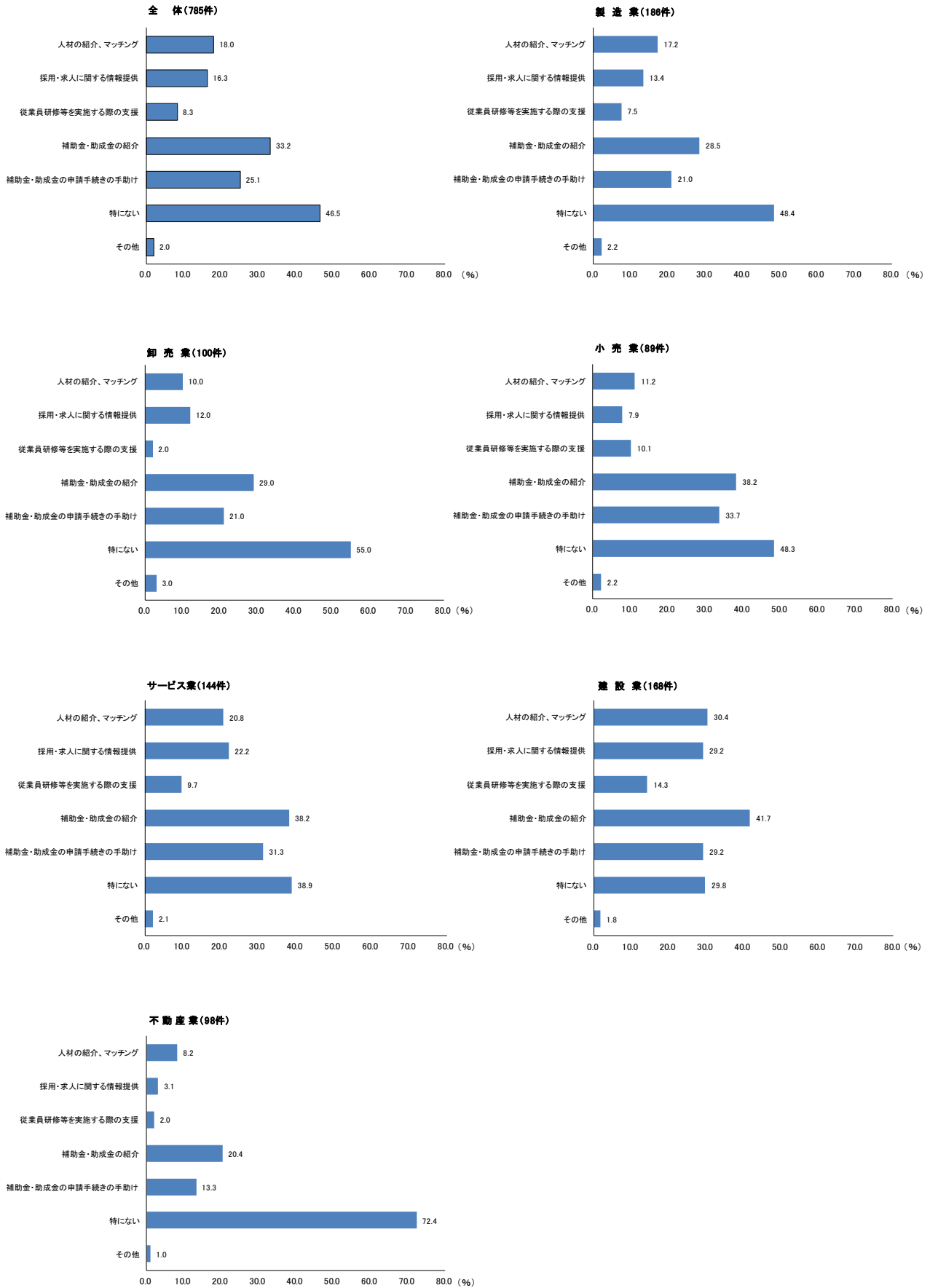
業種別にみると、全ての業種で「補助金・助成金の紹介」が最も高くなっている。



### 【その他の意見】

- 新人1年目、3年目、5年目などの異業種交流とか、悩みを打ち明けられるようなコミュニティがあると良いと思います。（サービス業）
- 地域にクライアントになりそうな企業があるのでマッチングして欲しい。（サービス業）
- シルバー人材活用。（不動産業）

【業種別】

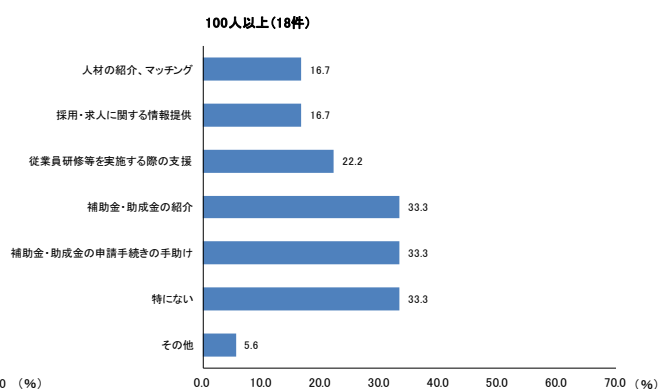
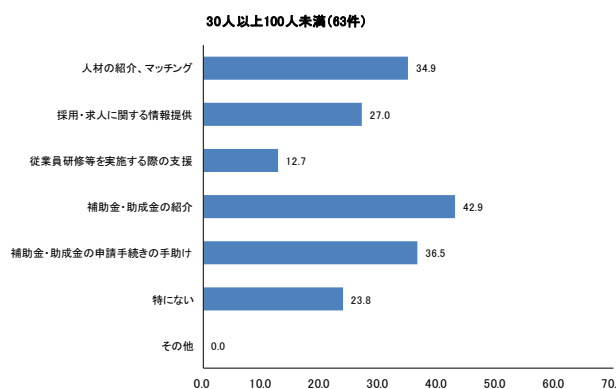
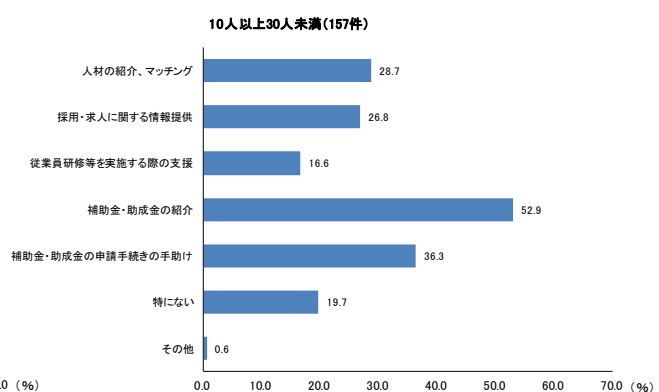
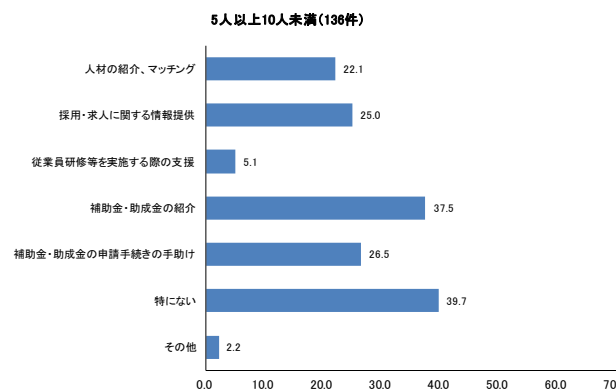
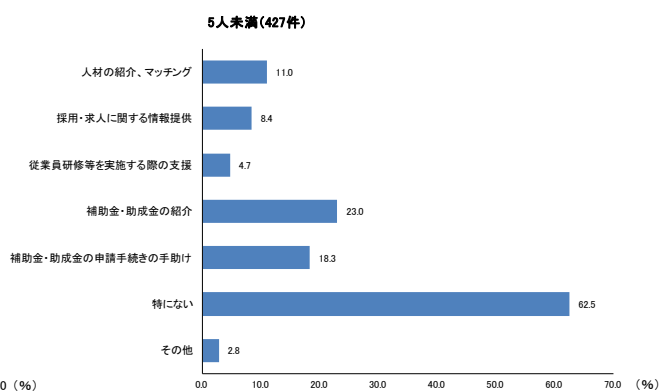
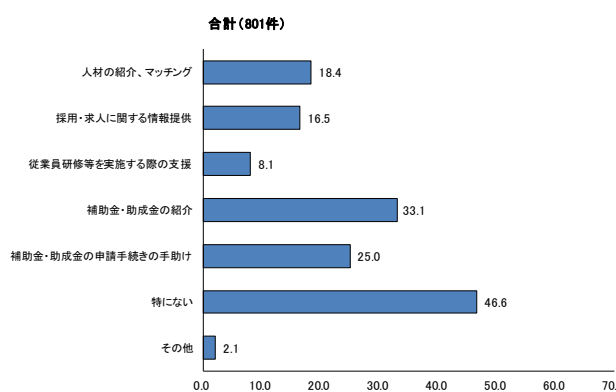


【従業員規模別】

人手不足対策に関して行政に期待する支援

(上段:件、下段:%)

		調査数	人材の紹介、 マッチング	採用・求人に関する 情報提供	従業員研修等を 実施する際の支 援	補助金・助成金 の紹介	補助金・助成金 の申請手続きの 手助け	特にない	その他
合計		801	147	132	65	265	200	373	17
		-	18.4	16.5	8.1	33.1	25.0	46.6	2.1
従業員数	5人未満	427	47	36	20	98	78	267	12
		-	11.0	8.4	4.7	23.0	18.3	62.5	2.8
	5人以上10人未満	136	30	34	7	51	36	54	3
		-	22.1	25.0	5.1	37.5	26.5	39.7	2.2
	10人以上30人未満	157	45	42	26	83	57	31	1
		-	28.7	26.8	16.6	52.9	36.3	19.7	0.6
30人以上100人未満	63	22	17	8	27	23	15	0	
	-	34.9	27.0	12.7	42.9	36.5	23.8	0.0	
100人以上	18	3	3	4	6	6	6	1	
	-	16.7	16.7	22.2	33.3	33.3	33.3	5.6	



# 中小企業景況調査 転記表

製造業  
地域名:葛飾区  
中分類:業種合計

## 中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和6年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期												対前期比	R6 7～9月期 (予測)						
	R4 4～6月期	R4 7～9月期	R4 10～12月期	R5 1～3月期	R5 4～6月期	R5 7～9月期	R5 10～12月期	R6 1～3月期	R6 4～6月期	R6 7～9月期	R6 10～12月期	R6 1～3月期								
業況	良い	9.3	13.5	5.2	14.6	8.6	16.4	9.3	13.7	5.6	13.7	9.8	10.3	5.8	14.3	3.8	8.3	8.2		4.9
	普通	36.4	38.1	34.5	48.3	39.5	40.4	43.6	42.9	52.0	42.9	46.6	44.2	48.4	34.8	50.0	40.8	41.8		46.8
	悪い	54.2	48.4	60.3	37.1	52.0	43.2	47.1	43.5	42.4	43.5	43.6	45.5	45.8	50.9	46.3	51.0	50.0		48.3
	D・I	-44.9	-34.9	-55.1	-22.5	-43.4	-26.8	-37.8	-29.8	-36.8	-29.8	-33.8	-35.2	-40.0	-36.6	-42.5	-42.7	-41.8	-6.1	-43.4
売上額	増加	20.5	16.1	4.3	26.1	11.7	16.6	9.7	21.6	12.4	15.5	16.8	21.2	8.8	16.0	9.8	16.7	9.9		8.8
	変わらず	30.8	41.3	43.5	38.9	43.5	37.0	47.4	37.1	40.7	41.6	44.9	39.4	51.6	34.4	48.5	35.8	43.8		50.2
	減少	48.7	42.6	52.2	35.0	44.8	46.4	42.9	41.3	46.9	42.9	38.3	39.4	39.6	49.7	41.7	47.5	46.3		41.0
	D・I	-28.2	-26.5	-47.9	-8.9	-33.1	-29.8	-33.2	-19.7	-34.5	-27.4	-21.5	-18.2	-30.8	-33.7	-31.9	-30.8	-36.4	2.9	-32.2
受注残	増加	9.7	12.1	7.1	20.7	12.2	14.0	11.6	14.0	7.3	11.4	11.6	13.0	8.4	15.0	8.8	9.5	8.8		7.9
	変わらず	42.5	44.3	45.5	46.6	47.6	45.5	52.9	45.1	45.8	47.5	45.1	42.2	52.3	43.1	50.9	41.5	50.9		49.5
	減少	47.8	43.6	47.3	32.8	40.1	40.4	35.5	40.9	46.9	41.1	43.3	44.7	39.4	41.9	40.3	49.0	40.3		42.6
	D・I	-38.1	-31.5	-40.2	-12.1	-27.9	-26.4	-23.9	-26.9	-39.6	-29.7	-31.7	-31.7	-31.0	-26.9	-31.5	-39.5	-31.5	-12.6	-34.7
収益	増加	13.9	11.3	4.4	18.9	11.3	11.1	8.1	13.4	8.9	13.2	9.2	18.5	10.3	15.6	8.2	13.4	8.2		10.8
	変わらず	31.3	40.4	42.1	36.6	44.0	36.1	44.2	40.9	40.8	40.9	44.8	37.7	39.7	36.9	41.8	35.8	48.4		40.2
	減少	54.8	48.3	53.5	44.6	44.7	52.8	47.7	45.7	50.3	45.9	46.0	43.8	50.0	47.5	50.0	50.7	43.4		49.0
	D・I	-40.9	-37.0	-49.1	-25.7	-33.4	-41.7	-39.6	-32.3	-41.4	-32.7	-36.8	-25.3	-39.7	-31.9	-41.8	-37.3	-35.2	-5.4	-38.2
販売価格	上昇	21.9	29.3	21.2	29.9	25.5	24.7	20.9	28.0	21.9	19.5	16.7	20.4	17.3	13.9	15.5	14.7	12.1		18.1
	変わらず	57.9	58.0	58.4	62.1	62.4	61.8	68.0	59.1	62.9	72.3	67.9	68.5	73.7	75.3	70.2	75.5	75.8		71.6
	下降	20.2	12.7	20.4	8.0	12.1	13.5	11.0	12.8	15.2	8.2	15.4	11.1	9.0	10.8	14.3	9.8	12.1		10.3
	D・I	1.7	16.6	0.8	21.9	13.4	11.2	9.9	15.2	6.7	11.3	1.3	9.3	8.3	3.1	1.2	4.9	0.0	1.8	7.8
原材料価格	上昇	80.4	87.6	76.7	80.0	79.3	78.4	69.5	65.0	69.1	58.0	51.3	53.4	58.7	44.1	50.0	63.7	41.8		60.3
	変わらず	11.2	8.3	14.6	15.3	18.6	17.0	25.7	31.9	26.9	38.2	45.6	44.7	36.8	53.4	48.1	32.4	55.7		35.8
	下降	8.4	4.1	8.7	4.7	2.1	4.5	4.8	3.1	4.0	3.8	3.1	1.9	4.5	2.5	1.9	3.9	2.5		3.9
	D・I	72.0	83.5	68.0	75.3	77.2	73.9	64.7	61.9	65.1	54.2	48.2	51.5	54.2	41.6	48.1	59.8	39.3	18.2	56.4
在庫	過剰	17.0	15.9	13.2	17.2	13.1	19.9	13.8	15.1	15.2	15.1	13.5	10.1	13.9	14.6	8.4	10.0	10.2		9.0
	適正	67.9	73.8	66.0	71.6	73.1	71.9	74.9	79.2	74.3	77.4	80.8	83.5	79.7	77.2	86.4	86.1	82.2		86.6
	不足	15.1	10.3	20.8	11.2	13.8	8.2	11.4	5.7	10.5	7.5	5.8	6.3	8.2	5.2	4.0	7.6			4.5
	D・I	1.9	5.6	-7.6	6.0	-0.7	11.7	2.4	9.4	4.7	7.6	7.7	3.8	7.6	6.4	3.2	6.0	2.6	-0.4	4.5
資金繰り	楽	3.6	7.3	2.7	3.4	5.3	4.9	3.4	6.0	5.0	7.5	6.7	7.9	5.6	7.4	6.2	7.3	5.6		6.3
	変わらず	58.6	57.0	54.5	68.4	52.3	63.7	62.1	69.6	58.7	69.6	63.4	64.2	68.3	71.2	63.4	65.4	67.3		62.4
	苦しい	37.8	35.8	42.7	28.2	42.4	31.3	34.5	24.4	36.3	23.0	29.9	27.9	26.1	21.5	30.4	27.3	27.2		31.2
	D・I	-34.2	-28.5	-40.0	-24.6	-37.1	-26.4	-31.1	-18.4	-31.3	-15.5	-23.2	-20.0	-20.5	-14.1	-24.2	-20.0	-21.6	-5.9	-24.9
同期比	売上額	-25.5	-6.5		1.3		-4.3		-18.4		-16.7		-19.6		-26.5		-23.4			
	収益	-36.6	-29.5		-25.3		-28.4		-25.9		-28.0		-28.8		-30.5		-34.8			
雇用	前年比残業時間	-27.5	-14.8	-28.0	-4.6	-14.9	-7.8	-11.0	-12.1	-14.3	-13.4	-16.3	-10.7	-14.0	-13.6	-14.6	-17.6	-11.8		-14.8
	人手	-10.2	-23.0	-11.2	-22.6	-25.0	-26.6	-26.7	-24.5	-25.4	-21.5	-23.5	-22.5	-22.2	-19.8	-24.6	-18.1	-23.0		-19.1
借入金	借入をした(%)	45.0	45.5	11.7	47.4	23.7	44.4	22.7	38.6	16.4	35.8	16.8	33.5	14.4	25.2	13.8	31.5	13.9		16.8
	借入をしな(%)	55.0	54.5	88.3	52.6	76.3	55.6	77.3	61.4	83.6	64.2	83.2	66.5	85.6	74.8	86.2	68.5	86.1		83.2
	借入難易度	-3.7	2.8		-1.2		2.9		9.1		1.3		4.4		5.8		5.6			
有効回答事業所数	118	155		180		183		168		162		165		164		206				



卸売業  
地域名: 葛飾区  
中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4		R4		R4		R5		R5		R5		R6		R6		対前期比	R6 7～9月期 (予測)		
		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期					
業況	良い	8.9		10.0	9.1	12.8	5.1	14.4	4.4	11.0	9.8	13.0	7.1	9.6	9.9	10.2	5.6	12.5	8.6		9.9
	普通	37.8		37.5	34.1	38.3	34.6	37.5	37.4	43.8	44.1	39.0	51.4	45.2	40.8	43.9	50.0	44.6	50.5		49.5
	悪い	53.3		52.5	56.8	48.9	60.3	48.1	58.2	45.2	46.1	48.1	41.4	45.2	49.3	45.9	44.4	42.9	40.9		40.5
	D・I	-44.4		-42.5	-47.7	-36.1	-55.2	-33.7	-53.8	-34.2	-36.3	-35.1	-34.3	-35.6	-39.4	-35.7	-38.8	-30.4	-32.3	5.3	-30.6
売上額	増加	20.0		20.0	17.8	24.2	7.6	20.2	7.6	15.1	10.7	24.7	11.3	20.5	12.2	13.4	11.1	20.7	8.5		16.8
	変わらず	35.6		30.0	31.1	30.5	38.0	30.8	41.3	41.1	43.7	37.7	47.9	38.4	48.6	36.1	43.1	44.1	51.1		48.7
	減少	44.4		50.0	51.1	45.3	54.4	49.0	51.1	43.8	46.9	37.7	40.8	41.1	39.2	50.5	45.8	35.1	40.4		34.5
	D・I	-24.4		-30.0	-33.3	-21.1	-46.8	-28.8	-43.5	-28.7	-34.9	-13.0	-29.5	-20.6	-27.0	-37.1	-34.7	-14.4	-31.9	22.7	-17.7
収益	増加	13.6		16.9	11.4	17.0	3.9	17.0	6.6	13.9	8.0	21.1	15.5	22.2	9.6	14.4	8.4	12.5	5.4		11.6
	変わらず	36.4		31.2	31.8	36.2	41.6	32.0	41.8	36.1	44.0	35.5	42.3	30.6	42.5	35.1	38.9	43.8	49.5		47.3
	減少	50.0		51.9	56.8	46.8	54.5	51.0	51.6	50.0	48.0	43.4	42.3	47.2	47.9	50.5	52.8	43.8	45.2		41.1
	D・I	-36.4		-35.0	-45.4	-29.8	-50.6	-34.0	-45.0	-36.1	-40.0	-22.3	-26.8	-25.0	-38.3	-36.1	-44.5	-31.3	-39.8	4.8	-29.5
販売価格	上昇	45.5		55.8	45.2	39.4	48.1	40.6	35.9	35.7	29.7	37.7	26.1	34.3	33.3	26.0	31.4	33.0	26.1		27.7
	変わらず	34.1		32.5	38.1	41.5	40.3	41.6	44.6	54.3	54.5	50.6	60.9	58.6	53.3	61.5	57.1	57.1	66.3		61.6
	下降	20.5		11.7	16.7	19.1	11.7	17.8	19.6	10.0	15.8	11.7	13.0	7.1	13.3	12.5	11.4	9.8	7.6		10.7
	D・I	25.0		44.1	28.5	20.3	36.4	22.8	16.3	25.7	13.9	26.0	13.1	27.2	20.0	13.5	20.0	23.2	18.5	9.7	17.0
仕入価格	上昇	73.8		80.0	67.4	76.9	76.0	60.0	67.0	60.3	55.0	67.6	56.1	56.5	58.9	60.8	47.8	69.2	61.3		63.0
	変わらず	21.4		16.0	23.3	17.6	17.3	26.0	27.3	35.3	36.0	24.3	37.9	37.7	30.1	35.1	46.4	25.2	35.5		30.6
	下降	4.8		4.0	9.3	5.5	6.7	14.0	5.7	4.4	9.0	8.1	6.1	5.8	11.0	4.1	5.8	5.6	3.2		6.5
	D・I	69.0		76.0	58.1	71.4	69.3	46.0	61.3	55.9	46.0	59.5	50.0	50.7	47.9	56.7	42.0	63.6	58.1	6.9	56.5
在庫	過剰	13.2		12.3	10.3	17.6	10.8	12.4	10.8	25.4	8.0	14.5	13.3	21.7	10.3	17.2	18.8	17.0	14.3		15.1
	適正	63.2		67.7	66.7	64.7	64.6	67.4	71.1	68.3	70.5	76.8	81.7	72.5	77.9	75.3	73.9	71.7	76.9		74.5
	不足	23.7		20.0	23.1	17.6	24.6	20.2	18.1	6.3	21.6	8.7	5.0	5.8	11.8	7.5	7.2	11.3	8.8		10.4
	D・I	-10.5		-7.7	-12.8	0.0	-13.8	-7.8	-7.3	19.1	-13.6	5.8	8.3	15.9	-1.5	9.7	11.6	5.7	5.5	-4.0	4.7
資金繰り	楽	6.7		3.9	4.4	4.3	2.6	2.9	3.3	9.7	2.0	8.0	8.5	6.9	6.8	9.4	5.6	6.3	6.4		6.3
	変わらず	57.8		70.1	57.8	70.2	64.9	72.5	64.8	69.4	73.3	64.0	70.4	69.4	62.2	62.5	69.4	72.3	61.7		70.5
	苦しい	35.6		26.0	37.8	25.5	32.5	24.5	31.9	20.8	24.8	28.0	21.1	23.6	31.1	28.1	25.0	21.4	31.9		23.2
	D・I	-28.9		-22.1	-33.4	-21.2	-29.9	-21.6	-28.6	-11.1	-22.8	-20.0	-12.6	-16.7	-24.3	-18.7	-19.4	-15.1	-25.5	3.6	-16.9
前年比	売上額	-14.2		-2.7		-7.6		-4.0		-19.8		-17.8		-25.4		-16.9		-13.1			
	収益	-28.5		-29.7		-29.4		-22.7		-38.6		-31.9		-32.9		-28.5		-30.1			
	販売価格	31.8		45.4		32.2		36.4		30.5		35.6		31.9		34.0		21.1			
雇用	前年比残業時間	-21.4		-19.1	-21.4	-10.7	-19.1	-7.1	-13.0	-8.6	-10.3	-13.5	-13.0	-8.3	-9.5	-17.6	-11.3	-14.1	-15.7		-15.0
	人手	-4.8		-16.2	2.4	-15.4	-14.8	-6.0	-11.2	-13.1	-7.1	-22.9	-13.0	-30.5	-22.9	-15.3	-29.6	-25.6	-10.5		-26.5
	借入金	32.6		44.7	17.1	39.6	13.0	40.6	22.2	32.4	8.4	37.3	14.7	38.9	8.7	31.6	10.0	27.0	17.5		14.4
借入金	借入をしな(%)	67.4		55.3	82.9	60.4	87.0	59.4	77.8	67.6	91.6	62.7	85.3	61.1	91.3	68.4	90.0	73.0	82.5		85.6
	借入難易度	2.5		4.1		5.3		-3.1		4.4		0.0		4.2		0.0		-0.9			
	有効回答事業所数	46		80		96		104		73		77		74		99		113			

卸売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

Table with columns: 調査期, R4 4~6月期, R4 7~9月期, R4 10~12月期, R5 1~3月期, R5 4~6月期, R5 7~9月期, R5 10~12月期, R6 1~3月期, R6 4~6月期, 対前期比, 7~9月期(予測). Rows include equipment investment, business issues, and business strategies.

小売業  
 地域名: 葛飾区  
 中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4 4～6月期	R4 7～9月期	R4 10～12月期	R5 1～3月期	R5 4～6月期	R5 7～9月期	R5 10～12月期	R6 1～3月期	R6 4～6月期	対前期 比	R6 7～9月期 (予測)								
業況	良い	3.9	8.3	1.3	8.2	7.3	10.0	6.2	12.7	4.6	10.5	7.6	5.5	5.3	7.3	4.7	4.8	5.3		5.0
	普通	35.1	26.0	30.7	36.7	30.2	36.4	30.9	41.8	40.7	36.8	46.8	37.4	38.2	30.2	31.4	42.3	41.5		41.6
	悪い	61.0	65.6	68.0	55.1	62.5	53.6	62.9	45.6	54.6	52.6	45.6	57.1	56.6	62.5	64.0	52.9	53.2		53.5
	D-I	-57.1	-57.3	-66.7	-46.9	-55.2	-43.6	-56.7	-32.9	-50.0	-42.1	-38.0	-51.6	-51.3	-55.2	-59.3	-48.1	-47.9	7.1	-48.5
売上額	増加	15.6	14.6	9.3	19.4	14.7	11.7	9.4	16.3	7.3	11.7	12.5	9.8	13.2	9.4	8.7	17.1	8.5		12.6
	変わらず	29.9	35.4	26.7	27.6	37.9	31.5	34.4	38.8	41.8	48.1	47.5	39.1	42.1	32.3	40.2	36.2	43.6		44.7
	減少	54.5	50.0	64.0	53.1	47.4	56.8	56.3	45.0	46.9	40.3	40.0	51.1	44.7	58.3	51.1	46.7	47.9		42.7
	D-I	-38.9	-35.4	-54.7	-33.7	-32.7	-45.1	-46.9	-28.7	-43.6	-28.6	-27.5	-41.3	-31.5	-48.9	-42.4	-29.6	-39.4	19.3	-30.1
収益	増加	13.5	10.9	8.2	16.7	13.3	7.5	7.3	16.5	7.7	12.2	10.1	6.5	9.5	9.7	7.6	11.7	8.7		8.9
	変わらず	28.4	26.1	28.8	27.1	32.2	28.3	31.3	30.4	33.7	32.4	41.8	33.7	36.5	25.8	30.4	34.0	34.8		40.6
	減少	58.1	63.0	63.0	56.3	54.4	64.2	61.5	53.2	58.7	55.4	48.1	59.8	54.1	64.5	62.0	54.4	56.5		50.5
	D-I	-44.6	-52.1	-54.8	-39.6	-41.1	-56.7	-54.2	-36.7	-51.0	-43.2	-38.0	-53.3	-44.6	-54.8	-54.4	-42.7	-47.8	12.1	-41.6
販売価格	上昇	25.7	29.7	37.0	48.5	36.3	37.4	43.8	43.0	40.6	38.4	41.0	41.8	38.4	33.0	33.0	39.8	35.5		40.2
	変わらず	56.8	48.4	42.5	33.0	48.4	49.5	36.5	43.0	42.5	41.1	44.9	33.0	41.1	46.8	37.4	42.7	50.5		43.1
	下降	17.6	22.0	20.5	18.6	15.4	13.1	19.8	13.9	17.0	20.5	14.1	25.3	20.5	20.2	29.7	17.5	14.0		16.7
	D-I	8.1	7.7	16.5	29.9	20.9	24.3	24.0	29.1	23.6	17.9	26.9	16.5	17.9	12.8	3.3	22.3	21.5	9.5	23.5
仕入価格	上昇	56.5	60.7	68.1	76.6	65.2	61.0	68.8	72.2	66.3	60.0	72.2	66.3	56.0	62.6	52.3	67.0	63.3		64.6
	変わらず	39.1	28.1	27.5	13.8	25.8	26.7	19.4	20.3	24.0	28.0	22.8	24.4	29.3	27.5	37.2	27.8	30.0		30.2
	下降	4.3	11.2	4.3	9.6	9.0	12.4	11.8	7.6	9.6	12.0	5.1	9.3	14.7	9.9	10.5	5.2	6.7		5.2
	D-I	52.2	49.5	63.8	67.0	56.2	48.6	57.0	64.6	56.7	48.0	67.1	57.0	41.3	52.7	41.8	61.8	56.6	9.1	59.4
在庫	過剰	9.5	13.9	11.1	19.0	11.4	13.0	13.3	14.5	9.8	9.7	8.8	7.4	3.2	11.2	6.2	6.2	9.2		3.1
	適正	76.2	65.8	73.0	65.5	65.8	72.8	71.1	73.9	72.8	72.6	77.9	72.8	74.2	74.2	71.6	77.3	75.9		80.4
	不足	14.3	20.3	15.9	15.5	22.8	14.1	15.7	11.6	17.4	17.7	13.2	19.8	22.6	14.6	22.2	16.5	14.9		16.5
	D-I	-4.8	-6.4	-4.8	3.5	-11.4	-1.1	-2.4	2.9	-7.6	-8.0	-4.4	-12.4	-19.4	-3.4	-16.0	-10.3	-5.7	-6.9	-13.4
資金繰り	楽	2.7	2.2	2.7	1.0	2.2	3.7	2.1	5.0	2.8	8.0	3.8	2.2	6.7	4.3	2.2	6.9	2.2		6.0
	変わらず	52.0	47.8	48.0	47.9	48.9	56.1	48.4	62.5	59.8	54.7	65.4	48.4	53.3	47.9	50.0	50.5	51.6		48.0
	苦しい	45.3	50.0	49.3	51.0	48.9	40.2	49.5	32.5	37.4	37.3	30.8	49.5	40.0	47.9	47.8	42.6	46.2		46.0
	D-I	-42.6	-47.8	-46.6	-50.0	-46.7	-36.5	-47.4	-27.5	-34.6	-29.3	-27.0	-47.3	-33.3	-43.6	-45.6	-35.7	-44.0	7.9	-40.0
前年 同期比	売上額	-33.8	-30.1		-32.6		-34.0		-5.1		-17.5		-30.8		-36.5		-17.7			
	収益	-40.8	-52.7		-51.5		-60.6		-29.9		-43.9		-53.8		-54.3		-40.6			
	販売価格	5.7	22.2		32.7		22.5		38.2		23.0		35.5		16.5		34.0			
雇用	前年比残業時間	-6.9	-18.9	-9.6	-10.7	-16.7	-14.7	-10.8	-9.1	-19.4	-9.5	-11.7	-7.7	-8.3	-15.9	-8.8	-11.0	-16.1		-11.1
	人手	-26.0	-20.9	-25.6	-21.7	-23.4	-25.0	-20.9	-25.0	-20.2	-26.7	-27.6	-33.3	-25.6	-27.9	-35.6	-21.0	-32.6		-19.2
借入金	借入をした(%)	24.7	35.5	16.9	34.0	13.3	28.3	14.3	25.3	13.5	26.3	10.7	27.8	13.0	21.3	11.4	29.0	7.9		9.3
	借入をしない(%)	75.3	64.5	83.1	66.0	86.7	71.7	85.7	74.7	86.5	73.7	89.3	72.2	87.0	78.7	88.6	71.0	92.1		90.7
	借入難易度	-8.5	-10.1		-5.4		-7.6		-1.4		-11.6		-5.5		-5.6		-7.0			
有効回答事業所数		77	97	99	111	81	77	92	96	105										





サービス業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期										対前期比	R6 7～9月期 (予測)								
	R4 4～6月期	R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期			R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期			
業況	良い	2.7	7.0	4.3	10.3	11.9	6.9	4.9	7.1	6.3	8.7	8.3	6.1	9.0	9.4	8.2	8.4	9.8		6.5
	普通	41.1	42.1	51.4	45.2	44.0	51.0	52.1	60.2	65.0	68.9	60.2	67.5	67.0	53.2	58.2	59.7	55.6		66.7
	悪い	56.2	50.9	44.3	44.5	44.0	42.1	43.0	32.7	28.7	22.3	31.5	26.3	24.0	37.4	33.6	31.8	34.6		26.8
	D・I	-53.5	-43.9	-40.0	-34.2	-32.1	-35.2	-38.1	-25.6	-22.4	-13.6	-23.2	-20.2	-15.0	-28.0	-25.4	-23.4	-24.8	4.6	-20.3
売上額	増加	15.1	17.2	14.3	25.3	19.3	12.3	9.7	13.3	18.3	29.1	15.5	27.0	17.8	17.1	14.0	15.6	17.0		14.4
	変わらず	41.1	40.5	47.1	41.8	49.1	48.6	50.7	56.6	51.4	47.6	65.5	54.8	60.4	45.7	57.0	48.1	54.1		56.9
	減少	43.8	42.2	38.6	32.9	31.6	39.0	39.6	30.1	46.9	23.3	19.1	18.3	21.8	37.1	28.9	36.4	28.9		28.8
	D・I	-28.7	-25.0	-24.3	-7.6	-12.3	-26.7	-29.9	-16.8	-12.0	5.8	-3.6	8.7	-4.0	-20.0	-14.9	-20.8	-11.9	-0.8	-14.4
収益	増加	11.0	13.3	8.6	17.2	15.0	8.3	7.7	13.3	16.1	20.6	14.5	20.0	13.0	12.9	7.0	14.6	14.1		14.8
	変わらず	35.6	31.0	47.1	40.0	42.5	41.4	45.1	42.5	44.8	48.0	50.0	53.0	56.0	41.4	57.0	39.7	43.0		51.0
	減少	53.4	55.8	44.3	42.8	42.5	50.3	47.2	44.2	39.2	31.4	35.5	27.0	31.0	45.7	36.0	45.7	43.0		34.2
	D・I	-42.4	-42.5	-35.7	-25.6	-27.5	-42.0	-39.5	-30.9	-23.1	-10.8	-21.0	-7.0	-18.0	-32.8	-29.0	-31.1	-28.9	1.7	-19.4
料金価格	上昇	19.2	16.7	8.5	21.7	21.9	13.2	12.8	13.3	19.0	17.8	14.5	17.9	13.1	17.9	14.4	19.3	17.0		18.2
	変わらず	63.0	69.3	74.6	69.2	64.9	75.7	73.8	76.1	67.6	73.3	76.4	78.6	79.8	75.0	81.1	70.7	70.4		71.6
	下降	17.8	14.0	16.9	9.1	13.2	11.1	13.5	10.6	13.4	8.9	9.1	3.6	7.1	7.1	4.5	10.0	12.6		10.1
	D・I	1.4	2.7	-8.4	12.6	8.7	2.1	-0.7	2.7	5.6	8.9	5.4	14.3	6.0	10.8	9.9	9.3	4.4	-1.5	8.1
材料価格	上昇	48.4	57.9	41.0	61.1	53.8	65.6	54.3	49.0	60.2	54.9	46.9	47.4	45.1	58.6	45.9	57.3	54.8		52.3
	変わらず	41.9	34.7	50.8	29.8	38.7	27.5	35.7	46.0	30.5	38.5	49.0	49.5	50.5	35.2	52.0	35.9	39.5		42.3
	下降	9.7	7.4	8.2	9.2	7.5	6.9	10.1	5.0	9.4	6.6	4.1	3.1	4.4	6.3	2.0	6.9	5.6		5.4
	D・I	38.7	50.5	32.8	51.9	46.3	58.7	44.2	44.0	50.8	48.3	42.8	44.3	40.7	52.3	43.9	50.4	49.2	-1.9	46.9
資金繰り	楽	4.2	3.5	1.4	4.1	5.4	3.5	2.8	1.8	3.6	5.9	1.9	3.6	5.9	1.4	2.8	5.3	2.2		5.3
	変わらず	63.4	67.3	65.2	62.1	63.4	60.8	58.7	67.3	60.0	69.6	66.7	75.7	68.3	69.1	69.7	65.1	65.9		68.0
	苦しい	32.4	29.2	33.3	33.8	31.3	35.7	38.5	30.9	36.4	24.5	31.5	20.7	25.7	29.5	27.5	29.6	31.9		26.7
	D・I	-28.2	-25.7	-31.9	-29.7	-25.9	-32.2	-35.7	-29.1	-32.8	-18.6	-29.6	-17.1	-19.8	-28.1	-24.7	-24.3	-29.7	3.8	-21.4
前年同期比	売上額	-10.4	-15.1		-4.0		-0.8		0.0		15.2		8.9		-4.2		-11.6			
	収益	-37.8	-35.9		-31.7		-30.6		-32.4		-13.0		-8.9		-26.5		-24.0			
雇用	前年比残業時間	-19.4	-7.9	-10.0	-2.1	1.7	-8.9	-2.8	-3.6	-4.2	-6.8	0.0	-5.3	-5.9	-12.9	-8.1	1.3	-9.7		-2.6
	人手	-18.0	-33.9	-25.4	-39.2	-37.7	-40.4	-40.7	-39.5	-40.7	-44.2	-39.3	-37.5	-45.5	-39.5	-38.7	-43.8	-42.9		-44.1
借入金	借入をした(%)	31.5	31.3	18.3	38.9	14.4	31.2	10.7	26.1	12.5	28.7	14.3	23.9	8.3	24.3	13.6	28.5	9.6		13.5
	借入をしな(%)	68.5	68.7	81.7	61.1	85.6	68.8	89.3	73.9	87.5	71.3	85.7	76.1	91.7	75.7	86.4	71.5	90.4		86.5
	借入難易度	-14.3	-10.4		-17.1		-10.7		-12.0		-15.1		-12.7		-10.9		-10.0			
有効回答事業所数		73	117	147		147		113		103		115		140		155				

サービス業  
 地域名：葛飾区  
 中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	R4 4～6月期	R4 7～9月期	R4 10～12月期	R5 1～3月期	R5 4～6月期	R5 7～9月期	R5 10～12月期	R6 1～3月期	R6 4～6月期	対前期 比	7～9月 期 (予測)									
設備	現在の設備	-5.9	-7.3	-12.5	-12.3	-11.0	-12.8	-15.3	-12.0	-18.6	-8.1	-13.9	-15.9	-8.1	-15.2	-15.1	-14.7	-16.3		-16.7	
投資	実施した	37.8	43.3	41.0	47.8	36.8	41.7	43.7	36.5	51.2	41.7	39.4	32.4	36.8	33.3	36.2	41.3	40.2		35.3	
動向	事業用地・建物	0.0	11.9	5.1	7.8	7.4	3.6	8.0	1.6	6.0	2.8	4.5	4.4	4.4	1.0	4.3	5.0	2.1		4.2	
内容	機械・設備の新・増設	10.8	7.5	12.8	7.8	7.4	8.3	12.6	9.5	7.1	8.3	7.6	10.3	5.9	4.2	8.7	5.0	6.2		5.9	
(%)	機械・設備の更改	5.4	9.0	10.3	12.2	11.8	9.5	10.3	4.8	6.0	8.3	12.1	8.8	8.8	9.4	11.6	8.3	8.2		9.2	
	事務機器	18.9	16.4	12.8	16.7	14.7	19.0	14.9	15.9	20.2	18.1	13.6	11.8	14.7	14.6	7.2	15.7	16.5		10.1	
	車両	16.2	17.9	20.5	26.7	16.2	20.2	26.4	19.0	25.0	19.4	21.2	14.7	17.6	19.8	14.5	19.8	21.6		21.8	
	その他	0.0	1.5	2.6	0.0	1.5	1.2	0.0	1.6	6.0	4.2	3.0	1.5	1.5	0.0	4.3	0.8	1.0		0.0	
	実施しない	62.2	56.7	59.0	52.2	63.2	58.3	56.3	63.5	48.8	58.3	60.6	67.6	63.2	66.7	63.8	58.7	59.8		64.7	
経営上の問題点	売上の停滞・減少	55.7	54.1		54.3		40.7		44.8		42.7		37.5		36.6		43.2				
	人手不足	22.9	35.1		37.9		39.3		38.1		41.7		34.6		40.3		43.2				
	大手企業・大型店との競争の激化	2.9	3.6		0.7		1.4		1.0		1.0		2.9		3.0		3.4				
	同業者間の競争の激化	15.7	12.6		11.4		10.0		14.3		7.3		8.7		12.7		9.5				
	流通経路の変化による競争の激化	0.0	1.8		0.7		0.7		1.0		0.0		1.0		0.0		0.7				
	合理化の不足	2.9	2.7		2.9		0.7		1.0		3.1		5.8		4.5		2.7				
	利幅の縮小	31.4	16.2		23.6		28.6		18.1		19.8		26.0		24.6		18.9				
	小口注文・多頻度配送の増加	0.0	0.0		0.7		2.1		1.0		2.1		2.9		0.7		0.0				
	販売商品の不足	0.0	0.9		2.1		0.7		0.0		1.0		1.0		2.2		1.4				
	原材料価格・材料価格の上昇	20.0	27.0		31.4		34.3		27.6		32.3		26.9		20.9		31.8				
	販売納入先からの値下げ要請	0.0	1.8		2.1		0.0		1.0		0.0		1.0		0.0		0.7				
	仕入先からの値上げ要請	5.7	6.3		9.3		9.3		7.6		10.4		6.7		9.7		6.8				
	人件費の増加	21.4	29.7		21.4		30.7		30.5		37.5		26.0		32.8		25.7				
	人件費以外の経費増加	15.7	20.7		18.6		26.4		15.2		19.8		22.1		21.6		16.9				
	工場・店舗の狭小・老朽化	2.9	3.6		2.1		2.9		1.9		1.0		3.8		0.7		4.1				
	生産能力・技術力の不足	8.6	3.6		1.4		4.3		1.9		5.2		5.8		4.5		6.1				
	取引先の減少	7.1	17.1		9.3		9.3		9.5		10.4		11.5		11.9		4.7				
		商店街の集客力の低下	2.9	0.0		0.7		1.4		1.0		0.0		1.9		1.5		1.4			
		下請の確保	1.4	2.7		3.6		1.4		3.8		1.0		3.8		2.2		5.4			
		駐車場・資材置場の確保	0.0	1.8		2.9		0.7		2.9		3.1		1.9		3.0		2.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0	0.9		0.7		0.0		1.0		1.0		1.0		0.0		1.4				
	その他	1.4	5.4		2.1		3.6		1.0		2.1		1.0		3.0		0.7				
	問題なし	8.6	3.6		4.3		5.7		9.5		6.3		8.7		6.7		6.1				
経営施策	販路を広げる	28.4	28.8		27.9		23.5		28.6		29.3		32.1		28.9		25.7				
	経費を削減する	38.8	43.2		50.0		48.5		38.1		44.4		46.2		40.0		41.2				
	品揃えを充実させる	1.5	0.9		0.7		3.7		1.9		2.0		2.8		3.7		3.4				
	情報力・宣伝・広報を強化する	17.9	19.8		20.6		14.0		17.1		17.2		15.1		13.3		14.2				
	新製品・技術を開発する	6.0	3.6		3.7		5.1		2.9		6.1		4.7		6.7		2.7				
	新しい工法を導入する	0.0	0.0		0.7		1.5		1.9		2.0		1.9		0.7		3.4				
	新しい事業を始める	11.9	18.0		17.6		13.2		11.4		9.1		14.2		8.9		8.8				
	不採算部門を整理・縮小する	4.5	5.4		2.9		2.2		2.9		5.1		3.8		2.2		3.4				
	店舗・設備を改装する	7.5	1.8		2.2		2.9		1.9		1.0		5.7		3.7		5.4				
	仕入先・提携先を開拓・選別する	4.5	9.0		8.1		10.3		11.4		10.1		10.4		7.4		8.8				
	営業時間を延長する	0.0	1.8		0.7		1.5		1.0		3.0		1.9		1.5		3.4				
	売れ筋商品を取扱う	1.5	1.8		2.2		2.2		1.0		1.0		3.8		5.9		4.7				
	商店街事業を活性化させる	1.5	0.9		1.9		0.7		1.9		2.0		1.9		2.2		2.0				
	機械化を推進する	1.5	1.8		2.9		2.9		2.9		1.0		2.8		3.7		3.4				
	技術力を強化する	16.4	17.1		12.5		15.4		16.2		8.1		16.0		16.3		10.8				
	人材を確保する	35.8	40.5		36.8		39.7		40.0		41.4		36.8		40.7		38.5				
	パート化を図る	3.0	0.9		2.9		0.7		1.0		3.0		0.9		0.0		2.7				
	教育訓練を強化する	14.9	7.2		5.9		9.6		8.6		10.1		11.3		11.1		10.8				
	労働条件を改善する	4.5	5.4		8.8		13.2		8.6		10.1		6.6		9.6		12.8				
	工場・機械を増設・移転する	0.0	1.8		1.5		1.5		0.0		1.0		0.0		0.7		0.0				
流通経路の見直しをする	0.0	1.8		0.0		1.5		0.0		0.0		0.0		0.7		0.7					
取引先を支援する	0.0	4.5		0.7		1.5		1.0		0.0		0.9		0.0		1.4					
輸入品の取扱いを増やす	0.0	0.9		0.0		0.7		0.0		1.0		0.0		0.0		0.0					
不動産の有効活用を図る	3.0	0.0		0.7		0.7		1.0		3.0		0.9		1.5		0.0					
その他	3.0	3.6		0.7		2.2		1.0		2.0		0.9		2.2		2.0					
特になし	9.0	8.1		11.0		7.4		13.3		8.1		8.5		9.6		10.1					
有効回答事業所数	73	117	147	147	147	113	103	115	140	155											

建設業  
地域名: 葛飾区  
中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4		R4		R4		R5		R5		R5		R6		R6		対前期比	R6 7～9月期 (予測)
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期				
業況	良い	5.7	11.4	3.8	10.8	4.6	11.7	9.0	7.3	6.2	9.1	10.3	12.8	10.0	12.1	7.7	10.6	8.3	8.4
	普通	41.9	47.7	59.6	54.5	53.1	49.1	49.4	56.3	52.5	54.5	55.9	58.8	54.0	53.0	58.7	53.6	62.1	58.4
	悪い	52.4	40.9	36.5	34.7	42.3	39.3	41.7	36.4	41.4	36.4	33.8	28.4	36.0	34.9	33.6	35.8	29.7	33.1
	D-I	-46.7	-29.5	-32.7	-23.9	-37.7	-27.6	-32.7	-29.1	-35.2	-27.3	-23.5	-15.6	-26.0	-22.8	-25.9	-25.2	-21.4	-2.4
売上額	増加	8.6	18.2	12.5	18.9	9.2	18.4	11.6	16.4	8.0	17.2	13.3	17.7	16.9	17.3	10.9	16.3	18.5	15.0
	変わらず	36.2	39.4	50.0	42.0	50.8	36.8	49.4	39.5	50.3	41.7	55.3	50.3	52.0	45.3	51.7	43.3	49.3	52.2
	減少	55.2	42.4	37.5	39.1	40.0	44.8	39.0	44.1	46.9	41.1	31.3	32.0	31.1	37.3	37.4	40.4	32.2	32.8
	D-I	-46.6	-24.2	-25.0	-20.2	-30.8	-26.4	-27.4	-27.7	-33.7	-23.9	-18.0	-14.3	-14.2	-20.0	-26.5	-24.1	-13.7	-4.1
受注残	増加	9.5	13.0	13.3	11.9	10.0	12.2	9.1	9.3	9.1	16.0	13.9	18.8	16.2	12.2	16.1	12.4	13.8	16.1
	変わらず	49.5	50.4	58.1	53.0	48.5	44.5	51.8	52.3	50.0	52.0	56.3	47.9	54.1	53.4	48.3	47.2	57.2	51.7
	減少	41.0	36.6	28.6	35.1	41.5	43.3	39.0	38.4	40.9	32.0	29.8	33.3	29.7	34.5	35.7	40.4	29.0	32.2
	D-I	-31.5	-23.6	-15.3	-23.2	-31.5	-31.1	-29.9	-29.1	-31.8	-16.0	-15.9	-14.5	-13.5	-22.3	-19.6	-28.0	-15.2	-5.7
施工高	増加	10.5	18.2	14.3	17.3	10.0	17.3	11.4	13.9	9.2	19.0	14.8	18.5	20.5	13.4	15.9	16.2	15.0	17.9
	変わらず	40.0	43.2	49.5	47.0	45.4	40.7	50.9	43.7	49.7	42.5	57.0	47.9	49.7	52.3	47.6	42.5	54.4	50.3
	減少	49.5	38.6	36.2	35.7	44.6	42.0	37.7	42.4	41.1	38.6	28.2	33.6	29.8	34.2	36.6	41.3	30.6	31.8
	D-I	-39.0	-20.4	-21.9	-18.4	-34.6	-24.7	-26.3	-28.5	-31.9	-19.6	-13.4	-15.1	-9.3	-20.8	-20.7	-25.1	-15.6	-4.3
収益	増加	6.7	18.0	10.5	16.0	9.1	17.1	9.5	13.2	9.1	14.9	14.0	18.2	16.4	10.0	12.9	14.0	11.5	15.6
	変わらず	35.2	36.1	48.6	35.5	44.7	32.3	44.0	38.2	42.7	38.3	50.0	43.9	48.0	50.0	44.9	42.1	50.7	45.8
	減少	58.1	45.9	41.0	48.5	46.2	50.6	46.4	48.7	48.2	46.8	36.0	37.8	35.5	40.0	42.2	43.8	37.8	38.5
	D-I	-51.4	-27.9	-30.5	-32.5	-37.1	-33.5	-36.9	-35.5	-39.1	-31.9	-22.0	-19.6	-19.1	-30.0	-29.3	-29.8	-26.3	0.2
請負価格	上昇	15.4	22.6	19.2	19.9	20.3	16.7	21.8	15.8	16.0	23.7	17.4	17.0	21.3	17.2	15.8	18.8	18.8	21.2
	変わらず	56.7	56.4	60.6	60.2	57.9	64.2	53.9	67.1	62.3	55.9	69.1	66.7	60.0	67.5	65.1	63.6	64.4	65.4
	下降	27.9	21.1	20.2	19.9	21.8	19.1	24.2	17.1	21.6	20.4	13.4	16.3	18.7	15.2	19.2	17.6	16.8	13.4
	D-I	-12.5	1.5	-1.0	0.0	-1.5	-2.4	-2.4	-1.3	-5.6	3.3	4.0	0.7	2.6	2.0	-3.4	1.2	2.0	-0.8
材料価格	上昇	76.0	78.0	76.0	73.8	78.9	80.3	69.4	69.4	75.7	71.4	60.4	67.9	61.4	65.3	57.4	61.5	61.6	60.9
	変わらず	20.0	16.3	22.0	20.6	17.1	16.4	24.4	27.2	19.1	23.1	36.8	28.5	34.5	30.6	36.8	35.1	34.9	36.8
	下降	4.0	5.7	2.0	5.6	4.1	3.3	6.3	3.4	5.3	5.4	2.8	3.6	4.1	4.1	5.9	3.4	3.4	2.3
	D-I	72.0	72.3	74.0	68.2	74.8	77.0	63.1	66.0	70.4	66.0	57.6	64.3	57.3	61.2	51.5	58.1	58.2	-3.1
在庫	過剰	3.2	0.9	1.1	5.1	0.9	2.8	3.2	7.0	1.4	9.8	5.7	6.7	8.5	6.5	6.0	5.9	6.5	5.9
	適正	69.9	74.3	66.7	71.2	67.3	84.6	72.1	82.4	84.6	81.8	82.3	82.2	83.0	82.0	83.6	88.8	79.7	87.1
	不足	26.9	24.8	32.3	23.7	31.9	12.6	24.7	10.6	14.0	8.4	12.1	11.1	8.5	11.5	10.4	5.3	13.8	7.1
	D-I	-23.7	-23.9	-31.2	-18.6	-31.0	-9.8	-21.5	-3.6	-12.6	1.4	-6.4	-4.4	0.0	-5.0	-4.4	0.6	-7.3	5.6
資金繰り	楽	4.9	7.0	6.9	4.9	5.5	5.7	5.6	10.7	4.5	7.9	7.4	9.0	5.4	5.3	6.9	6.9	6.6	6.9
	変わらず	61.2	62.5	56.9	65.9	59.4	65.6	56.8	61.3	65.4	59.6	63.8	58.6	63.8	65.8	57.6	64.9	62.9	62.1
	苦しい	34.0	30.5	36.3	29.3	35.2	28.7	37.7	28.0	30.1	32.5	28.9	32.4	30.9	28.9	35.4	28.2	30.5	31.0
	D-I	-29.1	-23.5	-29.4	-24.4	-29.7	-23.0	-32.1	-17.3	-25.6	-24.6	-21.5	-23.4	-25.5	-23.6	-28.5	-21.3	-23.9	2.3
前年 同期比	売上額	-32.5	-25.0		-32.9		-24.1		-22.2		-21.9		-16.6		-20.4		-10.8		
	収益	-45.0	-42.6		-42.8		-32.3		-35.2		-35.9		-31.5		-27.5		-25.9		
雇用	前年比残業時間	-20.8	-20.9	-12.0	-12.2	-19.3	-18.1	-11.1	-16.8	-22.6	-10.6	-12.9	-20.1	-8.7	-13.8	-18.7	-28.5	-15.9	-18.4
	人手	-37.0	-38.7	-47.4	-57.4	-41.4	-51.0	-57.1	-52.6	-46.5	-56.3	-54.4	-59.0	-60.9	-60.0	-57.6	-48.6	-61.1	-52.5
借入金	借入をした(%)	61.9	44.9	18.9	52.5	18.7	41.0	20.5	44.1	18.2	43.7	19.4	38.6	22.8	42.4	20.1	38.1	21.3	20.5
	借入をしない(%)	38.1	55.1	81.1	47.5	81.3	59.0	79.5	55.9	81.8	56.3	80.6	61.4	77.2	57.6	79.9	61.9	78.7	79.5
	借入難易度	7.2	2.4		2.5		1.3		1.4		-3.4		-3.5		-9.5		-4.6		
有効回答事業所数	105	133		169		164		152		155		148		153		180			

建設業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4 4～6月期	R4 7～9月期	R4 10～12月期	R5 1～3月期	R5 4～6月期	R5 7～9月期	R5 10～12月期	R6 1～3月期	R6 4～6月期	対前期 比	7～9月 期 (予測)								
現在の設備		-1.0	-3.4	-1.1	-10.4	-5.0	-9.6	-11.7	-9.2	-9.1	-7.5	-9.2	-9.4	-8.2	-11.5	-10.8	-13.8	-11.0		-15.0
実施した		50.0	31.6	44.3	47.9	29.3	41.1	38.8	47.9	47.2	48.0	43.7	44.8	45.1	45.5	37.5	48.7	46.5		42.5
投資																				
事業用地・建物		3.2	3.8	8.2	10.1	7.3	12.1	7.8	7.3	11.1	12.0	9.4	7.6	8.8	6.9	5.8	8.7	8.1		7.2
機械・設備の新・増設		11.3	6.3	9.8	11.8	4.9	10.3	9.5	9.4	12.0	10.0	6.3	11.4	9.8	11.9	8.7	12.0	15.2		8.5
機械・設備の更改		17.7	3.8	13.1	5.9	6.1	9.3	7.8	15.6	12.0	8.0	12.5	8.6	10.8	16.8	6.7	14.0	15.2		13.1
事務機器		25.8	11.4	11.5	21.8	6.1	15.0	13.8	17.7	14.8	25.0	13.5	16.2	15.7	18.8	12.5	16.7	15.2		13.1
その他		29.0	19.0	18.0	28.6	18.3	22.4	23.3	26.0	25.9	24.0	24.0	28.6	27.5	25.7	26.0	24.0	30.3		22.2
その他		3.2	0.0	4.9	0.8	1.2	1.9	0.9	2.1	1.9	2.0	1.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.7	0.0		0.0
実施しない		50.0	68.4	55.7	52.1	70.7	58.9	61.2	52.1	52.8	52.0	56.3	55.2	54.9	54.5	62.5	51.3	53.5		57.5
売上の停滞・減少		39.4	43.4		39.2		42.9		42.1		39.9		29.3		33.6		42.9			
人手不足		46.8	43.4		44.6		42.2		55.0		53.4		57.9		56.6		47.6			
大手企業・大型店との競争の激化		2.1	1.6		0.7		0.6		1.4		0.7		0.7		1.4		1.2			
同業者間の競争の激化		11.7	13.1		10.8		13.6		12.9		10.1		13.6		12.6		10.6			
流通経路の変化による競争の激化		0.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.7		0.0		0.7		0.0			
合理化の不足		2.1	1.6		2.0		1.3		0.7		0.0		2.9		1.4		2.4			
利幅の縮小		25.5	27.9		30.4		24.0		23.6		26.4		21.4		23.8		18.8			
小口注文・多頻度配送の増加		0.0	0.0		0.0		1.3		1.4		0.7		0.0		0.7		1.2			
販売商品の不足		5.3	2.5		2.7		1.9		0.7		1.4		0.7		0.7		0.0			
原材料価格・材料価格の上昇		46.8	51.6		52.0		48.7		40.0		43.9		39.3		35.0		45.3			
販売納入先からの値下げ要請		1.1	0.0		2.0		1.3		1.4		0.7		0.0		1.4		0.6			
仕入先からの値上げ要請		22.3	15.6		16.2		13.0		6.4		8.8		4.3		6.3		6.5			
人件費の増加		18.1	13.9		17.6		21.4		21.4		23.6		23.6		28.7		27.6			
人件費以外の経費増加		10.6	13.9		6.1		10.4		11.4		12.8		15.0		9.8		10.6			
工場・店舗の狭小・老朽化		0.0	0.0		0.7		0.0		0.0		2.0		0.0		2.8		1.2			
生産能力・技術力の不足		3.2	4.9		4.1		7.8		4.3		8.1		8.6		2.1		9.4			
取引先の減少		10.6	8.2		10.1		10.4		7.1		8.1		5.7		8.4		8.8			
商店街の集客力の低下		0.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
下請の確保難		12.8	9.8		16.2		16.9		17.1		16.2		20.0		21.7		14.7			
駐車場・資材置場の確保難		1.1	3.3		3.4		2.6		3.6		3.4		6.4		4.2		5.3			
大手企業・工場の縮小・撤退		2.1	0.8		0.0		0.0		0.7		0.7		0.0		0.0		0.0			
その他		1.1	0.0		2.0		1.9		1.4		4.1		1.4		3.5		2.9			
問題なし		1.1	0.8		2.7		2.6		2.1		2.0		2.9		4.2		2.9			
販路を広げる		19.8	27.9		19.7		23.5		29.5		23.8		18.7		25.2		24.4			
経費を削減する		40.6	41.8		42.1		49.0		41.7		39.7		43.9		39.9		39.3			
品揃えを充実させる		0.0	0.0		1.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2			
情報力・宣伝・広報を強化する		5.2	9.8		4.6		4.0		5.8		6.6		6.5		8.4		6.0			
新製品・技術を開発する		0.0	0.8		0.7		1.3		2.2		0.7		0.7		2.1		0.0			
新しい工法を導入する		5.2	3.3		3.3		2.7		5.8		2.6		4.3		2.1		2.4			
新しい事業を始める		7.3	6.6		6.6		8.1		5.8		6.6		6.5		7.0		10.7			
不採算部門を整理・縮小する		2.1	3.3		2.6		2.0		2.2		3.3		3.6		2.1		3.6			
店舗・設備を改装する		0.0	0.0		0.7		0.0		0.0		0.7		0.0		0.0		0.0			
仕入先: 提携先を開拓・選別する		10.4	18.0		18.4		14.8		17.3		15.9		9.4		11.9		19.0			
営業時間を延長する		0.0	1.6		0.0		0.7		0.0		0.0		0.7		0.7		0.0			
売れ筋商品を取扱う		1.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
商店街事業を活性化させる		0.0	0.0		0.0		0.0		0.7		0.7		0.0		0.0		0.0			
機械化を推進する		1.0	0.8		1.3		0.7		0.0		0.7		1.4		0.7		2.4			
技術力を強化する		22.9	22.1		24.3		24.8		24.5		22.5		23.7		22.4		30.4			
人材を確保する		49.0	49.2		57.9		52.3		50.4		51.7		54.7		60.1		50.6			
パート化を図る		0.0	0.8		1.3		0.7		0.0		0.0		0.7		0.0		1.2			
教育訓練を強化する		12.5	12.3		13.8		12.1		12.9		10.6		12.2		7.7		8.9			
労働条件を改善する		5.2	11.5		8.6		13.4		11.5		13.2		18.7		14.0		14.9			
工場・機械を増設・移転する		2.1	0.8		0.7		1.3		0.0		1.3		1.4		1.4		0.6			
流通経路の見直しをする		0.0	0.0		0.7		1.3		1.4		0.0		0.7		0.0		0.6			
取引先を支援する		4.2	0.8		2.0		2.0		1.4		3.3		2.2		0.0		3.0			
輸入品の取扱いを増やす		0.0	0.0		0.0		0.7		0.0		0.7		0.0		0.7		0.0			
不動産の有効活用を図る		2.1	1.6		2.6		2.7		2.2		2.6		0.7		2.1		2.4			
その他		0.0	0.0		2.0		0.7		0.0		0.0		1.4		1.4		0.0			
特になし		17.7	9.8		7.9		7.4		12.9		9.9		10.8		10.5		7.7			
有効回答事業所数		105	133		169		164		152		155		148		153		180			

不動産業  
 地域名: 葛飾区  
 中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期																対前期比	R6 7～9月期 (予測)							
	R4 4～6月期	R4 7～9月期	R4 10～12月期			R5 1～3月期			R5 4～6月期			R5 7～9月期			R5 10～12月期				R6 1～3月期			R6 4～6月期			
業況	良い	5.3		10.0	4.0	3.9	6.7	6.0	1.0	3.3	8.8	5.9	8.0	6.3	2.0	5.3	4.1	3.6	3.8						1.9
	普通	73.3		71.1	74.7	67.6	73.3	63.8	75.5	71.4	68.4	72.5	65.9	70.9	79.2	71.7	74.3	73.6	73.3						71.8
	悪い	21.3		18.9	21.3	28.4	20.0	30.2	23.5	25.3	22.8	21.6	26.1	22.8	18.8	23.0	21.6	22.7	22.9						26.2
	D-I	-16.0		-8.9	-17.3	-24.5	-13.3	-24.2	-22.5	-22.0	-14.0	-15.7	-18.1	-16.5	-16.8	-17.7	-17.5	-19.1	-19.1						-1.4
売上額	増加	3.9		12.4	9.2	4.9	7.9	5.2	5.0	12.2	14.2	5.8	13.3	5.1	6.8	7.1	2.7	7.3	6.4						6.5
	変わらず	77.6		61.8	71.1	72.8	71.9	65.2	72.3	62.2	61.1	74.8	63.3	74.4	69.9	68.1	74.7	70.0	74.5						69.4
	減少	18.4		25.8	19.7	22.3	20.2	29.6	22.8	25.6	46.9	19.4	23.3	20.5	23.3	24.8	22.7	22.7	19.1						24.1
	D-I	-14.5		-13.4	-10.5	-17.4	-12.3	-24.4	-17.8	-13.4	-10.6	-13.6	-10.0	-15.4	-16.5	-17.7	-20.0	-15.4	-12.7						2.3
収益	増加	6.8		12.6	10.8	6.8	6.9	7.1	4.9	7.9	12.4	5.8	10.1	8.9	6.8	4.6	2.6	6.5	5.7						7.5
	変わらず	74.3		60.9	66.2	64.1	66.7	61.9	67.6	61.8	62.8	71.8	58.4	63.3	66.0	64.2	68.4	69.2	70.5						67.0
	減少	18.9		26.4	23.0	29.1	26.4	31.0	27.5	30.3	24.8	22.3	31.5	27.8	27.2	31.2	28.9	24.3	23.8						25.5
	D-I	-12.1		-13.8	-12.2	-22.3	-19.5	-23.9	-22.6	-22.4	-12.4	-16.5	-21.4	-18.9	-20.4	-26.6	-26.3	-17.8	-18.1						8.8
販売価格	上昇	5.9		14.6	10.3	6.3	11.0	9.4	9.6	13.3	10.5	7.1	14.6	9.6	7.1	6.0	9.7	12.9	10.4						11.1
	変わらず	85.3		73.2	80.9	77.9	78.0	71.7	75.5	73.5	71.4	80.8	70.7	80.8	74.7	79.0	79.2	76.2	75.0						75.8
	下降	8.8		12.2	8.8	15.8	11.0	18.9	14.9	13.3	18.1	12.1	14.6	9.6	18.2	15.0	11.1	10.9	14.6						13.1
	D-I	-2.9		2.4	1.5	-9.5	0.0	-9.5	-5.3	0.0	-7.6	-5.0	0.0	0.0	-11.1	-9.0	-1.4	2.0	-4.2						11.0
仕入価格	上昇	24.6		35.0	32.8	22.6	32.1	30.4	25.8	31.3	32.4	30.9	30.4	37.3	28.7	33.7	34.2	41.6	32.3						38.6
	変わらず	67.2		57.5	57.4	66.7	56.8	56.9	62.4	58.8	54.9	58.5	57.0	56.0	60.6	56.4	58.9	52.5	54.5						55.4
	下降	8.2		7.5	9.8	10.8	11.1	12.7	11.8	10.0	12.7	10.6	12.7	6.7	10.6	9.9	6.8	5.9	13.1						5.9
	D-I	16.4		27.5	23.0	11.8	21.0	17.7	14.0	21.3	19.7	20.3	17.7	30.6	18.1	23.8	27.4	35.7	19.2						11.9
資金繰り	楽	5.5		7.1	6.8	4.0	5.9	3.5	4.0	1.1	4.4	1.9	2.3	1.3	2.9	4.8	1.3	0.9	4.0						0.0
	変わらず	86.3		78.6	80.8	80.2	78.8	74.6	73.3	76.1	72.8	75.7	75.0	83.1	73.8	75.2	80.0	85.3	75.2						86.2
	苦しい	8.2		14.3	12.3	15.8	15.3	21.9	22.8	22.7	22.8	22.3	22.7	15.6	23.3	20.0	18.7	13.8	20.8						13.8
	D-I	-2.7		-7.2	-5.5	-11.8	-9.4	-18.4	-18.8	-21.6	-18.4	-20.4	-20.4	-14.3	-20.4	-15.2	-17.4	-12.9	-16.8						2.3
前年 同期比	売上額	-14.1		-16.1		-5.2		-22.4		-19.7		-6.1		-15.3		-20.2		-12.4							
	収益	-19.2		-15.9		-17.7		-33.6		-30.3		-23.0		-25.6		-29.8		-22.1							
	販売価格	-1.6		2.5		1.1		-7.8		-7.4		1.1		-1.4		-10.6		-1.9							
雇用 人手	前年比残業時間	-4.5		-8.1	1.5	-8.2	-6.9	-5.5	-8.2	-5.9	-5.5	-12.9	-5.9	-6.6	-10.9	-4.9	-6.9	-3.8	-6.0						-3.9
		-5.8		-8.1	-5.8	-4.1	-10.5	-11.9	-3.0	-12.9	-9.3	-16.0	-10.7	-18.4	-15.0	-11.7	-18.9	-6.6	-12.7						-6.7
借入金	借入をした(%)	23.6		37.2	13.9	26.0	29.1	27.7	18.0	22.6	17.1	22.0	19.5	17.3	14.0	23.4	17.1	16.5	14.0						12.1
	借入をしな(%)	76.4		62.8	86.1	74.0	70.9	72.3	82.0	77.4	82.9	78.0	80.5	82.7	86.0	76.6	82.9	83.5	86.0						87.9
	借入難易度	-5.7		-10.3		-8.0		-12.5		-12.9		-18.4		-10.8		-15.1		-11.2							
有効回答事業所数	77		91		103		117		92		103		80		114		112								

不動産業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4	R4	R4	R5	R5	R5	R5	R6	R6	対前期 比	7～9月 期 (予測)								
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期										
設備	現在の設備	-6.3	-10.8	-6.3	-11.5	-13.3	-12.0	-13.6	-12.3	-13.9	-12.3	-12.5	-9.9	-12.5	-8.9	-12.7	-2.0	-10.0		-3.0
投資	実施した	26.3	43.1	41.0	35.0	36.2	35.2	28.8	38.8	43.7	26.7	56.0	39.5	33.9	32.4	44.2	34.2	34.8		34.2
資金	事業用地・建物	2.6	15.5	17.9	8.3	15.5	9.9	8.5	14.3	11.3	15.0	20.0	14.0	16.9	5.9	25.6	12.7	17.4		18.4
	機械・設備の新・増設	5.3	3.4	2.6	5.0	3.4	7.0	0.0	4.1	2.8	3.3	2.0	9.3	5.1	2.9	7.0	3.8	1.4		1.3
	機械・設備の更改	13.2	5.2	12.8	5.0	8.6	8.5	3.4	8.2	11.3	3.3	18.0	7.0	5.1	4.4	11.6	2.5	10.1		6.6
	内務機器	7.9	19.0	15.4	11.7	15.5	16.9	6.8	14.3	19.7	6.7	26.0	20.9	8.5	19.1	11.6	5.1	14.5		6.6
	車両	2.6	19.0	5.1	16.7	13.8	11.3	10.2	4.1	11.3	5.0	10.0	2.3	10.2	10.3	4.7	6.3	8.7		3.9
	その他	2.6	1.7	2.6	3.3	0.0	2.8	3.4	2.0	2.8	1.7	4.0	2.3	1.7	0.0	2.3	3.8	1.4		2.6
(%)	実施しない	73.7	56.9	59.0	65.0	63.8	64.8	71.2	61.2	56.3	73.3	44.0	60.5	66.1	67.6	55.8	65.8	65.2		65.8
経営	売上の停滞・減少	34.3	32.6	34.4			29.5		29.8		31.3		31.1		36.9		25.0			
	人手不足	1.4	8.1	3.1			7.1		7.1		10.4		10.8		6.8		4.8			
	大手企業・大型店との競争の激化	2.9	10.5	7.3			8.9		7.1		9.4		6.8		4.9		5.8			
	同業者間の競争の激化	25.7	23.3		12.5		23.2		20.2		20.8		23.0		29.1		19.2			
	流通経路の変化による競争の激化	1.4	0.0	3.1			6.3		2.4		2.1		4.1		0.0		1.9			
	合理化の不足	1.4	5.8	4.2			4.5		9.5		3.1		5.4		3.9		4.8			
	利幅の縮小	21.4	15.1	19.8			20.5		16.7		18.8		21.6		22.3		24.0			
	小口注文・多頻度配送の増加	0.0	0.0	0.0			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	販売商品の不足	2.9	2.3	7.3			5.4		6.0		3.1		1.4		4.9		6.7			
	原材料価格・材料価格の上昇	15.7	14.0	11.5			19.6		17.9		16.7		12.2		16.5		24.0			
	販売納入先からの値下げ要請	1.4	0.0	1.0			0.9		1.2		1.0		0.0		0.0		1.9			
	仕入先からの値上げ要請	4.3	8.1	8.3			6.3		3.6		3.1		4.1		6.8		5.8			
	人件費の増加	0.0	2.3	2.1			3.6		1.2		5.2		5.4		3.9		2.9			
	人件費以外の経費増加	22.9	14.0	25.0			20.5		17.9		14.6		16.2		14.6		21.2			
	工場・店舗の狭小・老朽化	8.6	7.0	3.1			11.6		10.7		8.3		9.5		7.8		5.8			
	生産能力・技術力の不足	0.0	3.5	0.0			0.9		1.2		0.0		0.0		1.0		1.0			
	取引先の減少	4.3	8.1	9.4			6.3		7.1		2.1		6.8		4.9		5.8			
	商店街の集客力の低下	0.0	2.3	1.0			3.6		3.6		2.1		0.0		1.9		1.9			
	下請の確保難	0.0	0.0	0.0			0.9		1.2		1.0		0.0		1.0		1.9			
駐車場・資材置場の確保難	0.0	0.0	0.0			0.0		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0				
大手企業・工場の縮小・撤退	0.0	2.3	1.0			1.8		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0				
その他	5.7	5.8	3.1			2.7		6.0		3.1		9.5		4.9		5.8				
問題なし	31.4	23.3	26.0			18.8		16.7		28.1		23.0		17.5		23.1				
重点	販路を広げる	14.1	13.6	11.5			14.5		14.8		14.3		19.2		13.5		15.5			
	経費を削減する	21.1	38.6	35.4			44.5		38.3		34.7		41.1		45.2		32.0			
	品揃えを充実させる	1.4	3.4	0.0			0.9		2.5		2.0		4.1		3.8		2.9			
	情報力・宣伝・広報を強化する	19.7	29.5	17.7			18.2		21.0		15.3		19.2		19.2		11.7			
	新製品・技術を開発する	0.0	1.1	0.0			0.9		2.5		0.0		0.0		0.0		1.0			
	新しい工法を導入する	1.4	3.4	0.0			0.9		0.0		2.0		1.4		3.8		1.0			
	新しい事業を始める	8.5	10.2	8.3			11.8		16.0		10.2		6.8		8.7		6.8			
	不採算部門を整理・縮小する	1.4	1.1	5.2			3.6		1.2		5.1		2.7		0.0		3.9			
	店舗・設備を改装する	9.9	5.7	6.3			12.7		7.4		6.1		9.6		5.8		9.7			
	仕入先・提携先を開拓・選別する	12.7	6.8	9.4			9.1		4.9		5.1		15.1		3.8		8.7			
	営業時間を延長する	0.0	0.0	1.0			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	売れ筋商品を取扱う	0.0	4.5	3.1			0.9		3.7		2.0		0.0		1.0		1.0			
	商店街事業を活性化させる	0.0	1.1	1.0			0.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	機械化を推進する	1.4	0.0	0.0			1.8		0.0		3.1		2.7		1.0		0.0			
	技術力を強化する	0.0	2.3	0.0			0.9		0.0		1.0		2.7		1.9		1.0			
	人材を確保する	4.2	8.0	4.2			5.5		6.2		5.1		8.2		4.8		2.9			
	パート化を図る	1.4	0.0	0.0			0.9		0.0		1.0		1.4		1.9		2.9			
	教育訓練を強化する	0.0	1.1	2.1			1.8		2.5		2.0		4.1		1.0		1.0			
	労働条件を改善する	0.0	1.1	1.0			0.9		0.0		0.0		0.0		0.0		1.0			
	工場・機械を増設・移転する	0.0	0.0	0.0			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	流通経路の見直しをする	2.8	1.1	2.1			2.7		0.0		2.0		1.4		1.0		1.0			
取引先を支援する	1.4	1.1	1.0			1.8		0.0		0.0		1.4		2.9		0.0				
輸入品の取扱いを増やす	0.0	0.0	0.0			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
不動産の有効活用を図る	35.2	34.1	35.4			35.5		39.5		33.7		34.2		22.1		27.2				
その他	0.0	1.1	4.2			0.9		2.5		1.0		2.7		2.9		4.9				
特になし	31.0	19.3	25.0			16.4		22.2		27.6		19.2		25.0		27.2				
有効回答事業所数	77	91	103			117		92		103		80		114		112				

## 調査の概要

1. 調査時期 令和6年4～6月期
2. 調査方法 郵送及びWEBアンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	325	206
卸売業	300	113
小売業	300	105
サービス業	300	155
建設業	325	180
不動産業	300	112
合計	1,850	895

※有効回答事業所数の合計は業種不明 24 件含む